

# CN8600

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATEN ジャパン株式会社において、CN8600 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2017 年 11 月 27 日

ファームウェア Ver.1.0.070 版

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

|                            |            |             |
|----------------------------|------------|-------------|
| ①通常製品                      | 製品納品日～30 日 | 初期不良、新品交換※1 |
|                            | 31 日～3 年間  | 無償修理        |
|                            | 3 年以上      | 有償修理※2      |
| ②型番 CL から始まる<br>LCD 搭載製品のみ | 製品納品日～30 日 | 初期不良、新品交換※1 |
|                            | 31 日～2 年間  | 無償修理        |
|                            | 3 年目以降     | 有償修理※2      |

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それでも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予想できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

|            |                                                                      |
|------------|----------------------------------------------------------------------|
| 購入前のお問い合わせ | ATEN ジャパン株式会社 営業部<br>TEL:03-5615-5810<br>MAIL:sales@atenjapan.jp     |
| 購入後のお問い合わせ | ATEN ジャパン株式会社 技術部<br>TEL :03-5615-5811<br>MAIL :support@atenjapan.jp |

# 目次

---

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ユーザーの皆様へ .....             | i  |
| ATEN ジャパン製品保証規定 .....      | ii |
| 製品についてのお問い合わせ .....        | v  |
| EMC 情報 .....               | 6  |
| RoHS.....                  | 6  |
| SJ/T 11364-2006 .....      | 7  |
| 安全にお使い頂くために.....           | 8  |
| 全般 .....                   | 8  |
| ラックマウント .....              | 10 |
| 同梱品.....                   | 11 |
| 本マニュアルについて.....            | 12 |
| マニュアル表記について.....           | 14 |
| 第1章 はじめに.....              | 15 |
| 概要 .....                   | 15 |
| 特長とメリット .....              | 17 |
| システム要件.....                | 20 |
| リモートユーザー側で使用するコンピューター..... | 20 |
| サーバー .....                 | 20 |
| ケーブル .....                 | 21 |
| ビデオ.....                   | 22 |
| OS.....                    | 22 |
| ブラウザ.....                  | 23 |
| 製品各部名称 .....               | 24 |
| フロントパネル .....              | 24 |
| リアパネル.....                 | 26 |
| 第2章 ハードウェアセットアップ .....     | 28 |
| 卓上設置とラックマウント方法 .....       | 28 |
| 卓上設置.....                  | 28 |
| ラックマウント/壁への取付.....         | 29 |
| セットアップ .....               | 30 |
| 第3章 ブラウザログイン .....         | 32 |

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| ログイン.....                    | 32        |
| メイン画面.....                   | 34        |
| <b>第4章 設定方法.....</b>         | <b>35</b> |
| はじめに.....                    | 35        |
| 基本設定.....                    | 36        |
| ユーザー管理.....                  | 36        |
| セッション.....                   | 38        |
| メンテナンス.....                  | 39        |
| 詳細設定.....                    | 44        |
| デバイス情報.....                  | 44        |
| ネットワーク.....                  | 46        |
| ANMS.....                    | 50        |
| セキュリティ.....                  | 57        |
| コンソール管理.....                 | 68        |
| 日付/時刻.....                   | 72        |
| ユーザー設定.....                  | 76        |
| ユーザー設定.....                  | 76        |
| ログ.....                      | 77        |
| リモートコンソール.....               | 79        |
| ダウンロード.....                  | 80        |
| About.....                   | 80        |
| 参照およびログアウト.....              | 80        |
| <b>第5章 クライアントビューア.....</b>   | <b>81</b> |
| 起動方法.....                    | 81        |
| 操作方法.....                    | 82        |
| Windows クライアントコントロールパネル..... | 82        |
| コントロールパネルの機能.....            | 84        |
| マクロ.....                     | 87        |
| ビデオ設定.....                   | 97        |
| メッセージボード.....                | 101       |
| ユーザーリストパネル.....              | 103       |
| バーチャルメディア.....               | 104       |
| ズーム.....                     | 108       |
| オンスクリーンキーボード.....            | 109       |
| マウスポインターの種類.....             | 110       |
| マウス同期モード.....                | 110       |

|                                    |            |
|------------------------------------|------------|
| コントロールパネルのカスタマイズ.....              | 112        |
| <b>第 6 章 アプリケーションの操作.....</b>      | <b>114</b> |
| はじめに.....                          | 114        |
| アプリケーション版 Windows クライアント .....     | 114        |
| セットアップ .....                       | 114        |
| Windows クライアントの起動.....             | 114        |
| Windows クライアント接続画面 .....           | 115        |
| ログイン .....                         | 116        |
| アドミニストレーターユーティリティ.....             | 118        |
| アプリケーション版 Java クライアント .....        | 119        |
| Java クライアントの起動.....                | 119        |
| Java クライアント接続画面 .....              | 119        |
| ログイン .....                         | 120        |
| <b>第 7 章 Java クライアントビューア .....</b> | <b>121</b> |
| はじめに.....                          | 121        |
| ローカルデスクトップの操作方法.....               | 122        |
| Java クライアントコントロールパネル .....         | 123        |
| コントロールパネルの機能.....                  | 124        |
| マクロ .....                          | 124        |
| ビデオ設定 .....                        | 126        |
| メッセージボード.....                      | 127        |
| バーチャルメディア .....                    | 130        |
| ズーム.....                           | 131        |
| オンスクリーンキーボード .....                 | 131        |
| マウスポインターの種類.....                   | 132        |
| マウス同期モード .....                     | 132        |
| コントロールパネルのカスタマイズ.....              | 133        |
| <b>第 8 章 ローカルコンソール .....</b>       | <b>134</b> |
| コンソールロックスイッチ.....                  | 134        |
| ローカルコンソール .....                    | 134        |
| メッセージタグ .....                      | 135        |
| ラップトップ USB コンソール .....             | 135        |
| ラップトップ USB コンソールメイン画面.....         | 137        |
| <b>第 9 章 ログファイル .....</b>          | <b>138</b> |
| ログファイル画面 .....                     | 138        |
| <b>第 10 章 ログサーバー .....</b>         | <b>139</b> |

|                                         |     |
|-----------------------------------------|-----|
| セットアップ .....                            | 139 |
| ログサーバーの起動 .....                         | 139 |
| メニューバー .....                            | 140 |
| 設定 .....                                | 141 |
| イベント .....                              | 142 |
| オプション .....                             | 145 |
| Help .....                              | 145 |
| ログサーバーメイン画面 .....                       | 146 |
| 概要 .....                                | 146 |
| リストパネル .....                            | 147 |
| イベントリストパネル .....                        | 147 |
| 付録 .....                                | 148 |
| IP アドレスの設定 .....                        | 148 |
| ローカルコンソールからの IP 設定 .....                | 148 |
| IP インストーラーを使用して設定する場合 .....             | 150 |
| ブラウザを使用した設定方法 .....                     | 152 |
| アプリケーション版 Windows クライアントを使用した設定方法 ..... | 152 |
| IPv6 .....                              | 153 |
| リンクローカルアドレス .....                       | 153 |
| ステートレスオートコンフィグレーション .....               | 154 |
| ポートの転送 .....                            | 155 |
| キーボードエミュレーション .....                     | 156 |
| 信頼された証明書 .....                          | 158 |
| 概要 .....                                | 158 |
| 証明書のインストール .....                        | 159 |
| 証明書のインストール完了 .....                      | 160 |
| 自己署名 (プライベート) 証明書 .....                 | 162 |
| 例 .....                                 | 162 |
| ファイルのインポート .....                        | 162 |
| トラブルシューティング .....                       | 163 |
| 操作全般 .....                              | 163 |
| Windows .....                           | 165 |
| Java .....                              | 167 |
| Sun .....                               | 168 |
| Mac .....                               | 169 |
| ログサーバー .....                            | 169 |

|                                             |     |
|---------------------------------------------|-----|
| その他のマウス同期方法.....                            | 170 |
| Windows .....                               | 170 |
| Sun/Linux.....                              | 172 |
| 対応バーチャルメディア.....                            | 173 |
| Windows クライアント(Web ブラウザ版、アプリケーション版共通) ..... | 173 |
| Java クライアント(Web ブラウザ版、アプリケーション版共通) .....    | 173 |
| アドミニストレーターでログインできない場合.....                  | 174 |
| 製品仕様.....                                   | 175 |

## EMC 情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**CE による警告:**本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



The following contains information that relates to China.

| 部件名称 | 有毒有害物质或元素 |   |   |     |      |       |
|------|-----------|---|---|-----|------|-------|
|      | 铅         | 汞 | 镉 | 六价铬 | 多溴联苯 | 多溴二苯醚 |
| 电器部件 | ●         | ○ | ○ | ○   | ○    | ○     |
| 机构部件 | ○         | ○ | ○ | ○   | ○    | ○     |

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。

## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 本製品は屋内でのみご使用いただけます。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なり、製品付属の電源アダプターを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
- パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
- お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 壁コンセントの近くに装置をセットアップし、簡単に利用できるようにしてください。
- ◆ 冗長化用 AC アダプター(型番 0AD8-0605-24EG)は別途お求めください。
- ◆ 本製品をスタッキングする場合、ラックにロックする場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置を行う場合には、製品を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ 本製品は固定させて使用するよう設計されているため、通常の動作中には動かさないようにしてください。
- ◆ カテゴリ 5e/6 ケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具といった電波障害の発生源となる物から、できるだけ遠ざけて配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管に接続したり、電灯設備の上に置いたりしないようにしてください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

CN8600 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CN8600 1 ローカル/リモート アクセス共有 1 ポート DVI KVM over IP (解像度 1,920×1,200 対応) ×1
- ◆ 2L-7D01U(1.2m) ×1
- ◆ USB 2.0 バーチャルメディアケーブル(1.8m) ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ クイックスタートガイド\* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

---

\* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

---

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CN8600 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:** CN8600 を紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。
- 第2章 ハードウェアセットアップ:** CN8600 の基本的なハードウェアセットアップの手順について、図を用いながら説明します。
- 第3章 ブラウザログイン:** ブラウザを使用して CN8600 にログインする方法について説明し、トップページに表示されるアイコンやボタンの機能について説明します。
- 第4章 設定方法:** CN8600 の作業環境を構築するための管理機能やローカルコンソールからの操作方法について説明します。
- 第5章 クライアントビューア:** クライアントソフトウェアを使用した CN8600 へのアクセス方法や OSD によるコンピューターの操作方法について説明します。
- 第6章 アプリケーションの操作:** Web ブラウザを使用しない環境でもご利用いただける Windows プログラムと Java プログラムの操作方法について説明します。
- 第7章 Java クライアントビューア:** Java アプレットソフトウェアを使用し CN8600 へのアクセス方法や OSD によるコンピューターの操作方法について説明します。
- 第8章 ローカルコンソール:** ローカルコンソールを使用して、またはラップトップアプリケーションプログラムを使用してローカル側から直接 CN8600 にアクセスする方法について説明します。
- 第9章 ログファイル:** CN8600 で発生するイベントを管理するログファイルユーティリティについて説明します。

**第10章 ログサーバー:**ログサーバーのインストール方法及び設定方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

 入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

 ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

 矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

CN8600 は、IP ネットワークを経由して、セキュアな KVM (キーボード・ビデオ・マウス) サーバー管理を実現するコスト効率の高いオーバーIP デバイスです。本製品を使用すれば、オペレーターは Web GUI、ブラウザベースの Windows または Java クライアントや Windows/Java ベースのアプリケーションプログラムを使用して、リモートから BIOS レベルでコンピューターにアクセスしたり、モニタリングしたりすることができます。また、ローカルコンソールから IP アドレスを簡単に設定することもできます。

CN8600 は冗長ネットワークインターネットカード (NIC) に対応しているため、接続性を確保することができます。これは、ローカル KVM スイッチまたはサーバーを接続するのに、専用 KVM ケーブルを使用する代わりに、業界標準のカテゴリ 5e/6 ケーブルを使用してインターネットに接続するものです。本製品は CS1768 や CL6700 といった ATEN DVI KVM スイッチや LCD コンソールに対応しています。

CN8600 は通信プロトコルに TCP/IP を使用しているため、インターネットに接続されたコンピューターを利用して、CN8600 に接続されたサーバーや KVM スイッチにアクセスできます。つまり、別の部屋からでも、別の建物からでも、果ては地球の裏側からでもアクセスすることが可能となります。リモートにいるオペレーターは CN8600 の IP アドレスを使用して接続することができます。接続が一旦確立されて操作権限が付与されると、リモートコンピューターはキーボード、ビデオ、マウス信号を CN8600 に接続されているサーバーとやり取りし、アドミニストレーターは、まるで、実際に現場で作業している時と同じような感覚で、デバイスを操作できるようになります。

リアパネルにあるミニ USB ポートは、バーチャルメディア USB ポートおよびラップトップ USB コンソール (LUC) ポートとして利用できるため、日常保守作業の際にローカル側にモニター・キーボード・マウスを追加する必要はなくなり、ノートパソコンを使用して LUC 機能を活用し、現場のコンピューターにアクセスして簡単に管理を行うことができます。

CN8600 のバーチャルメディア機能を使用して、ユーザーはリモートコンソールから診断検査、ファイル転送、OS やアプリケーションのパッチ適用などを実行することができます。データ関連のタスクを実行するために、物理的に CD を直接サーバーに読み込ませる必要はありません。ど

ここからでも BIOS レベルで便利かつ効果的にトラブルシューティングを行ったり、問題を解決したりすることができます。

CN8600 はバーチャルリモートデスクトップとして機能します。リモートコンソールを参照するためのクライアントソフトウェアを使用して、接続サーバーにアクセスし、操作することができます。オペレーターが一旦接続に成功してログインすると、画面には CN8600 に接続されたリモートユニットの動作状況が表示され、まるでそこにいるかのように手元のコンソールから操作することができます。

ログサーバーでは選択された CN8600 で発生したイベント全てを記録することができ、アドミニストレーターはそれらを分析することができます。

CN8600 のファームウェアはインターネットを通じてアップグレードさせることができます。アップデートファイルがリリースされたら弊社の Web サイトからダウンロードし、ユーティリティを使用して素早く簡単にアップグレードを実行することができるので、本製品の機能に改良を加えて、最新の状態に保つことができます。

ATEN は、手頃で耐用性に優れたサーバー管理ソリューションの開発に注力しています。各製品とも信頼性と業務効率に優れており、どれもユーザーの皆様に使用いただく価値があると考えます。CN8600 もまた、お求めいただく価値がある製品であり、継続的な品質性能を提供できるものであると、私たちは確信しています。

## 特長とメリット

CN8600 の特長と本製品の導入によってもたらされるメリットは下表のとおりです。

| 特長                | メリット                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高度なセキュリティ         | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ クライアントソフトを起動する前に正しいユーザーネームとパスワードを入力するパスワード機能を含む、高度なセキュリティ機能や TLS1.2 通信や RSA 2048-bit 認証等の高度な暗号化技術を提供</li> <li>◆ 柔軟な暗号設計で、キーボード/マウス/ビデオ、バーチャルメディアそれぞれの暗号化を 56-bit DES、168-bit 3DES、256-bit AES、128-bit RC4、ランダムの中から自由に組み合わせて設定可能</li> <li>◆ IP/MAC フィルター対応</li> <li>◆ 強力なパスワード保護機能</li> <li>◆ プライベート CA</li> </ul> |
| 外部認証対応            | 製品自体のセキュリティ保護機能に加え、ログイン認証を RADIUS、LDAP、LDAPS、MS Active Directory といった外部サーバーにセットアップすることが可能。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| マルチユーザー/マルチログイン対応 | 最大 64 ユーザーのアカウント作成が可能。シングルバスアクセスで最大 32 ユーザーによる同時アクセスが可能。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ポート共有モード          | CN8600 は複数のユーザーによるサーバーへの同時アクセスが可能。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| シリアルインターフェース      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ シリアルコンソール管理 - シリアルターミナルアクセスが可能。付属のシリアルビューアまたはサードパーティーのソフトウェア（例：PuTTY）を使って Telnet/SSH セッションから CN8600 に接続されたサーバーへアクセス可能。</li> <li>◆ アウトオブバンド対応 - ダイヤルアップモデム経由対応。ダイヤルアップ接続を使って RS-232 ポート経由で CN8600 へのアクセスが可能。</li> </ul>                                                                                            |
| メッセージボード          | マルチユーザーログインによるアクセスの競合を避けるために、ログインユーザー間のコミュニケーションツールとしてチャットプログラムのようなメッセージボード機能を提供。また、このインターフェースから KVM 機能の排他制御も可能。                                                                                                                                                                                                                                           |

（表は次のページに続きます）

| 特長                                | メリット                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イベントログ対応                          | 製品内部で発生する全イベントを記録し、ログサーバーに書き込み。アドミニストレーターやユーザーは、キーワードや日付、重要度などの条件でログ情報の絞り込みが可能。                                                                       |
| インターネット経由でのファームウェアアップグレードに対応      | ケーブルの追加は不要。インターネット経由でファームウェアをアップグレードし、最新の機能を利用可能。                                                                                                     |
| IP MAC アドレス 1 つを使用した冗長 LAN        | バックアップ機能のあるネットワークインターフェースカード (NIC) 対応。プライマリネットワーク接続に失敗した場合、CN8600 は自動的に別のネットワーク接続に切り替えるので、接続性と動作可能時間を確保。                                              |
| マウスダイナシンク機能搭載                     | マウスの再同期不要。マウスダイナシンク機能でリモートとローカルマウスを自動ロック同期するため、マウスを定期的に同期する手間を軽減。ローカルコンソールのマウスがリモートユニットのマウスの動作に同期。                                                    |
| 解像度                               | FPS スループットを強化してクリアな映像を提供する CN8600 は、リモートセッションで最大 1,920×1,200@60Hz の解像度と、鮮やかな 30-bit 色深度およびグレースケールコントロールを提供。                                           |
| フルスクリーン表示やウィンドウ表示が可能なリモートデスクトップ画面 | モニターの解像度がリモートコンピューターの解像度より小さくてもフルスクリーン表示が可能。フルスクリーンモードではリモートデスクトップの表示をユーザーモニターの表示サイズに調整。リモートセッションでは最大 1,920×1,200@60Hz、24-bit 色深度およびグレースケールコントロールに対応。 |
| ダイナミック DNS                        | DHCP サーバーによって割り当てられた動的 IP アドレスとホストネームのマッピングが可能。                                                                                                       |
| セッション終了機能                         | 特にメンテナンス中に想定外のデバイス操作を防ぐために、アドミニストレーターは稼働中のセッションを終了することが可能。                                                                                            |
| 多言語キーボード対応・オンスクリーンキーボード搭載         | 多言語キーボード入力に対応 - 日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、韓国語、中国語（繁体字）。CN8600 のオンスクリーンキーボードで様々な言語の入力が可能であるため、使用言語に合わせてキーボードを用意することは不要。                            |

(表は次のページに続きます)

| 特長            | メリット                                                                                                                                    |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バーチャルメディア     | ユーザーのローカルシステムにある USB1.1 および USB2.0 デバイス(フロッピーディスク、CD-ROM、フラッシュメモリー等)、フォルダー、イメージファイルはリモートサーバー側にマウントできるため、大規模なソフトウェアのインストールやアップデートの実行が可能。 |
| コンソールアクセス権の管理 | CN8600 はローカルコンソール操作に優先順位をつけることが可能。CN8600 に電源が入ると、コンソールロックスイッチがリモートユーザーによるデバイスの操作を防止。<br>ローカル/リモート共有モード - コンソール操作権の共有または独占を便利に付与することが可能。 |
| 外付コントロールポート   | 外付コントロールポートを使用して、CN8600 はアラートを発する(点灯する)信号を送信したり、コンソールをロックする信号を受信したりすることが可能。                                                             |
| CC2000 との併用   | CN8600 は CC2000 管理ソフトウェアと簡単に併用することが可能。                                                                                                  |

## システム要件

---

### リモートユーザー側で使用するコンピューター

リモートユーザー側で使用するコンピューター（クライアントコンピューター）とは、ユーザーがインターネット経由で離れた場所からスイッチにログインする際に使用するコンピューターのことを指します。これらのコンピューターには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ 最適な状態でお使い頂くために、本製品にアクセスする際には、CPU が Pentium III 1GHz 以上のプロセッサを搭載したコンピューターを使用し、このコンピューターの解像度を 1,024×768 に設定してください。Pentium IV 2GHz を搭載し、RAM の容量が最低 1GB あるコンピューターのご使用を推奨いたします。
- ◆ ブラウザは TLS1.2 暗号化通信に対応したものをお使いください。
- ◆ インターネットにおけるデータ転送速度が 128kbps 以上の環境を推奨します。
- ◆ ログサーバーを使用する場合は、Microsoft Jet OLEDB 4.0 以降のドライバーをインストールしてください。
- ◆ リモートユーザーが CN8600 にログインする際には、Windows 2000 以降がインストールされたコンピューター、または Sun Java Runtime Environment (JRE) 6 Update 3 以降が動作可能なコンピューター (Linux、Mac、Sun 等) を使用してください。

### サーバー

サーバーとは KVM ケーブルを使用して CN8600 に接続されているコンピューターのことを指します。これらのサーバーには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ USB KVM ケーブル接続の場合、USB Type-A ポートおよび USB ホストコントローラー
- ◆ バーチャルメディア接続の場合、別途、USB Type-A ポートおよび USB ホストコントローラー

## ケーブル

- ◆ 本製品には CN8600 とサーバーまたは KVM スイッチを接続する USB KVM ケーブルが 1 本同梱されています。
- ◆ 下表のとおり、様々な長さの KVM ケーブルを取り揃えております。

| 製品画像                                                                              | 機能                  |                 | 型番(長さ)          |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------|-----------------|
|  | DVI-D (シングルリンク)ケーブル |                 | 2L-7D02U (1.8m) |
|                                                                                   | スイッチ側               | DVI-D、USB、オーディオ | 2L-7D03U (3m)   |
|                                                                                   | コンピューター側            | DVI-D、USB、オーディオ | 2L-7D05U (5m)   |

KVM ケーブルのご購入については、販売店までお問い合わせください。

- ◆ 本製品には CN8600 とローカルコンソールとを接続するコンソールケーブルが 1 本同梱されています。
- ◆ 本製品にはバーチャルメディア機能 (p.27「バーチャルメディアポート」参照) またはラップトップ USB コンソール機能 (p.134「ローカルコンソール」) 用の USB2.0 バーチャルメディアケーブルが 1 本同梱されています。
- ◆ CN8600 を LAN、WAN、またはインターネットに接続するにはカテゴリ 5e/6 以上のイーサネットケーブルを使用してください (本製品は同梱されていません)。
- ◆ 本製品はアナログ映像信号を利用できません。

## ビデオ

本製品は下表の**非インターレース**のビデオ信号にのみ対応しています。

| 解像度         | リフレッシュレート      |
|-------------|----------------|
| 640×480     | 60、72、75       |
| 720×400     | 70             |
| 800×600     | 56、60、72、75、85 |
| 1,024×768   | 60、70、75、85    |
| 1,152×864   | 60、70、75、85    |
| 1,280×720   | 60             |
| 1,280×1,024 | 60、70、75、85    |
| 1,600×1,200 | 60             |
| 1,680×1,050 | 60             |
| 1,920×1,200 | 60             |

## OS

◆ CN8600 と接続可能なサーバーの OS は下表のとおりです。

| OS      |                    | バージョン        |
|---------|--------------------|--------------|
| Windows |                    | 2000 以降      |
| Linux   | RedHat             | 7.1 以降       |
|         | Fedora             | Core 5 以降    |
|         | SuSE               | 9.0 以降       |
|         | Mandriva(Mandrake) | 9.0 以降       |
| UNIX    | AIX                | 4.3 以降       |
|         | FreeBSD            | 3.51 以降      |
|         | Sun                | Solaris 8 以降 |
| Novell  | Netware            | 5.0 以降       |
| Mac     |                    | OS9 以降       |
| DOS     |                    | 6.2 以降       |

## ブラウザ

CN8600 にログインするための対応ブラウザは下表のとおりです。

| ブラウザ              |         | バージョン   |
|-------------------|---------|---------|
| Internet Explorer |         | 6 以降    |
| Chrome            |         | 8.0 以降  |
| Firefox           | Windows | 3.5 以降  |
|                   | Linux   | 3.0 以降  |
| Safari            | Windows | 4.0 以降  |
|                   | Mac     | 3.1 以降  |
| Opera             |         | 10.0 以降 |

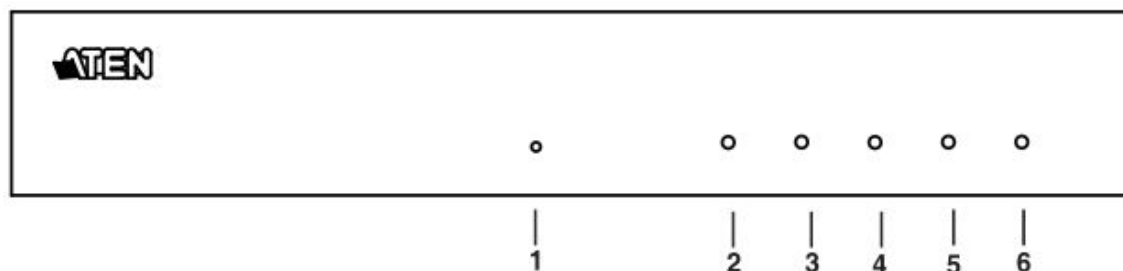
---

\* Safari に関する詳細は p.169「Mac」を参照してください。

---

## 製品各部名称

### フロントパネル

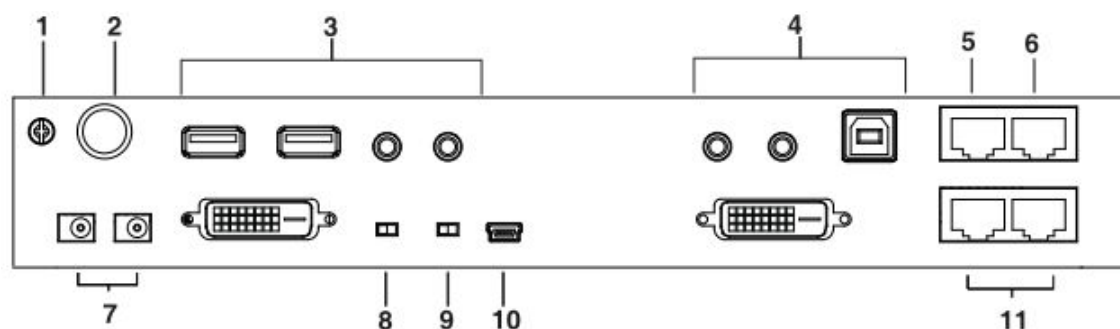


| No. | 名称                    | 説明                                                                                                                                                                                    |
|-----|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | リセットボタン               | このスイッチを3秒以上長押しすると、CN8600を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。                                                                                                                                         |
| 2   | LAN 2 10/100/1000 LED | オレンジに点灯している場合、CN8600 はこのポートを10Mbps の転送速度で通信していることを表します。<br>オレンジ+グリーンに点灯している場合、CN8600 はこのポートを100Mbps の転送速度で通信していることを表します。<br>グリーンに点灯している場合、CN8600 はこのポートを1000Mbps の転送速度で通信していることを表します。 |
| 3   | リモートログイン LED          | リモート接続がアクティブでない場合、LED は点灯しません。<br>一定間隔でグリーンに点滅している場合、クライアントプログラムがリモートコンソールから CN8600 にログインしていることを表します。                                                                                 |
| 4   | LAN 1 10/100/1000 LED | オレンジに点灯している場合、CN8600 はこのポートを10Mbps の転送速度で通信していることを表します。<br>オレンジ+グリーンに点灯している場合、CN8600 はこのポートを100Mbps の転送速度で通信していることを表します。<br>グリーンに点灯している場合、CN8600 はこのポートを1000Mbps の転送速度で通信していることを表します。 |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称           | 説明                                                |
|-----|--------------|---------------------------------------------------|
| 5   | コンソールロック LED | グリーンに点灯している場合、アクティブな設定により別のアクセスモードが動作中であることを表します。 |
| 6   | 電源 LED       | CN8600 に電源が入ると、LED がグリーンに点灯します。                   |

## リアパネル



| No. | 名称           | 説明                                                                                                                                                                                               |
|-----|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 接地ターミナル      | 接地線はここに接続してください。接地線は別途お求めください。                                                                                                                                                                   |
| 2   | コントロールポート    | このポートはオプションのコントロールボックス(別売品)の接続のみに使用します。<br><b>注意:</b> 海外向け仕様のため、日本ではお使いいただけません。                                                                                                                  |
| 3   | ローカルコンソールポート | ローカルコンソール(USB キーボード、DVI モニター、USB マウス、スピーカー、マイク)ケーブルをこのポートに接続してください。各コネクタは色づけされ、アイコンが表示されています。このポートにモニターを接続しない場合、お使いの PC によっては解像度の変更ができないおそれがあります。初回設定時またはモニターを変更された際は、表示情報の更新(p.40 参照)を実施してください。 |
| 4   | PC/KVM ポート   | CN8600 と PC/サーバーをつなぐための同梱 KVM ケーブルをこのポートに接続してください。<br>DVI ディスプレイ、キーボード/マウス、マイク、スピーカーを、今からセットアップするサーバーまたは KVM スイッチに接続してください。各コネクタは色づけされ、アイコンが表示されています。                                            |
| 5   | PON ポート      | RJ-45 - シリアルアダプターケーブル(SA0142)を使用して、このポートと PN0108 を接続してください。                                                                                                                                      |
| 6   | シリアルポート      | RJ-45 - シリアルアダプターケーブル(SA0142)を使用して、このポートとモデムなどのネットワークデバイスを接続してください。                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | 電源ジャック                                 | <p>本製品に同梱の電源アダプターを AC 電源に接続してから、このケーブルを任意の電源ジャックに接続してください。</p> <p>別の電源アダプターを AC 電源に接続してから、このケーブルを残りの電源ジャックに接続してください。</p> <p><b>注意:</b>デュアル電源操作はオプションです。セカンド電源はバックアップ用ですので、セカンド電源アダプターは別売品となっています。</p>                                                                  |
| 8   | コンソールロックスイッチ                           | <p>このスイッチを使用してコンソールをロックすると、リモートアクセスを無効(参照のみ)にし、ローカルコンソールのみが CN8600 を操作できるようにします。</p> <p>ロックの解除を設定した場合、CN8600 は保存された設定に基づいてアクセス権を付与します。</p>                                                                                                                             |
| 9   | バーチャルメディア/ラップトップ USB コンソール (LUC)スイッチ   | このスイッチを使用して、ミニ USB ポートを、バーチャルメディアポートまたはラップトップ USB コンソールポートのどちらとして使用するかを選択します。                                                                                                                                                                                          |
| 10  | バーチャルメディアポート/ラップトップ USB コンソール (LUC)ポート | <p>「バーチャルメディア/ラップトップ USB コンソール(LUC)スイッチ」でバーチャルメディアに設定した場合、本製品に同梱の USB 2.0 ケーブルを使用して、サーバーの USB ポートと CN8600 のバーチャルメディアポートとを接続してください。詳細は p.104「バーチャルメディア」を参照してください。</p> <p>ラップトップ USB コンソール(LUC)に設定した場合は、ノートパソコンの USB とこのポートとを接続してください。詳細は p.134「ローカルコンソール」を参照してください。</p> |
| 11  | LAN ポート                                | カテゴリ 5e/6 ネットワークケーブルをこのポートに接続してください。                                                                                                                                                                                                                                   |

## 第2章 ハードウェアセットアップ



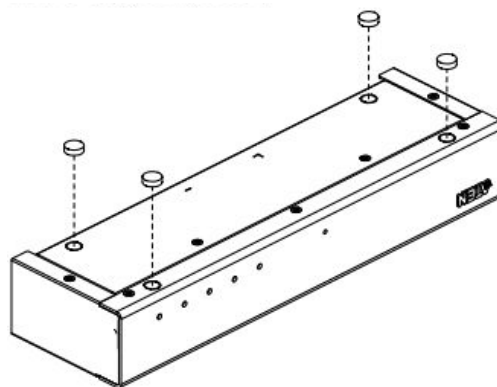
1. 機器の設置に際し重要な情報を p.8 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。
3. 本マニュアルに記載された手順に従わずにセットアップを行うと、危険な状態をもたらす可能性があります。
4. 本製品用の電源は同梱の電源アダプターによって供給されるように設計されており、DC 配電ではありません。

### 卓上設置とラックマウント方法

---

#### 卓上設置

CN8600 は本体と接続されるケーブルの重量に耐えられる安定した水平な場所に設置することが可能です。製品にはフットパッドが同梱されていますので、このフットパッド裏面のはくり紙をはがし、下図のように製品底面の四隅に貼り付けてください。



---

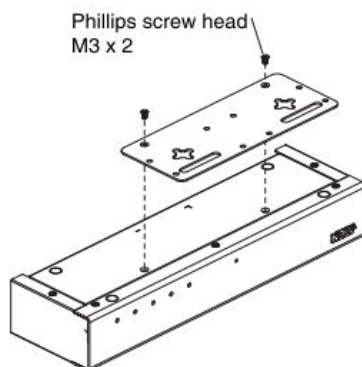
**注意：** 機器への通気を確保するために、製品の両側面は 5cm 程度以上、また、背面は配線のスペースを考慮して 13cm 程度以上の空間をもうけるようにしてください。

---

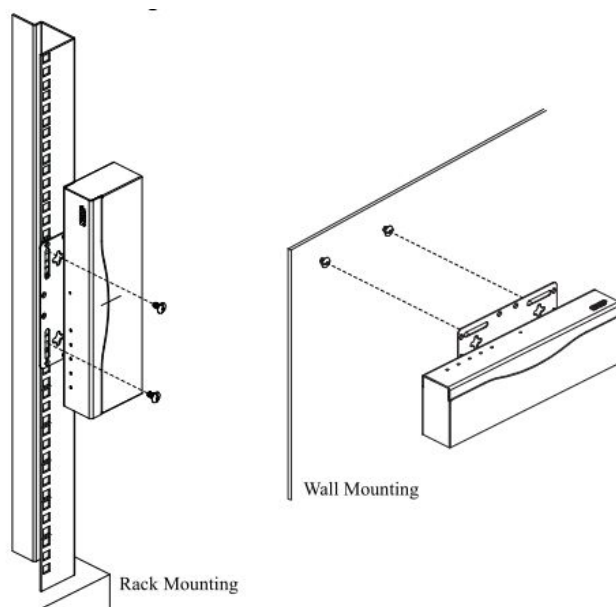
## ラックマウント/壁への取付

CN8600 は 19 インチ(1U)システムラックにマウントすることも、壁に取り付けることも可能です。CN8600 をラックマウントするまたは壁に取り付ける場合は、下記の手順に従ってください。

1. ラックマウントキットに付属しているネジを使用して、CN8600 の両サイドにラックマウント用ブラケットを取り付けてください。



2. ラックにマウントする場合、ラックにデバイスを固定し、ラックの穴にマウント用ブラケットの穴を合わせてください。壁に取り付ける場合、壁の任意の位置にデバイスを固定してください。
3. ラックまたは壁にブラケットをネジ止めしてください。



---

**注意:** ラックマウント用のネジは製品には同梱されていないので、お使いのラックに適したネジを別途ご用意ください。

---

## セットアップ

---

CN8600 のセットアップを行う場合は、次ページの接続図(図内における番号は下記の作業手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従ってください。

1. USB キーボード、マウス、DVI モニター、スピーカーおよびマイクを CN8600 のリアパネルにあるローカルコンソールポートに接続してください。
2. 本製品に同梱されている KVM ケーブルを使用して、CN8600 の PC/KVM ポートと今からセットアップするサーバーまたは KVM スイッチのキーボード、モニター、マウス、スピーカーおよびマイクロフォンポートを接続してください。
3. (オプション)バーチャルメディア機能を使用する場合、本製品に同梱されている USB2.0 バーチャルメディアケーブルを使用して、サーバーの USB ポートと CN8600 のバーチャルメディアポートを接続してください。
4. (オプション)ラップトップ USB コンソールを使用する場合、ノートパソコンの USB をこのポートに接続してください。

---

**注意:** バーチャルメディア/ラップトップ USB コンソールポートスイッチが正しい位置に選択されていることを確認してください。

---

5. ネットワークケーブルを CN8600 の LAN ポート 1 に接続してください。
  6. (オプション)セカンドネットワークケーブルを CN8600 の LAN ポート 2 に接続してください。
- 
- 注意:** デュアル LAN 操作はオプションです。
- 
7. (オプション)リモート電源管理デバイス(PN0108)を使用する場合は、RJ-45 - シリアルアダプター(SA0142)を使用して、PON ポートに接続してください。
- 
- 注意:** シリアルアダプターは別売品です。
- 
8. (オプション)標準モデムのような、その他のシリアルデバイスを使用する場合は、RJ-45 - シリアルアダプター(SA0142)を使用して、シリアルポートに接続してください。
- 

**注意:** シリアルアダプターは別売品です。

---

9. 本製品に同梱の電源アダプターを AC 電源に接続してから、電源アダプターのケーブルを CN8600 の電源ジャックのうちの 1 つに接続してください。

10. (オプション)別の電源アダプターを AC 電源に接続してから、その電源アダプターのケーブルを CN8600 の残りの電源ジャックに接続してください。

---

**注意:** デュアル電源操作はオプションです。セカンド電源はバックアップ用で、セカンド電源アダプターは別売品です。

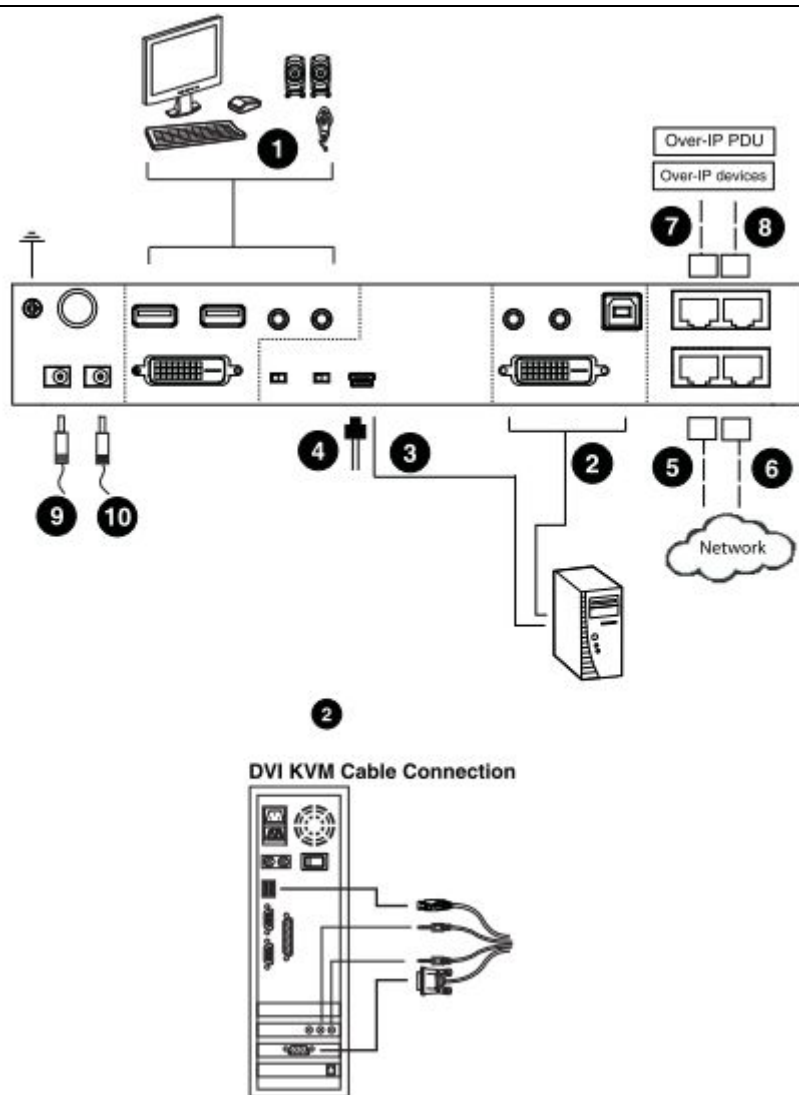
---

11. CN8600 に電源を入れてから、サーバー/KVM スイッチの電源を入れてください。

---

**注意:** 安全のため、接地線を使用して、ユニットを接地することを推奨いたします。

---



## 第3章 ブラウザログイン

CN8600 はインターネットタイプのブラウザ、または下記の方法を通じて、アクセスすることができます。

- ◆ Windows クライアント(p.81「クライアントビューア」参照)
- ◆ Java アプレットビューア (p.121「Java クライアントビューア」参照)
- ◆ Windows または Java アプリケーション (AP) プログラム (p.114「アプリケーションの操作」参照)
- ◆ ラップトップ USB コンソール(LUC)ポート
- ◆ ローカルコンソール(p.134「ローカルコンソール」参照)

以降の章ではブラウザベースの操作方法について説明します。

### ログイン

---

CN8600 を Web ブラウザから操作する場合は、最初にログインする必要があります。

1. お使いの Web ブラウザを開き、アクセス対象となる CN8600 の IP アドレスをブラウザの URL バーに直接入力してください。

DHCP 環境でない場合のデフォルト IP アドレスは、192.168.0.60 です。

- 
- 注意:**
1. セキュリティの観点から、ログイン文字列は CN8600 の管理者が設定することを推奨します。その場合、ログインの際に、IP アドレスの後スラッシュを入れてから文字列を入力してください。例:192.168.0.100/CN8600  
IP アドレスやログイン文字列が不明な場合は、CN8600 の管理者までお問い合わせください。
  2. アドミニストレータとして初回起動時のログインを行う場合、複数の方法で CN8600 に IP アドレスを設定することができます。詳細は p.148「IP アドレスの設定」を参照してください。
-

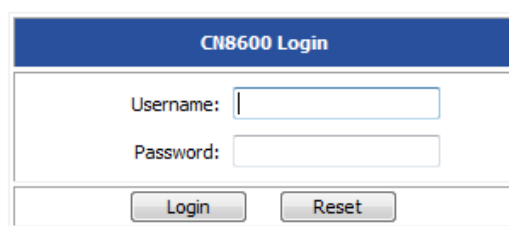
2. 「**セキュリティの警告**」画面(またはダイアログ)が表示されます。この証明書は信頼できるものですので、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」等をクリックして、ログインページに進んでください。(詳細は p158「信頼された証明書」参照)。別のセキュリティの警告に関するダイアログが表示されたら、その証明書を受け入れてください。

---

**注意:** 「**セキュリティの警告**」画面の形式は、ブラウザのバージョンによって異なります。

---

CN8600 のログイン画面が表示されます。



3. (CN8600 の管理者によって設定された)正しい**ユーザーネーム**および**パスワード**を入力し、「**Login**」ボタンをクリックしてください。

---

**注意:** 1. アドミニストレーターとして初回起動時のログインを行う場合、下記のデフォルトアカウントでログインしてください。

ユーザーネーム: administrator

パスワード: password

セキュリティの観点から、初回ログインの後に管理者用のアカウントを新規に作成し、このアカウントを削除されることを推奨します (p.80「ダウンロード」参照)。

2. ログインに失敗すると、CN8600 の Web メニューにログインが失敗したため再試行するように促す内容のメッセージが返ってきます。このメッセージが表示されたら、正しいユーザーネームとパスワードで再ログインしてください。
-

## メイン画面

ログインに成功すると、下図のような CN8600 のメイン画面が表示されます。

| General                      |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| MAC1 Address:                | 00-48-54-00-77-8b            |
| MAC2 Address:                | 00-48-54-00-77-99            |
| Firmware Version:            | V1.0.063.20130312            |
| FPGA:                        | Build20120809                |
| IP Address 1:                | 172.17.17.21                 |
| Subnet Mask 1:               | 255.255.255.0                |
| Gateway 1:                   | 172.17.17.254                |
| IPv6 Address 1:              | FE80:0:0:0:48:54FF:FE00:778B |
| IPv6 Subnet Prefix Length 1: | 0                            |

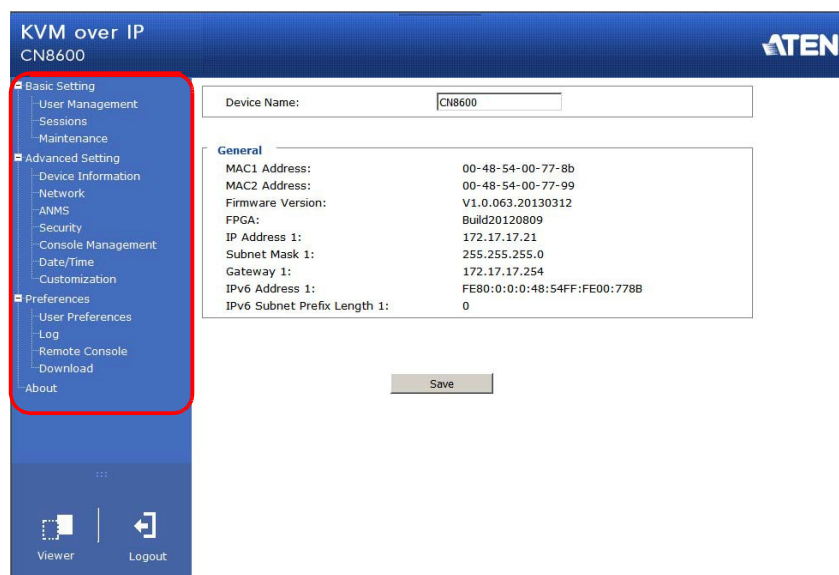
メイン画面は、左側にユーザーメニューと、その下に位置する (Java または Win クライアントビューアを起動する) ビューアアイコンとログアウトアイコンから構成されています。

**注意:** ユーザーが操作権限を持っていない機能のメニューオプションは、表示されません。権限に関する詳細は p.80「ダウンロード」を参照してください。

# 第4章 設定方法

## はじめに

CN8600 の Web 画面の左パネルに位置するリンクおよびアイコンで表される管理ユーティリティは、CN8600 の操作環境を設定する際に使用します。本章では、各アイコンについて順に説明していきます。



- 注意:**
1. 各ダイアログボックスで設定内容を変更した場合は、最後に「**保存**」ボタンをクリックして変更内容を保存してください。
  2. 設定内容によっては変更後に CN8600 をリセットする必要があります。変更内容をお使いの環境に反映させる場合は、一度 CN8600 からログアウトしてから再度ログインしてください。
  3. CN8600 の設定権限が無い場合、管理設定ダイアログはご利用いただけません (p.36「ユーザー管理」参照)。

## 基本設定

以下のセクションでは、ユーザーがセッション、ファームウェアバージョン、バックアップ/リストアおよび EDID の設定を含むユーザー情報やデバイス設定の参照および編集を行うことができる「基本設定」画面について説明します。これらの画面を参照するには、左パネルのメニューにある「**User Management**」(ユーザー管理)、「**Sessions**」(セッション)および「**Maintenance**」(メンテナンス)をクリックしてください。

### ユーザー管理

「User Management」(ユーザー管理)画面では、CN8600 へのユーザーアカウントの追加、編集、削除や各アカウントの役割および操作権限を設定することができます。

- ◆ **Username**(ユーザーネーム): これはアカウントのユーザーネームです。
- ◆ **Password / Confirm Password**(パスワード/確認用パスワード): パスワードを変更する場合、新しいパスワードを入力し、確認用にその新しいパスワードを再入力してください。
- ◆ **Description**(説明): アカウントを説明する単語などを入力してください。

### Role(ロール)

ここで、管理者はアカウントにどの操作権限を許可するかを選択することができます。

- ◆ **Administrator**(アドミニストレーター): ユーザーに対して、アドミニストレーターレベルでの CN8600 へのアクセス権限を付与します。全ての操作権限(「参照のみ」を除く)が付与されます(操作権限は下記参照)。
- ◆ **User**(ユーザー): ユーザーに対して、ユーザーレベルでの CN8600 へのアクセス権限を付与します。Windows クライアント、電源管理、および Java クライアントの操作権限が付与されます(操作権限は下記参照)。

- ◆ **Select** (選択) : 「Permissions」 (許可) のセクションから操作権限を選択して、アクセス権を手動で選択することができます。

## Permissions (許可)

CN8600 の操作を許可/不許可にするには、その項目の隣にあるチェックマークをクリックして、マークを付けたり、外したりしてください。

- ◆ **Windows Client** (Windows クライアント) : これにチェックを入れると、ユーザーは Windows クライアントソフトウェアを介して CN8600 にアクセスできます。
- ◆ **Config** (設定) : これにチェックを入れると、ユーザーは CN8600 の操作環境の設定や修正を行うことができます。
- ◆ **Telnet** : これにチェックを入れると、ユーザーは同じ名前のネットワークプロトコルを介して CN8600 にアクセスできます。
- ◆ **Enable Virtual Media** (Virtual Media 有効) : これにチェックを入れると、ユーザーは CN8600 のバーチャルメディア機能を使用することができます (詳細は p.104「バーチャルメディア」参照)。ドロップダウンメニューを使用して、ユーザーに「**Read/Write**」 (読み/書き) または「**Read Only**」 (読取専用) のどちらの権限を与えるかを選択してください。
- ◆ **Java Client** (Java クライアント) : これにチェックを入れると、ユーザーは Java クライアントソフトウェアを介して CN8600 にアクセスできます。
- ◆ **System Log** (システムログ) : これにチェックを入れると、ユーザーはログファイルの内容を参照することができます。
- ◆ **SSH Client** (SSH クライアント) : これにチェックを入れると、ユーザーは SSH セッションを介して CN8600 にアクセスできます。
- ◆ **View Only** (参照のみ) : これにチェックを入れると、ユーザーは Web GUI にログインできますが、CN8600 の設定と Win クライアントおよび Java クライアントの操作ができません。この項目は Windows クライアントおよび Java クライアントと組み合わせてご使用ください。
- ◆ **Power Management** (電源管理) : これにチェックを入れると、ユーザーに対して、CN8600 に組み込まれた電源管理デバイスへのアクセス権を与えます。
- ◆ **Force to Grayscale** (モノクロに強制表示) : これにチェックを入れると、リモート画面がグレースケールに表示されます。これはバンド幅が低い状況で I/O 伝送速度を上げることができます。この項目は Windows クライアントおよび Java クライアントと組み合わせてご使用ください。

許可項目を変更した後に CN8600 に適用させたい動作をクリックしてください。

- ◆ **Reset** (リセット) - 欄を消去するには、これをクリックしてください。
- ◆ **Add** (追加) - CN8600 に新しいアカウントを追加するには、これをクリックしてください。
- ◆ **Update** (更新) - 変更したアカウント設定を更新するには、これをクリックしてください。
- ◆ **Remove** (削除) - 選択したアカウントを削除するには、これをクリックしてください。

## セッション

「セッション」画面において、アドミニストレーターは、現在 CN8600 にログインしている全ユーザーを確認することができます。また、各セッション情報も提供しています。

| Username      | IP          | Login Time             | Client  | Category      | Devices | Ports |
|---------------|-------------|------------------------|---------|---------------|---------|-------|
| administrator | 10.3.41.102 | 2013/03/21<br>02:51:12 | Browser | Administrator | None    |       |

End Session

Refresh

画面の上部にある見出しの意味は、下記のとおりです。

- ◆ 「Username」(ユーザーネーム)列には、ログインしているユーザー名が表示されます。
- ◆ 「IP」列には、ログインしているユーザーの IP アドレスが表示されます。
- ◆ 「Client」(クライアント)列には、ユーザーが CN8600 への接続に用いた手段(ブラウザ、Win クライアント AP、Java クライアント AP 等)が表示されます。
- ◆ 「Category」(カテゴリ)列には、ログインユーザーのユーザータイプ(「Admin」(アドミニストレーター)、「User」(ユーザー)、「Select」(選択))が表示されます(ユーザータイプの詳細は、p.80「ダウンロード」を参照してください)。

この画面では、アドミニストレーターが選択したユーザーを強制的にログアウトさせることもできます。対象となるユーザーを選択し、「**End Session**」(セッション終了)ボタンをクリックしてください。

画面を更新するには、「**Refresh**」(再読込)をクリックしてください。

## メンテナンス

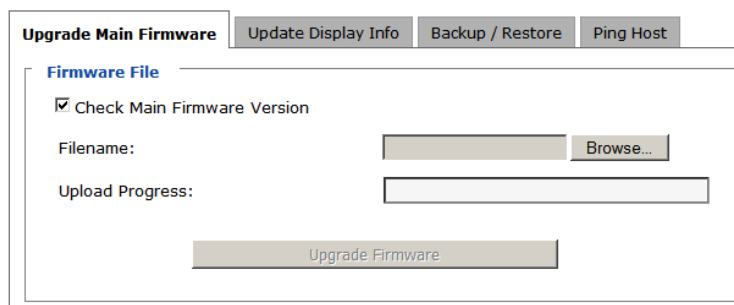
「Maintenance」(メンテナンス)画面において、アドミニストレーターは、CN8600 のファームウェアアップグレード、モニターの EDID の参照、CN8600 の設定内容のバックアップ・リストアおよび IP アドレスの ping を行うことができます。

### メインファームウェアのアップグレード

CN8600 の新しいファームウェアがリリースされると、弊社ダウンロードサイトに公開されます。このサイトを定期的にチェックして頂くことで、最新のパッケージを入手することができます。

ファームウェアをアップグレードする場合は、下記の手順に従ってください。

1. 新しいファームウェアファイルをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
2. ブラウザを開いて CN8600 にログインし、左パネルにある「Maintenance」(メンテナンス)メニューをクリックして、下図のように「ファームウェアファイル」ダイアログボックスを表示してください。



3. 「Browse」(参照)ボタンをクリックして、新しいファームウェアが保存されているフォルダーに移動し、ファームウェアファイルを選択してください。
4. 「Upgrade Firmware」(ファームウェアのアップグレード)ボタンをクリックしてください。  
「Check Firmware Version」(本体のファームウェアバージョンの確認)の項目にチェックが入っている場合、アップグレードの実行時に現在インストールされているファームウェアファイルと、この画面で指定したファームウェアファイルの間でバージョンの比較を行います。現在インストールされているバージョンの方が新しい場合、処理を中止するという内容のメッセージがダイアログに表示されます。

---

**注意：** 古いファームウェアをインストールしたい場合は、「Upgrade Firmware」(ファームウェアのアップグレード)ボタンをクリックする前に「Check Firmware Version」(本体のファームウェアバージョンの確認)の項目からチェックを外してください。

---

5. アップロードが完了すると、操作が成功したという内容のメッセージが画面に表示されるので、メイン画面の左下にある「Logout」(ログアウト)をクリックしてください。
6. 手順 5 の後で画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックして CN8600 からログアウトし、リセットしてください。

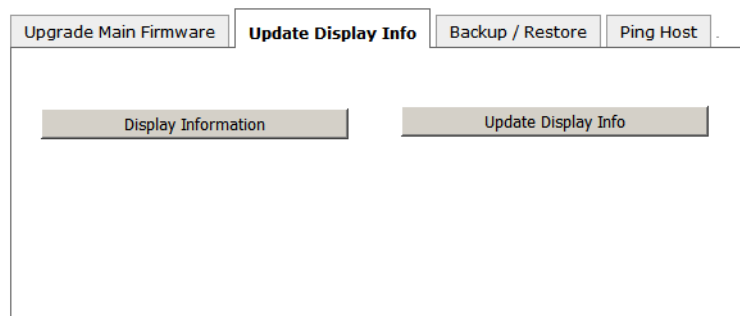
---

**注意：** 再ログインする場合は、しばらく経ってから操作を行ってください。

---

## 表示情報の更新

「Update Display Info」(表示情報の更新)画面では、ローカルモニターの EDID を表示します。



接続しているモニターの EDID を正しく読めているかを確認するには、「Display Information」(表示情報)をクリックしてください。初回時またはモニターを変更した場合は、「Update Display Info」(表示情報の更新)をクリックして、新しく接続したモニターの EDID を取得してください。

---

**注意：** この情報が取得されない場合、PC によっては解像度の変更不可や画像が表示しない等の不具合が発生することがあります。

---

## バックアップ/復元

「Backup/Restore」(バックアップ/復元)画面では、CN8600 の設定とユーザープロフィール情報のバックアップを作成することができます。バックアップされたユーザーアカウントと設定情報は「Restore」(復元)セクションに保存されます。

復元を実行すると、CN8600 で現在設定されている情報が復元した情報に置き換わります。

Upgrade Main Firmware   Update Display Info   **Backup / Restore**   Ping Host

**Backup**

Password:

Backup

**Restore**

Filename:  Browse...

Password:

☒ Select All   ☐ User Account   ☐ User Select

**Options**

|                                                        |                                               |
|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Device Information | <input checked="" type="checkbox"/> Network   |
| <input checked="" type="checkbox"/> ANMS               | <input checked="" type="checkbox"/> Security  |
| <input checked="" type="checkbox"/> OBC                | <input checked="" type="checkbox"/> Date/Time |
| <input checked="" type="checkbox"/> Customization      | <input checked="" type="checkbox"/> Account   |

Restore

バックアップを作成する場合は、以下の手順で操作してください。

1. (オプション)「Password」(パスワード)の項目に、ファイルのパスワードを入力してください。

---

**注意:**      パスワードを設定する場合、ファイルの復元の際にこのパスワードが必要になりますので、忘れないように記録しておいてください。

---

2. 「Backup」(バックアップ)をクリックしてください。

3. ブラウザからファイルの保存方法を問うダイアログが表示された場合は、「Save to disk」(ディスクに保存)を選択し、お使いのコンピューターのドライブの適当な場所に保存してください。

---

**注意:** CN8600 は「sysconfig.cfg」という名前で作成バックアップファイルを作成します。複数のファイルにバックアップを行いたい場合は、保存する際に別名をつけて保存してください。

---

過去にバックアップした情報をリストアする場合は、下記の手順に従ってください。

1. バックアップを作成した際にパスワードを設定している場合は、このパスワードと同じ文字列を「Password」(パスワード)欄に入力してください。パスワードを設定していない場合は、この欄に入力する必要はありません。

2. 「**Browse**」(参照)ボタンをクリックして、ファイルを選択してください。

---

**注意:** ファイル名を変更している場合でも、新しいファイル名のままで処理できますので、元のファイル名に変更する必要はありません。

---

3. 復元したいバックアップの内容を選択してください。

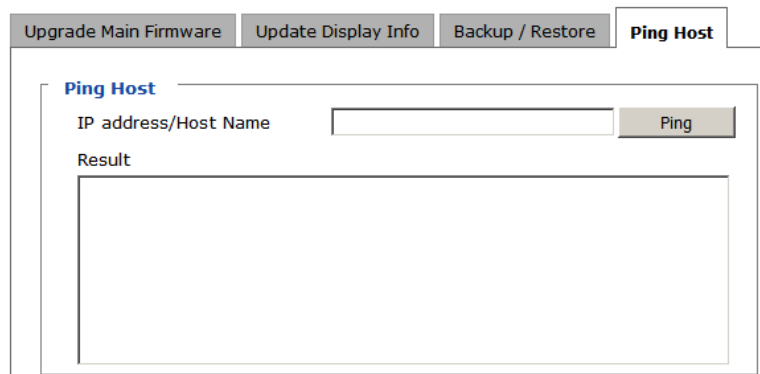
- ◆ ユーザーアカウントとすべての設定情報の両方を復元する場合は、「All」(すべて)を選択してください。
- ◆ ユーザーアカウント情報のみを復元する場合は、「User Account」(ユーザーアカウント)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ バックアップファイルに保存された内容のうち、復元する対象となる部分を個別に選択したい場合は、「User Select」(ユーザー選択)のラジオボタンを選択し、対象項目にチェックを入れてください。

4. 項目を選択したら、「**Restore**」(復元)ボタンをクリックしてください。

ファイルが復元されると、処理が完了したという内容のメッセージが表示されます。

## Host に Ping する

「Ping Host」(Host に Ping する)画面では、IP アドレスに ping を送信することができます。「IP address/Hostname」(IP アドレス/ホストネーム)の欄を入力してから、「Ping」をクリックしてください。



「IP address/Host Name」(IP アドレス/ホスト名)のテキストボックスにはコマンドを入力することもできます。

コマンド : tc help

結果 : コマンドのヘルプ情報を取得します。

コマンド : tc get

結果 : 現在の設定を取得します。

コマンド : tc enablessl2 [オプション]

結果 :

- [オプション] が 0 の場合 - SSLv2 を無効にします。
- [オプション] が 1 の場合 - SSLv2 を有効にします。

コマンド : tc enablerc4 [オプション]

結果 :

- [オプション] が 0 の場合 - RC4 暗号を無効にします。
- [オプション] が 1 の場合 - RC4 暗号を有効にします。

コマンド : tc setsslcipher [オプション]

結果 :

- [オプション] が 0 の場合 - 低～高の暗号を使用します。
- [オプション] が 1 の場合 - 中～高の暗号を使用します。
- [オプション] が 2 の場合 - 高の暗号のみを使用します。

## 詳細設定

以下のセクションでは、「デバイス情報」、「ネットワーク」、「ANMS」、「セキュリティ」、「コンソール管理」、「日付/時刻」、「カスタマイズ」画面を含む管理者用ユーティリティの「詳細設定」について説明します。

### デバイス情報

「Device Information」(デバイス情報)画面では、CN8600 のステータスに関する情報を表示します。この画面でデバイス名を変更することができます。

|              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| Device Name: | <input type="text" value="CN8600"/> |
|--------------|-------------------------------------|

|                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| <b>General</b>               |                              |
| MAC1 Address:                | 00-48-54-00-77-8b            |
| MAC2 Address:                | 00-48-54-00-77-99            |
| Firmware Version:            | V1.0.063.20130312            |
| FPGA:                        | Build20120809                |
| IP Address 1:                | 172.17.17.21                 |
| Subnet Mask 1:               | 255.255.255.0                |
| Gateway 1:                   | 172.17.17.254                |
| IPv6 Address 1:              | FE80:0:0:0:48:54FF:FE00:778B |
| IPv6 Subnet Prefix Length 1: | 0                            |

Save

#### General(全般)

- ◆ **Device Name**(デバイス名):複数の CN8600 を導入している場合、システムの管理を容易にするため、個々のユニットに名前を付けることができます。この欄に名前(半角英数字最大 16 文字)を入力してから「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。ここで変更したデバイス名は、弊社製品 Web ページで公開しているユーティリティ「IP Installer」や別売品のデバイス管理ソフトウェア「CC2000」等で確認できます。
- ◆ **MAC (1,2) Address**(MAC (1,2)アドレス):CN8600 の MAC アドレスはここに表示されます。
- ◆ **Firmware Version / FPGA**:CN8600 の現在のファームウェアバージョンを表示します。CN8600 の新しいバージョンのファームウェアは弊社 Web サイトからダウンロードしてご利用いただけます(p.39「メインファームウェアのアップグレード」参照)。新しいバージョンのファームウェアを入手する場合、このバージョン情報をご確認ください。

- ◆ **IP Address**(IP アドレス) :CN8600 の IPv4 (32 ビット) アドレス(レガシーフォーマット)を表示します。
- ◆ **Subnet Mask**(サブネットマスク) :IP 接続用のサブネットマスクを表示します。
- ◆ **Gateway**(ゲートウェイ) :CN8600 のゲートウェイアドレスを表示します。
- ◆ **IPv6 Address / IPv6 Subnet Prefix Length**(IPv6 アドレス/IPv6 サブネットプレフィックス長) : CN8600 の IPv6 (128 ビット) アドレス (新フォーマット) を表示します。詳細は p.153「IPv6」を参照してください。

## ネットワーク

「Network」(ネットワーク)画面は、CN8600 のネットワーク環境を設定するのに使用します。

|                                                                                                         |               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <b>IP Installer</b>                                                                                     |               |
| <input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> View Only <input type="radio"/> Disabled |               |
| <b>Service Ports</b>                                                                                    |               |
| Program:                                                                                                | 9000          |
| HTTP:                                                                                                   | 80            |
| HTTPS:                                                                                                  | 443           |
| SSH:                                                                                                    | 22            |
| Telnet:                                                                                                 | 23            |
| <input checked="" type="checkbox"/> Redundant NIC                                                       |               |
| 1000M Network Adapter 1                                                                                 |               |
| <b>IPv4 Settings</b>                                                                                    |               |
| IP Address:                                                                                             |               |
| <input type="radio"/> Obtain IP address automatically [DHCP]                                            |               |
| <input checked="" type="radio"/> Set IP address manually [Fixed IP]                                     |               |
| IP Address:                                                                                             | 172.17.17.21  |
| Subnet Mask:                                                                                            | 255.255.255.0 |
| Default Gateway:                                                                                        | 172.17.17.254 |
| DNS Server:                                                                                             |               |
| <input checked="" type="radio"/> Obtain DNS server address automatically                                |               |
| <input type="radio"/> Set DNS server address manually                                                   |               |
| Preferred DNS server:                                                                                   | 10.0.1.6      |
| Alternate DNS server:                                                                                   | 10.0.1.7      |
| <b>IPv6 Settings</b>                                                                                    |               |
| IP Address:                                                                                             |               |
| <input checked="" type="radio"/> Obtain IPv6 address automatically [DHCP]                               |               |
| <input type="radio"/> Set IPv6 address manually [Fixed IP]                                              |               |
| IPv6 Address:                                                                                           |               |
| Subnet Prefix Length:                                                                                   | 64            |
| Default Gateway:                                                                                        |               |
| DNS Server:                                                                                             |               |
| <input checked="" type="radio"/> Obtain DNS server address automatically                                |               |
| <input type="radio"/> Set DNS server address manually                                                   |               |
| Preferred DNS server:                                                                                   |               |
| Alternate DNS server:                                                                                   |               |
| Network Transfer Rate: 99999 KBps                                                                       |               |
| <b>DDNS</b>                                                                                             |               |
| <input type="checkbox"/> Enable                                                                         |               |
| Host Name:                                                                                              |               |
| DDNS:                                                                                                   | dyndns.org    |
| Username:                                                                                               |               |
| Password:                                                                                               |               |
| DDNS Retry Time:                                                                                        | 0 hour        |

## IP インストーラー

「IP Installer」(IP インストーラー)は、CN8600 に外部から IP アドレスを設定することのできる、Windows 用ソフトウェアです。IP インストーラーの用途に応じて、「Enabled」(有効にする)、「View Only」(参照のみ)、「Disabled」(無効にする)のいずれかのラジオボタンをクリックしてください。IP インストーラーの詳細については p.150 をご参照ください。

- 
- 注意:**
1. 「View Only」(参照のみ)を選択した場合、CN8600 は IP インストーラーのデバイスリストで確認することができますが、この IP インストーラーから IP アドレスを変更することはできません。
  2. セキュリティを保護するために、IP インストーラーの使用後には、この項目を「View Only」(参照のみ)または「Disabled」(無効にする)に設定することを強く推奨します。
- 

## サービスポート

CN8600 が様々なネットワークサービスで使用するポートを設定してください。

- ◆ **Program**(プログラム): Windows クライアントや Java アプレットビューア、Windows/Java クライアント AP プログラムから CN8600 に接続する際に使用するポート番号です。デフォルトでは 9000 に設定されています。
- ◆ **HTTP**: ブラウザログインに使用するポート番号です。デフォルトでは 80 に設定されています。
- ◆ **HTTPS**: セキュアブラウザログインに使用するポート番号です。デフォルトでは 443 に設定されています。
- ◆ **SSH**: セキュアシェルログインに使用するポートです。デフォルトでは 22 に設定されています。
- ◆ **Telnet**: セキュアコンソールログインでのアクセスに使用するポートです。デフォルトでは 23 に設定されています。

- 
- 注意:**
1. 各サービスポートで有効な値は 1~65535 です。
  2. これらのポートはそれぞれ固有のポートを割り当て、項目間で値が重複しないように設定してください。
  3. ファイアーウォールが設置されている環境では、ネットワーク管理者とご相談の上、設定してください。
- 

ファイアーウォールが導入されている場合、管理者はファイアーウォールの設定で許可されたポート番号を製品側でも設定する必要があります。デフォルト以外のポートを使っている場合、ユーザーはログインの際に IP アドレスの一部分のポート番号を入力しなくてはなりません。入力するポート番号が正しくなかったり、入力されていなかったりすると CN8600 を検索しても表示されません。リモートユーザーとネットワークが確立できているかを確認するには、p.43「Host に Ping する」機能等をご利用ください。

## 冗長化 NIC

冗長化 NIC では、プライマリ接続に失敗した場合でも、自動的にもう一方のネットワークアダプタに切り替わって、CN8600 が常にオンラインとなるようにすることができます。

- ◆ セカンド IP アドレス用のセカンド LAN ポートを使用する場合は、「Redundant NIC」(冗長化 NIC)にチェックを入れてください。
- ◆ セカンド IP アドレス用のセカンド LAN ポートを使用している場合、「Redundant NIC」(冗長化 NIC)にチェックを入れないでください。ドロップダウンメニューを使用して、「1000M Network Adapter 2」(1000M ネットワークアダプタ 2)を選択してから、その IP と DNS アドレスを設定してください。

## IPv4 設定

CN8600 には DHCP サーバーにアクセスして IP アドレスを取得することも、固定 IP アドレスを設定することも可能です。

- ◆ DHCP サーバーから IP アドレスを取得する場合は、「Obtain an IP address automatically」(IP アドレスを自動的に取得する)のラジオボタンを選択してください(デフォルト設定です)。
- ◆ 固定 IP アドレスを設定する場合は、「Set IP address manually」(IP アドレスを手動で設定する)のラジオボタンを選択し、IP アドレスを入力してください。

---

**注意:**

1. 「Obtain an IP address automatically」(IP アドレスを自動的に取得する)の項目を選択し、DHCP を使って製品の IP アドレスを自動的に取得する場合、製品は起動後に DHCP サーバーからの IP アドレスの割り当てを待機します。1 分経過しても IP アドレスが割り当てられない場合は、工場出荷時にデフォルトで設定された IP アドレス (192.168.0.60)に自動的に戻ります。
2. CN8600 が、DHCP がアドレスを割り当てるネットワークに接続されていて、なおかつ CN8600 に割り当てられた IP アドレスを確認する必要がある場合は、p.148「IP アドレスの設定」をご参照ください。

---

CN8600 には DNS サーバーのアドレスを自動で割り当てることも、手動で固定アドレスを設定することも可能です。

- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「Obtain DNS server address automatically」(DNS サーバーアドレスの自動取得)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバーの固定アドレスを手動で割り当てる場合は、「Use the following DNS server address」(以下の DNS サーバーアドレスを使用する)のラジオボタンを選択し、必要な情報を入力してください。

---

**注意:** 代替 DNS サーバーのアドレスは任意で設定してください。

---

## IPv6 設定

CN8600 には、DHCP サーバーにアクセスして IPv6 アドレス(DHCP)を取得することも、固定 IPv6 アドレスを設定することも可能です。

- ◆ 動的 IPv6 アドレスを割り当てる場合は、「**Obtain an IPv6 address automatically**」(IPv6 アドレスを自動的に取得する)のラジオボタンを選択してください(デフォルト設定です)。
- ◆ 固定 IP アドレスを設定する場合は、「**Set IPv6 address manually**」(IPv6 アドレスを手動で設定する)のラジオボタンを選択し、IP アドレスを入力してください。

CN8600 には DNS サーバーのアドレスを自動で割り当てることも、手動で固定アドレスを設定することも可能です。

- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「**Obtain DNS server address automatically**」(DNS サーバーアドレスの自動取得)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバーの固定アドレスを手動で割り当てる場合は、「**Use the following DNS server address**」(以下の DNS サーバーアドレスを使用する)のラジオボタンを選択し、必要な情報を入力してください。

---

**注意:** 代替 DNS サーバーのアドレスは任意で設定してください。

---

## ネットワーク転送速度

この項目では、リモートコンピューターに対する CN8600 のデータ転送速度を設定することによって、ネットワークのトラフィック状況に合うように転送データのサイズを調節することができます。設定できる値の範囲は 4~99999KBps(キロバイト/秒)です。

## DDNS

DDNS は DHCP サーバーによって割り当てられる動的 IP アドレスをホストネームにマッピングすることができます。CN8600 はある一定間隔で IP アドレスと DDNS サーバーとを更新します。CN8600 の DDNS 機能を有効にするには、下記の手順を行ってください。

1. 「**Enable**」(有効にする)にチェックを入れてください。
2. DDNS サービスプロバイダーで登録したホストネームを入力してください。
3. リストをドロップダウンして、登録した DDNS サービスを選択してください。
4. DDNS サービスの認証に使うユーザーネームとパスワードを入力してください。
5. 「DDNS Retry Time」(DDNS 再試行回数)欄に DDNS サーバーを更新するまで CN8600 が待機する時間を入力してください。

---

**注意:** ネットワークの設定を変更したら CN8600 を再起動してください。

---

## ANMS

ANMS (Advanced Network Management Settings)画面では外部システムからのログイン認証および権限管理に関するセットアップを行います。これは複数の項目から構成されており、各内容については、後のセクションで説明します。

### イベントの宛先

この項目では、SMTP、ログサーバー、SNMP および syslog サーバー設定を行います。

**Event Destination** **Authentication**

**SMTP Settings**  
☐ Enable report from the following SMTP Server  
SMTP Server:   
Service Port:   
☒ My server requires secure connection (SSL)  
☒ My server requires authentication  
Account Name:   
Password:   
From:   
To:   
☐ Report IP Address  
☐ Report system reboot  
☐ Report user login  
☐ Report user logout

**Log Server**  
☐ Enable  
MAC Address:   
Service Port:

**SNMP Server**  
☐ Enable SNMP Agent  
Server IP:   
Service Port:

**Syslog Server**  
☐ Enable  
Server IP:   
Service Port:

## SMTP 設定

SMTP サーバーから CN8600 のレポートをユーザーにメール通知する場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「**Enable report from the following SMTP server**」(以下の SMTP サーバーからの通知を有効にする)の項目にチェックを入れ、お使いの SMTP サーバーの IP アドレスおよびサービスポートを入力してください。
2. お使いの SMTP サーバーに SSL 接続が必要な場合は、「**My server requires secure connection (SSL)**」(サーバーはセキュアな接続 (SSL) が必要)の項目にチェックを入れてください。
3. サーバーで認証が必要な場合は、「**My server requires authentication**」(サーバー認証が必要)の項目にチェックを入れて、「**Account Name**」(アカウント名)と「**Password**」(パスワード)の各欄にお使いの環境に適した値を設定してください。
4. レポートの差出人となるメールアドレスを「**From**」欄に入力してください。

---

**注意:** 「From」欄に設定できるメールアドレスは一つだけで、アドレスは半角英字 64 文字以内で設定してください。

---
5. SMTP レポートの宛先となるメールアドレスを「**To**」欄に入力してください。

---

**注意:** 複数の宛先にレポートを配信する場合は、アドレスをセミコロンで区切ってください。また、宛先のアドレス全体で半角英字が 256 文字以内になるように設定してください。

---
6. レポートに含める情報にチェックマークを入れてください。
  - ◆ Report IP Address (IP アドレスを報告)
  - ◆ Report system reboot (システム再起動を報告)
  - ◆ Report user login (ユーザログインを報告)
  - ◆ Report user logout (ユーザログアウトを報告)

## ログサーバー

ログインや内部ステータスメッセージ等、CN8600 で発生した重要なイベントは、自動的にログファイルに記録されます。このログサーバーはANMS 画面の「ダウンロード」から入手できます(p.80 参照)。

- ◆ ログサーバーが動作しているコンピューターのハイフンを抜いた MAC アドレスを「MAC address」(MAC アドレス) 欄に入力してください。
- ◆ ログサーバーが動作しているコンピューターがログデータをリッスンしているポートの番号を「Port」(ポート) 欄に入力してください。入力可能な値の範囲は 1～65535 で、デフォルトでは 9001 に設定されています。

---

**注意:** このポート番号は、「プログラム」で指定されたポートとは別のポートを使用してください(p.47「サービスポート」参照)。

---

ログサーバーのセットアップ方法については第 10 章をご参照ください。また、ログファイルについては p.138 で説明しています。

## SNMP サーバー

SNMP トラップイベントの通知を受ける場合は、下記の手順に従って設定を行ってください。

1. 「Enable SNMP Agent」(SNMP エージェントを有効にする)の項目にチェックを入れてください。
2. SNMP トラップイベントの通知を受けるコンピューターの IP アドレスとポート番号を入力してください。ポート番号の有効な値の範囲は 1～65535 で、デフォルトのポート番号は 162 です。

---

**注意:** SNMP トラップイベントで通知されるログは、「システム電源 ON」、「ログイン失敗」および「システムリセット」です。

---

## Syslog サーバー

CN8600 で発生した全イベントを記録し、Syslog サーバーに書き込む場合は、下記の手順に従って設定してください。

1. 「**Enable**」(有効にする)の項目にチェックを入れてください。
2. Syslog サーバーの IP アドレスとポート番号を入力してください。ポート番号の有効な値の範囲は 1～65535 で、デフォルトのポート番号は 514 です。

## 認証

CN8600 は外部プログラムを介してログイン認証を行うことができます。

この画面では、RADIUS、LDAP および CC デバイス統合管理の設定ができます。

CN8600 デバイス認証を行う代わりに RADIUS、LDAP、CC デバイス統合管理認証を行う場合、「**Disable Device Authentication**」(デバイス認証を無効にする)にチェックを入れてください。このオプションを選択すると、CN8600 のローカル側でのログイン認証を無効にします。

ご使用になっているサードパーティーの認証サーバー/外部プログラムが認証に失敗して、CN8600 にログインできない場合、ローカルコンソールを介したローカル認証を有効にすることができます。ローカルコンソールを使用して CN8600 の認証を有効にする方法については、p.148 を参照してください。

## RADIUS 設定

RADIUS サーバー経由で CN8600 への認証を行う場合は、以下の手順で操作してください。

| RADIUS Settings                        |                                    |
|----------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Enable        |                                    |
| Preferred RADIUS Server IP:            | <input type="text"/>               |
| Preferred RADIUS Service Port:         | <input type="text" value="0"/>     |
| Alternate RADIUS Server IP:            | <input type="text"/>               |
| Alternate RADIUS Service Port:         | <input type="text" value="0"/>     |
| Timeout:                               | <input type="text" value="0"/> sec |
| Retries:                               | <input type="text" value="0"/>     |
| Shared Secret (at least 6 characters): | <input type="text"/>               |

1. 「**Enable**」(有効にする)の項目にチェックを入れてください。
2. 優先および代替 RADIUS サーバーの IP アドレスとポート番号を入力してください。
3. 「Timeout」(タイムアウト)の項目に、CN8600 が RADIUS サーバーの応答を待機する最大時間(秒)を入力してください。
4. 「Retries」(再試行)の項目に、RADIUS サーバーを使ったログインの再試行可能回数を設定してください。
5. 「**Shared Secret**」(共有シークレット)の項目に、CN8600 と RADIUS サーバーとの認証で使用する共有シークレットの文字列を入力してください。

## LDAP 設定

LDAP や LDAPS 経由して認証や権限設定を行うには、CN8600 の拡張属性ネームである「CN8600-userProfile」が「person」クラスにオプションの属性が追加されるように Active Directory の LDAP スキーマを拡張しなければなりません。

LDAP サーバーを設定するには、下記の手順に従ってください。

1. Windows サーバーサポートツールをインストールしてください。
2. Active Directory スキーマスナップインをインストールしてください。
3. Active Directory スキーマの拡張および更新を行ってください。

詳細は、「LDAP サーバー設定例」を参照してください。また、弊社の Web サイト (<https://www.aten.com/jp/ja/>) のダウンロードページを参照してください。

The screenshot shows the 'AD/LDAP Settings' window. It has a title bar 'AD/LDAP Settings'. Inside, there is a checkbox labeled 'Enable'. To the right, there is a 'Type' section with two radio buttons: 'LDAP' (selected) and 'LDAPS'. Below these, there are several input fields: 'LDAP Server:', 'Admin DN:', 'Admin Name:', 'Password:', 'Search DN:', 'Port:', and 'Timeout:'. The 'Port' and 'Timeout' fields have default values of '0' and a unit of 'sec'.

CN8600 の認証及び権限設定を LDAP や LDAPS で行う場合は、下表を参照してください。

| 項目                              | 説明                                                                                                   |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Enable(有効にする)                   | LDAP/LDAPS による認証および権限設定を行う場合は、この項目にチェックを入れてください。                                                     |
| LDAP/LDAPS                      | この機能を有効にした時に、LDAP と LDAPS のどちらを使うかをラジオボタンで選択してください。                                                  |
| LDAP Server<br>(LDAP サーバー)      | LDAP または LDAPS サーバーの IP アドレスとポート番号を入力してください。LDAP サーバーのデフォルトポート番号は 389、LDAPS サーバーのデフォルトポート番号は 636 です。 |
| Port(ポート)                       |                                                                                                      |
| Timeout(Seconds)<br>(タイムアウト(秒)) | CN8600 が LDAP または LDAPS サーバーからの応答を待機する秒数を設定してください。                                                   |
| Admin DN (アドミニ<br>ストレーターDN)     | この項目は LDAP または LDAPS サーバーの管理者に確認して設定してください。以下、設定例です。<br>例: cn=LDAPAdmin,ou=cn8600,dc=aten,dc=com     |

(表は次のページに続きます)

| 項目                          | 説明                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Admin Name<br>(アドミニストレーター名) | CN8600 のアドミニストレーターのグループ名を入力してください。                                                                                                                                                                |
| Password(パスワード)             | LDAP サーバー管理者のパスワードを入力してください。                                                                                                                                                                      |
| Search DN(サーチ DN)           | サーチベースの識別名 (DN)を設定してください。これはユーザーネームの検索開始位置となるドメイン名です。<br>「Enable Authorization」(認証の有効化)の項目にチェックが入っていない場合、この項目は CN8600 の管理グループが作成された場所を表すエントリを含む必要があります。設定する値については LDAP/LDAPS サーバー管理者までお問い合わせください。 |

### (RADIUS および LDAP 用)操作権限属性値

操作権限の属性値は、以下の 2 つの部分から構成されています。

- 1) ユーザーがアクセス可能な CN8600 の IP アドレス
- 2) ユーザーがその IP アドレスの CN8600 で持っているアクセス権を表す文字列

例:192.168.0.80&c,w,j;192.0.188&v,l

操作権限を構成するエントリは下記のとおりです。

- ◆ アンパサンド(&)は CN8600 の IP アドレスとアクセス権を表す文字列をつなぎます。
- ◆ アクセス権を表す文字列は「c w j p l v s」という文字の組み合わせから構成されています。文字列は大文字でも小文字でも入力可能です。下表の「操作権限を表す文字列」を参照してください。
- ◆ アクセス権を表す文字列の文字はコンマ(,)で区切ってください。コンマの前後にスペースは不要です。
- ◆ ユーザーが複数台の CN8600 に対してアクセス権を持っている場合、各操作権限のセグメントはセミコロン(;)で区切ってください。セミコロンの前後にスペースは不要です。
- ◆ RADIUS および LDAP 設定には以下のキーワードを使用してください: **su/[username]**  
-ユーザー名はシステムに存在する実際のユーザー名を使用してください。
- ◆ LDAP では「CN8600-userProfile」を使用しなければなりません。またはこれを放棄することもできます。ログイン名はローカルアカウントに存在しなければなりません。

## 操作権限を表す文字列

| 文字列 | 説明                                                |
|-----|---------------------------------------------------|
| C   | ユーザーにアドミニストレーター権限を与えます。ユーザーはシステム設定を行うことができます。     |
| W   | ユーザーに Windows クライアントプログラムを介してシステムへアクセスすることを許可します。 |
| J   | ユーザーに Java アプレットを介してシステムへアクセスすることを許可します。          |
| L   | ユーザーにユーザーのブラウザ上でログ情報にアクセスすることを許可します。              |
| V   | ユーザーにビデオ出力の参照のみ許可します。                             |
| M   | ユーザーにバーチャルメディア機能を読み取り/書き込みで使用することを許可します。          |

## CC デバイス統合管理

CN8600 の認証を CC (コントロールセンター) サーバー経由で行う場合は、「Enable」(有効にする) の項目にチェックを入れて、CC サーバーの IP アドレスとポート番号をそれぞれの項目に入力してください。

**CC Management**

☒ Enable
 CC Server IP: 
CC Service Port:

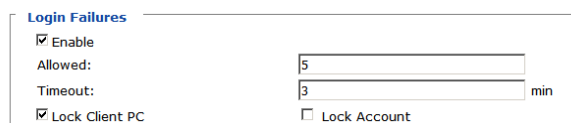
**注意:** 「authentication」(認証)とはログインしているユーザーが本当に存在するかを確認することを、「authorization」(認可)とはユーザーに対してデバイスの様々な機能の使用権限を定義することを、それぞれ指しています。

## セキュリティ

「Security」(セキュリティ)画面では CN8600 に対するアクセスを管理し、「ログイン失敗ポリシー」、「ログイン文字列」や「セキュリティ設定」などの設定を行います。

### ログイン失敗

セキュリティを強化するために、このセクションではユーザーのログイン失敗を処理する際に適用されるポリシーを設定することができます。



|                                                    |                                       |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>Login Failures</b>                              |                                       |
| <input checked="" type="checkbox"/> Enable         |                                       |
| Allowed:                                           | <input type="text" value="5"/>        |
| Timeout:                                           | <input type="text" value="3"/> min    |
| <input checked="" type="checkbox"/> Lock Client PC | <input type="checkbox"/> Lock Account |

各項目の意味は下記のとおりです。

- ◆ **ログイン失敗ポリシー**: CN8600 が適用するログイン失敗ポリシーを選択してください。  
「Lock Client PC」(クライアント PC のロック) - この項目にチェックが入っていると、ログイン連続試行回数を超えてしまった場合に、リモートからアクセスしているコンピューターは自動的に締め出され、ログイン画面にアクセスできなくなります。デフォルトではこの項目にチェックが入っています。この機能はクライアントコンピューターの IP アドレスに基づいて処理されています。IP アドレスが変更されると、このコンピューターはロックされなくなります。  
「Lock Account」(アカウントのロック) - この項目にチェックが入っていると、ログイン連続試行回数を超えてしまった場合に、そのアカウントは自動的に締め出され、そのユーザー名とパスワードからのログインは拒否されてしまいます。デフォルトではこの項目にチェックが入っています。
- ◆ **Allowed** (許可) - リモートコンピューターからのログイン連続試行可能回数を設定します。デフォルトでは 5 回に設定されています。
- ◆ **Timeout** (タイムアウト) - ログイン連続試行回数を超えてしまった場合に、次のログインを行うまでに待機しなければならない時間を設定します。デフォルトでは 3 分に設定されています。

---

**注意:** この「Login Failures」(ログイン失敗)の項目を設定していないと、ユーザーは無制限で何度でもログインを試行することが可能になってしまいます。セキュリティを維持するためにも、この機能を有効にし、ロックアウトポリシーを設定されることを推奨します。

---

## フィルター

IP および MAC フィルター機能は CN8600 への接続を試みるコンピューターの IP アドレスや MAC アドレスに基づいて、このユニットへのアクセスを制御するものです。フィルターは IP フィルター、MAC フィルターそれぞれ最大で 100 項目作成することができます。フィルターは設定されると、IP フィルターおよび MAC フィルターリストボックスにそれぞれ表示されます。

The screenshot shows a web-based configuration page titled "Filter". It is divided into two main sections: "IP Filter" and "MAC Filter".

- IP Filter Section:**
  - Checkbox: ☐ Enable IP Filter
  - Radio buttons: ☒ Include, ☐ Exclude
  - A large empty rectangular box for the IP filter list.
  - Buttons: Add, Modify, Delete
- Login String:**
  - A text input field.
- MAC Filter Section:**
  - Checkbox: ☐ Enable MAC Filter
  - Radio buttons: ☒ Include, ☐ Exclude
  - A large empty rectangular box for the MAC filter list.
  - Buttons: Add, Modify, Delete

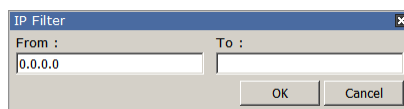
IP フィルター機能を有効にする場合は、「IP Filter Enable」(IP フィルターを有効にする)の項目に、MAC フィルター機能を有効にする場合は「MAC Filter Enable」(MAC フィルターを有効にする)の項目にそれぞれチェックを入れてください。

- ◆ 「**Include**」(含む)ラジオボタンが選択されている場合は、指定範囲内のアドレスからのアクセスを許可します。それ以外のアドレスからのアクセスは全て拒否されます。
- ◆ 「**Exclude**」(除く)ラジオボタンが選択されている場合は、指定範囲内のアドレスからのアクセスを拒否します。それ以外のアドレスからのアクセスは全て許可されます。

## フィルター項目の追加

IP アドレスのフィルター項目は下記の手順で追加してください。

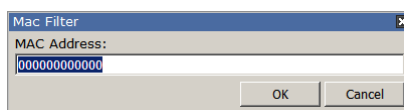
1. 「**Add**」(追加)ボタンをクリックしてください。フィルタリングの対象となる IP アドレスの範囲を入力してから「**OK**」をクリックしてください。



2. 他にもフィルター項目がある場合は、上記手順を繰り返して設定してください。

MAC アドレスのフィルター項目は下記の手順で追加してください。

1. 「**Add**」(追加)ボタンをクリックしてください。下図のようなダイアログが表示されます。



2. ダイアログボックスにハイフンを抜いた MAC アドレスを入力したら「**OK**」ボタンをクリックしてください。
3. 他にもフィルター項目がある場合は、上記手順を繰り返して設定してください。

---

**注意:** あるコンピューターが IP アドレスによるフィルタリングではアクセスが許可されているにもかかわらず、MAC アドレスによるフィルタリングではアクセスが禁止されているといったように、フィルタリングの内容に矛盾がある場合、そのコンピューターからのアクセスはブロックされます。つまり、IP フィルターと MAC フィルターのいずれかがアクセス禁止と設定されている場合は、設定内容にかかわらず、そのコンピューターからのアクセスがブロックされます。

---

## フィルターの変更

フィルターを変更する場合は、対象となる項目を IP フィルターリスト、または MAC フィルターリストのボックスから選択し、「**Modify**」(変更)ボタンをクリックしてください。フィルター追加時に表示されるダイアログと同様のダイアログが表示されますので、新しいアドレスに変更してください。

## フィルターの削除

フィルターを削除する場合は、対象となる項目を IP フィルターリスト、または MAC フィルターリストのボックスから選択し、「Delete」(削除) ボタンをクリックしてください。

## ログイン文字列

CN8600 にブラウザでアクセスする際に、ログインページをサブディレクトリに変更する場合、この項目に任意のディレクトリ名を付けて変更することができます。

例: 192.168.0.126/CN8600

- ◆ 入力可能な文字の種類は下記のとおりです。

0-9 a-z A-Z ~!@ \$ ^ & \* ( ) \_ + ' - = [ ] { } ; ' < > , . |

- ◆ ログイン文字列には、下記の文字は使用できません。

- % ” : / ? # \ および半角スペース
- アクセント付き文字や複合文字(É Ç ñ 等)

---

**注意:**

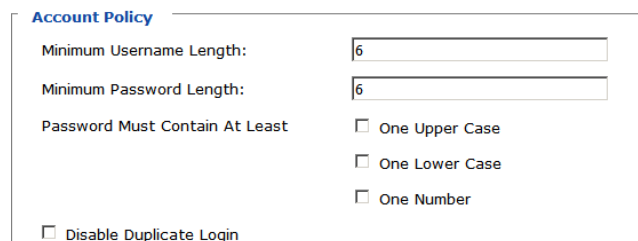
1. IP アドレスとログイン文字列は半角スラッシュ「/」で区切ってください。
2. この文字列を設定していないと、CN8600 の IP アドレス単独で誰でも簡単にアクセスできるので、お使いのシステムが危険な状態にさらされるおそれがあります。

---

セキュリティを維持するために、この文字列を定期的に変更されることを推奨します。

## アカウントポリシー

ユーザー名やパスワードのパラメーターを設定することができます。



**Account Policy**

Minimum Username Length:

Minimum Password Length:

Password Must Contain At Least

- ☐ One Upper Case
- ☐ One Lower Case
- ☐ One Number

☐ Disable Duplicate Login

- ◆ Minimum Username Length(ユーザー名最小文字数):ユーザー名の設定に最低限入力が必要な文字数を設定します。設定できる値は0～16です(デフォルトでは6に設定されています)。
- ◆ Minimum Password Length(パスワード最小文字数):パスワードの設定に最低限入力が必要な文字数を設定します。設定できる値は0～16です(デフォルトでは6に設定されています)。
- ◆ 「Password Must Contain At Least」(パスワードには以下が必須)にある項目のいずれかにチェックを入れてください:「One Upper Case」(大文字1文字)、「One Lower Case」(小文字1文字)、「One Number」(数字1文字)

---

**注意:** このポリシーは既存のユーザーアカウントには適用されません。有効後にユーザーを作成したり、パスワードを変更したりした場合にこのポリシーが適用されます。

---

同一アカウントによる同時ログインを許可しない場合は、「Disable Duplicate Login」(二重ログインを無効にする)にチェックを入れてください。これはユーザーが同一アカウントから同時にログインするのを防ぐことができます。

## 暗号化

本製品では、キーボード/マウス、ビデオ、バーチャルメディアデータの各信号を柔軟に暗号化できるオプションを提供しており、いずれの信号もそれぞれ DES、3DES、AES、RC4、ランダムを自由に組み合わせて設定することができます。

| Encryption                   |                               |                              |                              |                                 |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| Keyboard/Mouse               |                               |                              |                              |                                 |
| <input type="checkbox"/> DES | <input type="checkbox"/> 3DES | <input type="checkbox"/> AES | <input type="checkbox"/> RC4 | <input type="checkbox"/> Random |
| Video                        |                               |                              |                              |                                 |
| <input type="checkbox"/> DES | <input type="checkbox"/> 3DES | <input type="checkbox"/> AES | <input type="checkbox"/> RC4 | <input type="checkbox"/> Random |
| Virtual Media                |                               |                              |                              |                                 |
| <input type="checkbox"/> DES | <input type="checkbox"/> 3DES | <input type="checkbox"/> AES | <input type="checkbox"/> RC4 | <input type="checkbox"/> Random |

暗号化を有効にするとシステムのパフォーマンスに影響を及ぼします。システムは暗号化が設定されていない場合に最も高いパフォーマンスを提供しますが、暗号化を強化すればするほど、パフォーマンスは低下します。暗号化を有効にする場合は、パフォーマンスに与える影響を一読の上、お使いの環境に最適な設定を行ってください。注意点は下記のとおりです。

- ◆ パフォーマンスに与える影響が最も少ない暗号化は RC4 で、その後は DES、3DES、または AES の順に影響が大きくなります。
- ◆ 複数の暗号化を組み合わせて使う場合、最もシステムに与える影響が小さい組み合わせは RC4 と DES です。

## モード

このセクションでは作業モードパラメーターを設定することができます。

**Mode**

☒ Enable ICMP  
☒ Enable Multiuser Operation  
☒ Enable Virtual Media Write  
☐ Browser Service : 

Disable Browser

  
☐ Disable Authentication

- ◆ 「Enable ICMP」(ICMP を有効にする)にチェックを入れると、CN8600 は外部からの Ping に応答します。チェックが入っていないと、リモートから Ping を送信しても CN8600 は反応しません。この項目は、デフォルトで**有効**になっています。
- ◆ 「Enable Multiuser Operation」(複数ユーザーの操作を有効にする)にチェックを入れると、複数のユーザーが同時に CN8600 にログインすることができます。この項目は、デフォルトで**有効**になっています。
- ◆ 「Enable Virtual Media Write」(バーチャルメディア書き込みを有効にする)にチェックを入れると、CN8600 に接続された PC からリモートアクセスした PC へデータが書き込めるようになります。この項目は、デフォルトで**有効**になっています。
- ◆ 「Browser Service」(ブラウザサービス)にチェックを入れると、アドミニストレータは CN8600 へのブラウザアクセスの制限レベルを設定することができます。この機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れて、お使いの環境に適した制限内容をドロップダウンリストボックスから選択してください。オプションに関する説明は下表のとおりです。

| 項目                                       | 説明                                                                                                               |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Disable Browser<br>(ブラウザを無効にする)          | これを選択すると、ブラウザを使って CN8600 にアクセスすることができません。AP プログラムからのアクセスのみ可能となります (p.114「アプリケーションの操作」参照)。                        |
| Disable HTTP<br>(HTTP を無効にする)            | これを選択すると、ブラウザを使って CN8600 にアクセスすることはできませんが、通常のログイン接続(HTTP 使用)ではアクセスすることができません。つまり、セキュア HTTPS(SSL)接続のみアクセス可能となります。 |
| Disable HTTPS(SSL)<br>(HTTPS(SSL)を無効にする) | これを選択すると、ブラウザを使って通常のログイン接続(HTTP 使用)で CN8600 にアクセスすることができますが、セキュア HTTPS(SSL)接続からのアクセスはできません。                      |

- ◆ 「Disable Authentication」(認証を無効にする)にチェックが入っている場合、ログインを試みるユーザーをチェックする認証作業は行われません。ユーザーはログインボタンをクリックするだけで、アドミニストレーター権限にて CN8600 にアクセスすることができます。

**注意:** この設定を有効にすることは、セキュリティ面において極めて危険な影響を及ぼすことがありますので、特別な環境以外では設定しないようにしてください。

## プライベート認証

SSL 接続でログインすると、ユーザーが意図するサイトにログインしようとしているかどうかを検証するために署名済み証明書が使われます。デフォルトの ATEN 証明書を使うのではなく、このセッションで自分のプライベート暗号キーと署名済み証明書を使うように設定することで、セキュリティを強化することができます。

The screenshot shows two sections of a web interface. The top section, titled 'Private Certificate', contains two rows: 'Private Key :' with a text input field and a 'Browse...' button, and 'Certificate :' with a text input field and a 'Browse...' button. Below these are two buttons: 'Upload' and 'Restore default'. The bottom section, titled 'Certificate Signing Request', contains a 'Certificate :' row with a text input field and a 'Browse...' button. Below this are four buttons arranged in two rows: 'Create CSR' and 'Get CSR' in the first row, and 'Upload' and 'Remove CSR' in the second row.

プライベート証明書を発行するには、自己署名された証明書を作成する方法と、サードパーティーの証明局(CA)によって署名された証明書をインポートする方法の2つの方法があります。

### 自己署名済証明書の作成

自己署名済証明書は、「openssl.org.」等で公開されている「Win32 OpenSSL」等で作成できます。OpenSSLを使って自身のプライベートキーとSSL証明書を作成する方法の詳細については、p.162「自己署名(プライベート)証明書」を参照してください。

## CA 署名済 SSL サーバー証明書の取得

セキュリティを強化するために、サードパーティーの認証局 (CA) によって署名された証明書を使うことを推奨します。サードパーティーによって署名された証明書を取得する場合は、認証局の Web サイトにアクセスし、SSL 証明書を申請してください。CA から証明書が送られてきたら、お使いのコンピューターのハードディスクドライブの適当なフォルダーに保存してください。

## プライベート証明書のインポート

プライベート証明書をインポートする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. 「**Private Key**」(プライベートキー)の隣にある「**Browse**」(参照)ボタンをクリックして、プライベート暗号キーのファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
2. 「**Certificate**」(証明書)の隣にある「**Browse**」(参照)ボタンをクリックして、証明書のファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
3. 「**Upload**」(アップロード)ボタンをクリックして操作を完了してください。

---

**注意:** プライベート暗号キーと署名済証明書は同時にインポートしてください。

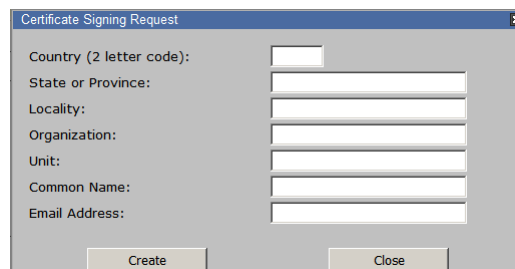
---

## CSR 証明書署名要求

「Certificate Signing Request(CSR)」(CSR 証明書署名要求)セクションでは、CA 署名付 SSL サーバー証明書を自動的に取得し、インストールすることができます。

この操作を実行するには、下記の手順に従ってください。

1. 「**Create CSR**」(CSR を生成)をクリックしてください。下記のダイアログボックスが表示されます。

A screenshot of a 'Certificate Signing Request' dialog box. It contains several input fields: 'Country (2 letter code):', 'State or Province:', 'Locality:', 'Organization:', 'Unit:', 'Common Name:', and 'Email Address:'. Each field has a corresponding text input area. At the bottom, there are two buttons: 'Create' and 'Close'.

2. 下表の記入例を参考にして、ご使用のサイトで有効な値を表に入力してください。

| 情報                                        | 記入例                                                                                                                    |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Country(2 letter code)<br>(国名 (2 バイトコード)) | TW                                                                                                                     |
| State or Province<br>(都道府県)               | Taiwan                                                                                                                 |
| Locality (市区町村)                           | Taipei                                                                                                                 |
| Organization (会社名)                        | Your Company, Ltd.                                                                                                     |
| Unit (部署名)                                | Techdoc Department                                                                                                     |
| Common Name<br>(コモンネーム)                   | mycompany.com<br>ここには証明書を有効にしたいサイトの正確なドメイン名を入力します。サイトのドメイン名が www.mycompany.com で、mycompany.com だけを入力すると、証明書は有効にはなりません。 |
| Email Address<br>(メールアドレス)                | administrator@youcompany.com                                                                                           |

3. 表の(全ての欄への)記入が完了したら、「**Create**」(生成)をクリックしてください。  
入力した情報に基づいた自己署名付証明書が CN8600 に保存されます。
4. 「**Get CSR**」(CSR を取得)をクリックして、ご使用のコンピューターの任意の場所に証明書ファイル (csr.cer) を保存してください。  
これは署名付 SSL 証明書をサードパーティーCA に申請する際に提出するファイルです。
5. CA が証明書を送付したら、それをご使用のコンピューターの任意の場所に保存してください。「**Browse**」(参照)をクリックして、ファイルの場所へ移動し、「**Upload**」(アップロード)をクリックしてそれを CN8600 に保存してください。

---

**注意:** ファイルをアップロードすると、CN8600 は設定した情報内容とファイル内容が一致するかどうかを確認します。一致した場合、ファイルは受け入れられ、一致しない場合は、拒否されます。

---

証明書を削除したい場合(例えば、ドメイン名が変更になったため、新しいものに置き換えたい場合)は、「**Remove CSR**」(CSR を削除)をクリックしてください。

## コンソール管理

このセクションでは、OOBC またはシリアル接続を経由して CN8600 コンソールを操作する方法について説明します。

### OOBC

CN8600 が通常の LAN 経由でアクセスできない場合には、CN8600 のモデムポートを使用してアクセスすることができます。PPP(モデム)操作ができるようにするには、「Enable Out of Band Access」(アウトオブバンドアクセスを有効にする)の項目にチェックを入れてください。

### PPP 設定

アウトオブバンドアクセスを有効にすると、以下のセクションで説明するように、「Enable Dial Back」(ダイヤルバックを有効にする)と「Enable Dial Out」(ダイヤルアウトを有効にする)が有効になります。

### ダイヤルバック

新たに追加されたセキュリティ機能の一つとして、この機能が有効になると、製品は自身へのダイヤルイン接続を切断し、下表で定義されたエントリの一つにダイヤルバック接続します。

**Dial Back**  
☐ Enable Dial Back  
☒ Enable Fixed Number Dial Back  
Phone Number:   
☒ Enable Flexible Dial Back  
Use dial back phone number for the Username  
Password:

- ◆ **Enable Fixed Number Dial Back**(固定番号ダイヤルバックを有効にする):このラジオボタンが選択されていると、電話の着信があった際に、CN8600 はモデム接続を切断し、ここで設定された電話番号のモデムにダイヤルバック接続します。  
「Phone Number」(電話番号)欄には CN8600 にダイヤルバックさせたいモデムの電話番号を入力してください。
- ◆ **Enable Flexible Dial Back**(フレキシブルダイヤルバックを有効にする):このボタンが選択されると、CN8600 がダイヤルバックするモデムは固定である必要はなく、下記のようにユーザーにとって都合のよいモデムにダイヤルバックすることができます。

1. 「Password」(パスワード)の欄には、ユーザーが設定したパスワードを入力してください。
2. CN8600 のモデムに接続する場合は、CN8600 がダイヤルバックするモデムの電話番号を「Username」(ユーザー名)欄に入力し、「Password」(パスワード)の欄で設定したパスワードを入力してください。

## ダイヤルアウト

ダイヤルアウト機能を使用する場合は、ISP(インターネットサービスプロバイダー)と契約を結び、この ISP で発行されたアカウントにモデムを使ってダイヤルアップ接続してください。本セクションで提供されている各項目の説明は下表のとおりです。

**Dial Out**

☒ Enable Dial Out

**ISP Settings**

Phone Number: 986969879
Account Name:
Password:

**Dial Out Schedule**

☒ Every: Never
☐ Daily at: 0 : 0
PPP online time: 100 minute(s)

**Emergency Dial Out**

☒ PPP stays online until network recovery
☐ PPP online time: 0 minute(s)

**Dial Out Mail Configuration**

SMTP Server IP Address: 198.168.0.0
Service Port: 465
☒ SMTP server requires secure connection (SSL)
☐ SMTP server requires authentication
Account Name:
Password:
Email From:
To:

- ◆ **ISP Settings**(ISP 設定):お使いの ISP に接続する際に使用する電話番号、アカウントネーム(ユーザーネーム)、パスワードをそれぞれ該当欄に入力してください。
- ◆ **Dial Out Schedule**(ダイヤルアウトスケジュール):ISP 接続で CN8600 がダイヤルアウトする回数を設定します。「Every」(繰り返し)のラジオボタンを選択すると、隣にあるリストが有効になり、1~4 時間ごとに定時で実行するように設定できます。
  - 例えば、「Every two hours」(2 時間毎に繰り返し)を選択すると、CN8600 は 00:00 から 2 時間おきにダイヤルアウト接続を行います。
  - 決まったスケジュールで CN8600 にダイヤルアウト接続しない場合は、リストから「Never」(なし)を選択してください。

- ◆ 「Daily at」(毎日)を選択すると、指定された時刻に毎日ダイヤルアウト接続を行います。時刻を「hh:mm」のフォーマットで設定してください。
- ◆ 「PPP online time」(PPP オンライン時間)では、ここで設定した時間が経過した後にセッションの接続を終了し、モデム接続を切断します。0を設定すると、常にオンラインになります。
- ◆ **Emergency Dial Out** (緊急ダイヤルアウト) : CN8600 がネットワークから切断された、またはネットワークがダウンした場合、この機能を使うと、ISP のダイヤルアップ接続で CN8600 をオンラインにすることができます。
  - 「PPP stays online until network recovery」(ネットワーク回復まで PPP オンラインを維持する)を選択すると、ネットワークが復旧するか、CN8600 がネットワークに再接続するまで ISP への PPP 接続が持続します。
  - 「PPP online time」(PPP オンライン時間)を選択すると、ここで設定した時間が経過した後に ISP への接続が終了します。0を設定すると、常にオンラインになります。
- ◆ **Dial Out Mail Configuration** (ダイヤルアウトメール設定) : このセクションでは、CN8600 のポートに接続された機器で問題が発生した場合に通知するメールに関連したパラメーターを設定することができます

---

**注意：** このメール通知機能は、社内のメールサーバーではなく ISP のメールサーバーを使って処理を行うため、SMTP 設定での通知機能とは若干異なります。

---

- 「SMTP Server IP Address」(SMTP サーバーIP アドレス)欄に SMTP サーバーの IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはドメイン名を入力し、「Service Port」(サービスポート)欄に対応するポート番号を入力してください。
- サーバーで SSL 接続が必要とされる場合は、「SMTP server requires secure connection(SSL)」(SMTP サーバーはセキュアな接続(SSL)が必要)にチェックを入れてください。
- サーバーで認証が必要とされる場合は、「SMTP server requires authentication」(SMTP サーバーは認証が必要)にチェックを入れて、認証に適切なアカウントネームとパスワードを該当欄に入力してください。
- SMTPサーバーの管理者(またはアドミニストレーターと同等の権限を持ったユーザー)のメールアドレスを「Email From」欄に入力してください。
- 「To」欄に、レポートの宛先となるメールアドレスを入力してください。複数のアドレスに送信する場合は、コンマまたはセミコロンでアドレスを区切ってください。

本画面での設定が完了したら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

## シリアルコンソール

CN8600 と接続したシリアルデバイスとの通信を設定するには、「Port Property Settings」(ポートプロパティの設定)におけるデバイスのパラメーターと合致したパラメーターを設定しなければなりません。

OOBC Serial Console

Port Property Settings:

Baud Rate: 9600 Data Bits: 8

Parity: Even Stop Bits: 2

Flow Control: Hardware

Port Alert Settings

Alert String 1: admin

Alert String 2:

Alert String 3:

Alert String 4:

Alert String 5:

Alert String 6:

Alert String 7:

Alert String 8:

Alert String 9:

Alert String 10:

接続したシリアルコンソールデバイスで使用している値に合致するものを選択してください。  
CN8600 が対応するポートプロパティ設定は下記のとおりです。

- ◆ **Baud Rate** (ボーレート) : ポートのデータ通信速度を設定します。設定できる値は 300～38400 です (具体的な値はドロップダウンリストの内容を参照のこと)。シリアルコンソールデバイスのボーレートの設定に合うようにこの項目を設定してください。デフォルトでは (多くのシリアルデバイスの基本設定である) 9600 に設定されています。
- ◆ **Data Bits** (データビット) : データ1文字の転送に使用されるビット数を設定します。設定できる値は、7 および 8 です。シリアルコンソールデバイスのデータビットの設定に合うようにこの項目を設定してください。デフォルトでは (多くのシリアルデバイスのデフォルト設定である) 8 に設定されています。
- ◆ **Parity** (パリティ) : 転送されたデータの整合性をチェックする際に使用するパリティビットを設定します。設定できる内容は、「None」(なし)、「Odd」(奇数)、「Even」(偶数) です。シリアルコンソールデバイスのパリティ設定に合うようにこの項目を設定してください。デフォルトでは、(多くのシリアルデバイスのデフォルト設定である) 「None」(なし) に設定されています。
- ◆ **Stop Bits** (ストップビット) : このビットは、文字が転送されたことを表すものです。シリアルコンソールデバイスのストップビットの設定に合うように項目を設定してください。設定できる内容は 1 または 2 です。デフォルトでは、(多くのシリアルデバイスのデフォルト設定である) 1 に設定されています。

- ◆ **Flow Control**(フロー制御) : データフローの制御方法を選択します。設定できる内容は、「None」(なし)、「Hardware」(ハードウェア)、「XON/XOFF」です。シリアルコンソールデバイスのフロー制御の設定に合うようにこの項目を設定してください。デフォルトでは、「None」(なし)に設定されています。

**注意:** 「None」(なし)はボーレートが 9600 以下の場合にのみ対応します。9600 より大きいボーレートの場合は、「Hardware」(ハードウェア)または「XON/XOFF」を選択してください。

- ◆ **Port Alert Properties**(ポートアラートプロパティ) : 10 種類までのイベント(例:電源 ON)を設定することができます。「Alert String (1~10)」(警告文字列(1~10))欄に入力してください。

項目の選択が完了したら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

## 日付/時刻

日付/時刻ダイアログ画面では CN8600 の時刻関連のパラメーターを設定します。

The screenshot shows the configuration interface for the device's date and time. It is divided into four main sections:

- Time Zone:** A dropdown menu is set to "(GMT-12:00) Eniwetok Kwajalein". There is an unchecked checkbox for "Daylight Savings Time".
- Date:** A calendar for March 2013 is displayed. The days of the week are Su, Mo, Tu, We, Th, Fr, Sa. The date 7 is highlighted in yellow.
- Time:** The time is set to 20:32:03. There is a "Set" button.
- Network Time:** This section has two options: "Enable auto adjustment" (checked) and "Alternate time server" (unchecked). Under "Enable auto adjustment", there is a dropdown for "Preferred time server" set to "AU | ntp1.cs.mu.OZ.AU" and an unchecked checkbox for "Preferred custom server IP". Under "Alternate time server", there is a dropdown set to "AU | ntp1.cs.mu.OZ.AU" and an unchecked checkbox for "Alternate custom server IP". At the bottom, there is a field "Adjust time every 1 days" and an "Adjust Time Now" button.

下記の説明に従ってパラメーターの設定を行ってください。

### タイムゾーン

- ◆ CN8600 が設置されている場所のタイムゾーンを設定する場合は、その場所に最も近いタイムゾーンを「**Time Zone**」(タイムゾーン)ドロップアウトリストから選択してください。
- ◆ この場所が属している国または地域がサマータイムを導入している場合は、この項目にチェックを入れてください。

### 日付/時刻

- ◆ ドロップダウンリストから適切な月を選択してください。
- ◆ 前の年に移動する場合は「<」を、次の年に移動する場合は「>」をそれぞれクリックしてください。
- ◆ 表示されたカレンダーから適切な日を選択してください。
- ◆ 時刻は 24 時間制で「HH:MM:SS」のフォーマットで入力してください。
- ◆ 設定内容を保存する場合は「**Set**」(設定)ボタンをクリックしてください。

### ネットワークタイム

時刻をネットワークタイムサーバーに自動同期させる場合は、下記の手順に従ってください。

1. 「Enable auto adjustment」(自動調整を有効にする)の項目にチェックを入れてください。
2. タイムサーバーリストから、お使いの環境に適した優先タイムサーバーを選択してください。
  - または-
  - 「Preferred custom server IP」(プライマリカスタムサーバーIP)の項目にチェックを入れて、使用するタイムサーバーの IP アドレスを入力してください。
3. 代替タイムサーバーを設定する場合は、「Alternate time server」(代替タイムサーバー)の項目にチェックを入れて、手順 2 の要領で代替タイムサーバーの項目を設定してください。
4. 何日おきに同期を実行するかを入力してください。
5. 時刻調整をすぐに実行する場合は、「**Adjust Time Now**」(今すぐ時刻調整)ボタンをクリックしてください。

## カスタマイズ

このセクションを使用してデバイス設定を修正することができます。

|                                                                  |  |
|------------------------------------------------------------------|--|
| <b>Mode</b>                                                      |  |
| <input type="checkbox"/> Force All to Grayscale                  |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> Enable Client AP Device List |  |

|                        |            |
|------------------------|------------|
| <b>USB IO Settings</b> |            |
| OS:                    | Win        |
| Language:              | US English |

|                        |               |
|------------------------|---------------|
| <b>Multiusers Mode</b> |               |
| Multiusers Mode:       | Share         |
| Occupy Timeout:        | 3 sec (0-255) |

|                                                     |  |
|-----------------------------------------------------|--|
| <b>Reset</b>                                        |  |
| <input type="checkbox"/> Reset on exit              |  |
| <input type="button" value="Reset Default Values"/> |  |

- ◆ 「Force All to Grayscale」(グレースケールに強制表示)を有効にすると、CN8600 に接続されたデバイス全てのリモート表示をモノクロに変更します。これはネットワーク帯域が低い環境においても I/O 伝送速度を上げることができます。
- ◆ 「Enable Client AP Device List」(アプリケーションのデバイス一覧を有効にする)を有効にすると、Win クライアントまたは Java クライアントアプリケーションを使用する際に CN8600 がサーバーリストに表示されます (p.81「クライアントビューア」および p.121「Java クライアントビューア」参照)。このオプションが有効でない場合、CN8600 に接続できますが、その名前はサーバーリストに表示されません。
- ◆ **OS**:接続ポートのサーバーが使用している OS を設定します。オプションは Win、Mac、Sun および Other(その他)です。デフォルトは Win です。
- ◆ **Language**(言語):接続ポートのサーバーが使用している OS の言語を設定します。利用可能な項目を参照するにはリストをドロップダウンしてください。デフォルトはアメリカ英語です。

- ◆ **Multiusers Mode**(マルチユーザーモード): 下記のように、複数のユーザーがログインした際にどのようにポートがアクセスされるかを設定します。
  - **Exclusive** (排他): 最初にアクセスしたユーザーが排他的にポートを独占できます。他のユーザーはポートを参照することができません。
  - **Occupy** (占有): 最初にアクセスしたユーザーがポートを独占できますが、他のユーザーもそのポートのビデオ出力を参照することができます。独占したユーザーのセッションが終了するか、タイムアウトしたら、次に操作を行ったユーザーにポートの操作権が移ります。
  - **Share** (共有): ユーザーはポート制御を同時に共有します。ユーザーからの入力はキューに格納され、古い順に実行されます。この設定でお使いの場合、ユーザーはメッセージボード機能を使うことで、共有ポートにおけるキーボードとマウス、またはキーボード・マウス・ビデオ操作の競合を避けることができます (p.101「メッセージボード」参照)。
- ◆ **Occupy Timeout** (タイムアウト): ここで設定された時間 (分)、CN8600 に対して入力がない場合、該当ユーザーの操作権限はなくなり、次にマウスを動かしたり、キーボードを使用したりしたユーザーに操作権が移動します。
- ◆ **Reset** (リセット): ネットワーク設定の変更を行った後は、ログアウトする前に「Reset on exit」(終了時にリセット) が有効になっている (チェックボックスにチェックが入っている) ことを確認してください。これは CN8600 本体の電源の ON/OFF を行うことなく、ネットワークの変更を実施することができます。

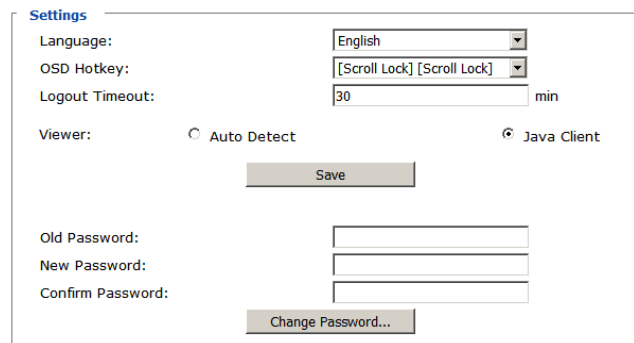
CN8600 のデフォルト工場設定を使用するには、「Reset Default Values」(デフォルト設定に戻す) をクリックしてください。

## ユーザー設定

以下のセクションでは「User Preferences」(ユーザー設定)、「Log」(ログ)、「Remote Console」(リモートコンソール)および「Download」(ダウンロード)画面を含む管理ユーティリティについて説明します。これらの画面のリンクは、左パネルメニューの「Preferences」(ユーザー設定)にあります。

### ユーザー設定

「User Preferences」(ユーザー設定)画面では、デバイスのパスワードや言語、OSDh、ログアウトタイムアウト、ビューアを含むデバイスパラメーターを設定することができます。



### 設定

以下の欄を使用してデバイスのパラメーターを設定してください。

- ◆ **Language**(言語): ブラウザで表示する言語を選択してください。ドロップダウンリストから言語を選択してください。

「Auto」(自動)を選択すると、CN8600 はブラウザで設定されたのと同じ言語で画面を表示します。

お使いのブラウザが CN8600 に非対応の言語に設定されている場合には、CN8600 のメニューはサーバーの OS が使用している言語を使って表示されます。OS の使用している言語が CN8600 の対応言語である場合は、この言語を使って表示し、非対応言語である場合は、デフォルトである英語に設定されます。選択後、「Save」(保存)をクリックしてください。

- ◆ **OSD Hotkey**(OSD ホットキー):ビューア (Win クライアント/Java クライアント) 等で OSD 機能 を呼び出すホットキーを選択してください。
- ◆ **Logout Timeout**(ログアウトタイムアウト):ビューア (Win クライアント/Java クライアント) が無 操作のまま何分経過した後に CN8600 がセッションを終了させるかを設定します。
- ◆ **Viewer**(ビューア):リモートサーバーの表示を参照する際に使用するビューアを選択します。 デフォルトでは「**Auto Detect**」(自動検出)が設定されており、Windows システム用の Win クラ イアントを開きます。

## パスワード

以下の欄を使用して、パスワードを変更してください。

- ◆ **Old Password**(旧パスワード):旧パスワードを入力してください。
- ◆ **New Password**(新パスワード):新パスワードを入力してください。
- ◆ **Confirm Password**(確認用パスワード):入力した新しいパスワードの正確さを照合するために、 同じパスワードを入力してください。

設定内容を適用するには、「**Change Password**」(パスワードの変更)をクリックしてください。  
(管理者権限のないユーザーが自身でパスワードを変更する際に使用します。)

## ログ

CN8600 は発生したイベント全てを記録します。リセットに続いて、検索可能なデータベースであ るログファイルに書き込みます。ログファイルの内容を参照するには、画面の左中央にあるログアイ コンをクリックしてください。下図のような画面が表示されます。

| Time                | Severity | User          | Log Information                                                                         |
|---------------------|----------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 2012/12/04 15:16:54 | Least    | System        | Log update 1                                                                            |
| 2012/12/04 15:06:47 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:06:21 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:02:30 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:01:07 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.91 (00-18-6E-4D-DD-81) logged out via browser.          |
| 2012/12/04 15:01:06 | Most     | administrator | End session for user administrator.                                                     |
| 2012/12/04 15:01:06 | Most     | administrator | User administrator (10.3.41.91) logged out. Online time : 00:01:25.                     |
| 2012/12/04 15:01:03 | Most     | administrator | User administrator (10.3.41.91) logged out. Online time : 00:00:30.                     |
| 2012/12/04 15:00:33 | Least    | administrator | User administrator changes to [01] .                                                    |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | administrator | User administrator logged in.                                                           |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | System        | User administrator (10.3.41.91) attempting to login.                                    |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | System        | SYS: Access via windows client 10.3.41.91.                                              |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | System        | Sys: Connected to 10.3.41.91 (00-18-6E-4D-DD-81).                                       |
| 2012/12/04 15:00:19 | Least    | System        | Get snapshot result....01B70490 9628                                                    |
| 2012/12/04 15:00:15 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:00:08 | Least    | System        | Send snapshot request...                                                                |
| 2012/12/04 14:59:42 | Most     | administrator | Start session for user administrator.                                                   |
| 2012/12/04 14:59:41 | Least    | administrator | User administrator changes to [01] .                                                    |
| 2012/12/04 14:59:41 | Most     | administrator | User administrator logged in.                                                           |

 Clear Log

ログファイルには最大512項目のイベントが保存されます。新しいイベントが記録されると、リストの一番下に表示されます。ログファイルのイベント数が512を超えた後に新しいイベントが記録される場合、リストにある最も古いイベントが破棄されます。

---

**注意:** 発生したイベント全て(直近の512項目のイベントだけでなく)の記録を保持し、参照するには、「Log Server AP program」(ログサーバーAPプログラム)を設定してください。詳細は p.139「ログサーバー」を参照してください。

---

ログファイルを消去するには、画面の右下にある「Clear Log」(ログのクリア)アイコンをクリックしてください。

## リモートコンソール

この画面のプレビューでは、下記のようにサーバーのディスプレイのスナップショットを表示します。



「Refresh」(再読込)をクリックすると、リモートディスプレイのスナップショットを更新します。

- ◆ 使用したい「Exit Macro」(終了マクロ)を選択してから、「**Save**」(保存)をクリックしてください。
- ◆ PN0108(電源管理デバイス)を設定するには、「Open Power Management」(電源管理を開く)をクリックしてください。デバイス間との接続が確立したら、CN8600 の IP アドレスを使用するだけで、PN0108 の設定画面にアクセスすることができます。このボタンをクリックすると、デバイスのログイン画面を開きます。

---

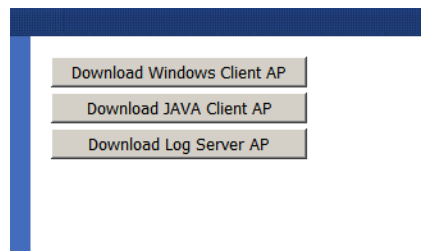
**注意:**

1. PN0108 または電源管理デバイスへの接続はブラウザ設定画面経由でのみ参照および管理ができます。これらの画面は Windows または Java アプリケーション (AP) プログラム経由ではご利用いただけません。
2. 電源管理設定画面を修正する詳細については ATEN の PN0108 ユーザーマニュアル(または、これと互換する電源デバイスのマニュアル)を参照してください。

---

## ダウンロード

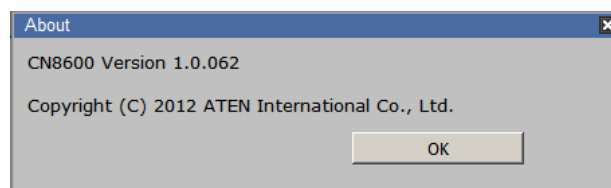
ダウンロード画面では、スタンドアロン Windows クライアント AP、Java クライアント AP およびログサーバー AP をダウンロードすることができます。この AP を使用することで、ブラウザでログインしなくてもリモートアクセスが可能になります。



1. ダウンロードしたい AP のボタンをクリックしてください。
2. 画面の指示に従って、インストールを完成させ、デスクトップにプログラムのアイコンを表示させてください。
  - ◆ Windows クライアント AP および Java クライアント AP に関する詳細は、p.114「第6章 アプリケーションの操作」を参照してください。
  - ◆ ログサーバー AP に関する詳細は、p.139 を参照してください。

## About

CN8600 の現在のファームウェアバージョンと著作権情報を参照するには、「About」をクリックしてください。



## 参照およびログアウト

別ウィンドウでサーバーの画面/モニターを参照し、設定するには、ビューアアイコンをクリックしてください。こちらは Windows クライアント AP や Java クライアント AP をダウンロードせずにすぐ、リモートアクセスが可能になります。

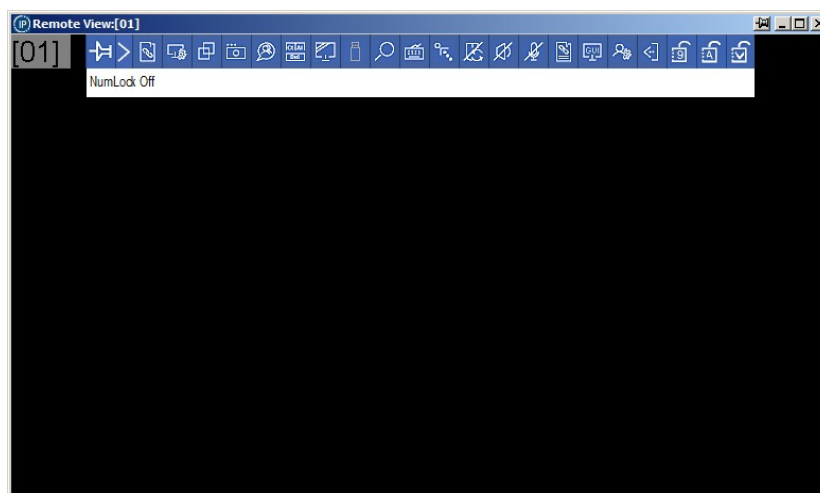
CN8600 の操作環境の設定が完了したら、ログアウトアイコンをクリックしてください。そうすると、CN8600 の GUI からログアウトします。

# 第5章

## クライアントビューア

### 起動方法

クライアントビューアは、ブラウザを使用して、CN8600 の Web GUI にログインした時に利用できるソフトウェアです。このツールを起動する場合は、ログイン (p.32 参照) した後で、左パネルメニューにある「**Viewer**」(ビューア) アイコンをクリックしてください。1～2 秒後にリモートサーバーの画面がデスクトップのウィンドウとして表示されます。



Internet Explorer では、ビューアの Win クライアントが起動されます。

Java クライアントバージョンを使用したい場合は、Firefox や Chrome 等でアクセスするか、このオプションの設定方法を p.76「ユーザー設定」で確認してください。Java バージョンの操作方法については、p.121「第7章 Java クライアントビューア」を参照してください。

## 操作方法

このソフトウェアを使うことで、現場で作業している時と同様の感覚でローカルシステムのデスクトップをリモートから操作することができます。ただし、[Alt] + [Ctrl] + [Del]等の一部のキーはリモートアクセスの PC 側のタスクマネージャ機能等の呼び出しになります。

- ◆ この画面は、ウィンドウの最大化やウィンドウ枠のドラッグ操作によるリサイズ、また、スクロールバーによるウィンドウ内の表示位置の変更が可能です。
- ◆ ローカルとリモートの間でプログラムを切り替える場合は、[Alt] + [Tab]キーで画面を切り替えてください。

**注意:**

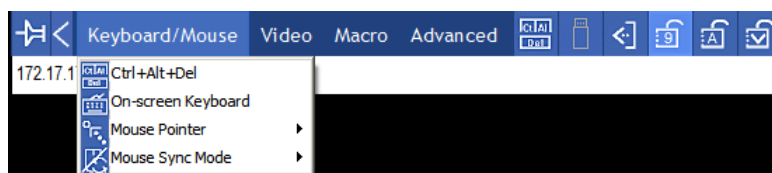
1. お使いの環境によっては、ネットワークの遅延が原因で、入力したキーやマウス操作の表示に若干時間がかかる場合がございますので、そのような場合は操作してから表示されるまでしばらくお待ちください。
2. ネットワークの遅延またはローカルコンピューターの電源不足によって、表示画質(特に動画の表示画質)が劣化する場合がございます。
3. 誤操作防止を目的として、[Alt]キーは[F12]キーにアサインしています。キーアサインを変更する場合は、p.89 を参照してください。

## Windows クライアントコントロールパネル

Windows クライアントのコントロールパネルは通常は画面上部または下部の中央(通常は上部中央)に隠れていますが、この部分にマウスカーソルを移動させると、下図のようなメニューが表示されます。

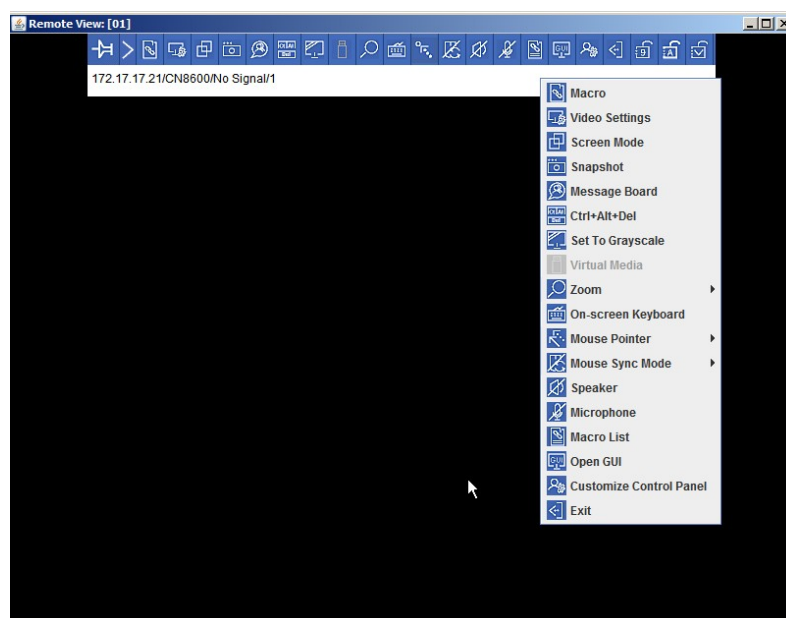


コントロールパネルには、2 つのメニュー形式があります。起動時にはアイコンだけが表示されます。このアイコン(  )をクリックすると、メニューが下図のように、アイコンとテキストを組み合わせたモードに変更されます。



- 
- 注意:**
1. 上図は全メニューが表示された場合のコントロールパネルの外観です。表示するアイコンはカスタマイズが可能です。詳細は p.112「コントロールパネルのカスタマイズ」を参照してください。
  2. コントロールパネルは端をドラッグすることで、ウィンドウ内の任意の位置に移動させることができます。
- 

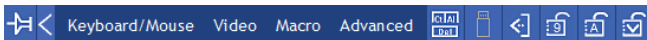
- ◆ デフォルトでは、上部テキスト行の左側にはリモートディスプレイの解像度が表示されますが、マウスをアイコンバーの上に移動させると、そのアイコンの機能がこの部分に表示されます。またメッセージボードが立ち上がっていないときに、他のユーザーからメッセージを受け取ると、メッセージがこの部分に表示されます。
- ◆ コントロールパネルの設定で「ユーザー情報」機能 (p.113 参照) が有効になっていると、現在 CN8600 にログインしているユーザーの数が上部テキスト行の中央に表示されます。
- ◆ テキスト行でマウスを右クリックすると、「Screen Mode」(スクリーンモード)、「Zoom」(ズーム)、「Mouse Pointer type」(マウスポインターの種類)、「Mouse Sync Mode」(マウス同期モード)、および「Macro List」(マクロリスト)のオプションメニューが表示されます。これらの機能については後のセクションで説明します。



## コントロールパネルの機能

コントロールパネルの機能は下表のとおりです。

**注意:** コントロールパネルから呼び出される機能の各ダイアログのタイトルバー右上にある「T」ボタンをクリックすると、このダイアログの透過度を調整するスライドバーが表示されます。値を調整したら、ダイアログの任意の場所をクリックしてスライドバーを終了させてください。

| アイコン                                                                                         | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | このアイコンをクリックするとコントロールパネルの表示を固定させます (例:他の画面の上部に常時表示)。再度クリックすると通常の表示に戻ります。                                                                                                                                                                                                                           |
|             | このアイコンをクリックすると、コントロールパネルの形式を変更し、「Keyboard/Mouse」(キーボード/マウス)、「Video」(ビデオ)、「Macro」(マクロ)、「Advanced」(詳細)という 4 つのカテゴリが表示されます。残りのメニュー項目を見るには、マウスをこれらのカテゴリの上に重ねてください。<br><br>元のコントロールパネル形式に戻すには、アイコンをもう一度クリックしてください。 |
|           | クリックすると「Macros」(マクロ)ダイアログボックスを表示します (詳細は p.87 参照)。                                                                                                                                                                                                                                                |
| <br>ビデオ設定 | クリックすると、「Video Options」(ビデオオプション)ダイアログボックスを表示します。右クリックすると、クイックオートシンクを実行します (詳細は p.97「ビデオ設定」を参照)。                                                                                                                                                                                                  |
|           | 表示をフルスクリーン表示とウィンドウ表示とで交互に切り替えます。                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|           | クリックするとリモート表示のスナップショット (画面キャプチャー) を取り込みます。スナップショットのパラメーター設定に関する詳細は p.113「スナップショット」を参照してください。                                                                                                                                                                                                      |

(表は次のページに続きます)

| アイコン                                                                                            | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                | クリックするとメッセージボードを起動します (p.101「メッセージボード」参照)。                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                | クリックするとリモートシステムへ[Ctrl] + [Alt] + [Del]の信号を送ります。                                                                                                                                                                                                                                                |
|                | クリックすると、リモート画面の表示をカラーまたはモノクロとで交互に表示します。                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                | <p>クリックすると「Virtual Media」(バーチャルメディア)ダイアログを表示します。バーチャルメディアデバイスがポートで認識されると、このアイコンは変わります。詳細は p.104「バーチャルメディア」を参照してください。</p> <p><b>注意:</b> この機能が無効になっている場合やユーザーが使用できない場合には、このアイコンはモノクロ表示されます。</p>                                                                                                  |
|                | <p>クリックするとリモート表示ウィンドウをズーム表示します。</p> <p><b>注意:</b> この機能はウィンドウモード(フルスクリーンモードが OFF)の場合にのみ利用できます。詳細は p.108「ズーム」を参照してください。</p>                                                                                                                                                                      |
|              | クリックするとオンスクリーンキーボードが表示されます (p.109 参照)。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <br>マウスポインター | <p>クリックするとマウスポインターの種類を選択します。</p> <p><b>注意:</b> このアイコンには現在選択されている種類のポインターが表示されます。(p.110「マウスポインターの種類」参照)。</p>                                                                                                                                                                                    |
|              | <p>クリックするとマウス同期を自動または手動に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自動同期に設定されている場合、 アイコンが表示されます。</li> <li>◆ 手動同期に設定されている場合、左記のアイコンが表示されます。</li> </ul> <p>この機能に関する詳細は p.110「マウス同期モード」を参照してください。</p> |

(表は次のページに続きます)

| アイコン                                                                                        | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | クリックすると、スピーカー出力を ON または OFF にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|            | クリックすると、マイクロフォン入力を ON または OFF にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <br>マクロリスト | クリックするとユーザーマクロの一覧を表示します。この機能を使うことで、「Macros」(マクロ)ダイアログを使用するよりも簡単にマクロを実行することができます(本表の「マクロ」アイコンまたは p.87 参照)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|            | クリックすると、GUI メニューを表示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|            | クリックすると「Control Panel Configuration」(コントロールパネルの設定)ダイアログを表示します。コントロールパネルの設定に関する詳細は p.112「コントロールパネルのカスタマイズ」を参照してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <br>終了     | クリックするとリモートビューを終了し、Web ブラウザのメイン画面に戻ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|          | <p>これらのアイコンはリモートコンピューターの[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock]各キーの状態を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ キーが有効になっていると、そのキーのパネルが明るい水色に変化し、錠前が閉じたアイコンが表示されます。</li> <li>◆ キーが無効になっていると、そのキーのパネルは暗い水色の変化し、錠前が開いたアイコンが表示されます。</li> </ul> <p>ロックキーを有効または無効にする場合は、対象のアイコンをクリックして表示を切り替えてください。</p> <p><b>注意:</b>このアイコンはローカルキーボードのアイコンと同期します。アイコンをクリックすると、お使いのキーボード上にある LED もこのアイコンに合わせて ON または OFF に切り替わります。キーボードの該当キーを押した時も同様に、このアイコンの表示が切り替わります。</p> |

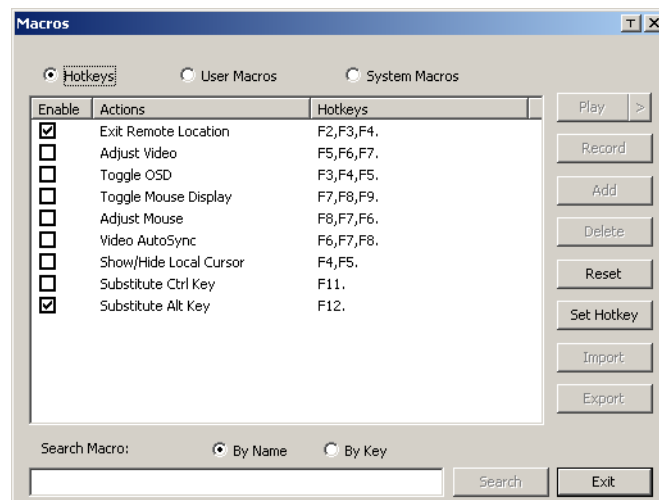


## マクロ

マクロアイコンでは、マクロダイアログボックスの3つの機能(ホットキー、ユーザーマクロ、システムマクロ)にアクセスすることができます。これらの機能については後のセクションで説明します。

### ホットキー

コントロールパネルのアイコンをクリックして実行されるアクションは、キーボードから入力されたホットキーで直接実行することができます。「Hotkeys」(ホットキー)のラジオボタンを選択すると、アクションを実行するホットキーを設定することができます。アクションは左側に、そのアクションを行うホットキーはその右側に表示されます。アクション名の左側のチェックボックスを使用してホットキーの有効/無効を設定してください。



デフォルトのホットキーの組み合わせでは不都合が生じる場合は、下記の手順でホットキーを変更することができます。

1. 対象となるアクションをリストから選択し、「**Set Hotkey**」(ホットキーの設定)ボタンをクリックしてください。
2. マクロキーとして使用するファンクションキーを 1 つずつ押してください。押されたキーの名前が「**Hotkey**」(ホットキー)欄に表示されます。
  - ◆ キー入力の順番が異なる限り、同じファンクションキーを 2 つ以上のアクションに使用することができます。
  - ◆ ホットキーの設定をキャンセルする場合は「**Cancel**」(キャンセル)ボタンをクリックしてください。アクションの「ホットキー」欄を消去するには「**Clear**」(クリア)ボタンをそれぞれクリックしてください。
3. マクロキーの入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

ホットキーの設定を全てデフォルト値にリセットするには、「**Reset**」(リセット)ボタンをクリックしてください。

ホットキーアクションの内容は下表のとおりです。

| アクション     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| リモート操作の終了 | リモートビューを終了し、Web ブラウザのメイン画面に戻ります。これはコントロールパネルの「終了」アイコンをクリックする操作に相当します。デフォルトでは、[F2][F3][F4]に設定されています。                                                                                                                                                           |
| ビデオの調整    | 「ビデオ設定」ダイアログを起動します。これはコントロールパネルの「ビデオ設定」アイコンをクリックする操作に相当します。デフォルトでは[F5][F6][F7]に設定されています。                                                                                                                                                                      |
| OSD の切替   | OSD コントロールパネルを <b>非表示</b> / <b>表示</b> に切り替えます。デフォルトでは[F3][F4][F5]です。                                                                                                                                                                                          |
| マウス表示の切替  | ローカル、リモートの 2 つのマウスポインターが表示されて操作しづらい場合は、この機能を使用してマウスポインターを最小化することができます。この機能はトグル式になっておりますので、同じホットキーを再度入力するとマウスポインターを元の状態に戻します。これはコントロールパネルの「マウスポインター」アイコンをクリックし、「ドット」ポインターを選択する操作に相当します。デフォルトでは[F7][F8][F9]に設定されています。<br><b>注意:</b> Java コントロールパネルにはこの機能はありません。 |

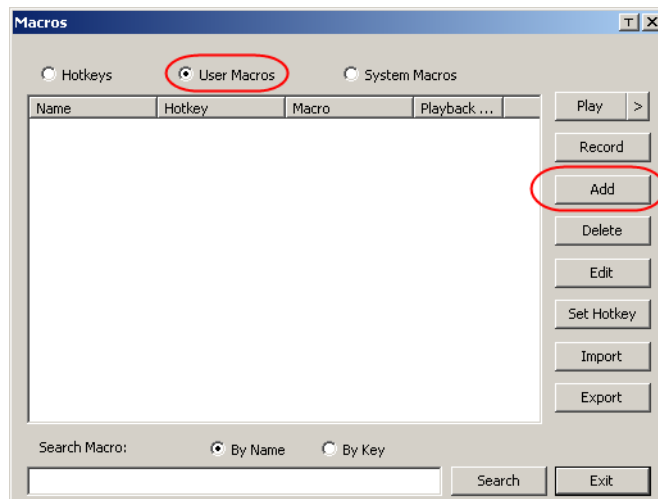
(表は次のページに続きます)

| アクション             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マウスの調整            | ローカルとリモートのマウスを同期します。デフォルトは[F8][F7][F6]に設定されています。                                                                                                                                                                                                                                      |
| ビデオの自動同期          | ビデオを自動同期します。これはコントロールパネルの「ビデオの自動同期」アイコンをクリックする操作に相当します。デフォルトでは[F6][F7][F8]に設定されています。                                                                                                                                                                                                  |
| ローカルカーソルの表示 / 非表示 | ローカルマウスのポインターの表示を OFF または ON に切り替えます。これはコントロールパネルにある「マウスポインター」から「Null」(無)ポインタータイプを選択するのと同じです。デフォルトでは[F4][F5]に設定されています。                                                                                                                                                                |
| 代替 Ctrl キー        | ローカルコンピューターが[Ctrl]キーの組み合わせをキャプチャし、ホットキーがリモートシステムに送信されない場合は、[Ctrl]キーの代わりとして使用するファンクションキーを指定することでリモートシステムに送信することができます。例えば[F11]キーを[Ctrl]キーの代わりに使用する場合、[F11] + [5]と入力すると、リモートシステムでは[Ctrl] + [5]キーが押されたことになります。デフォルトではこの代替キーが[F11]キーに設定されています。                                             |
| 代替 Alt key        | 基本的にキーボードの入力はキャプチャされ、リモートシステムへ送られますが、[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Del]はローカルコンピューターでのみ動作します。リモートシステムに対して[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Del]の機能を実行したい場合には、任意のファンクションキーを[Alt]キーの代わりに設定することができます。例えば[F12]を代替キーにした場合、[F12] + [Tab]と[Ctrl] + [F12] + [Del]と入力します。デフォルトでは[F12]に設定されています。 |

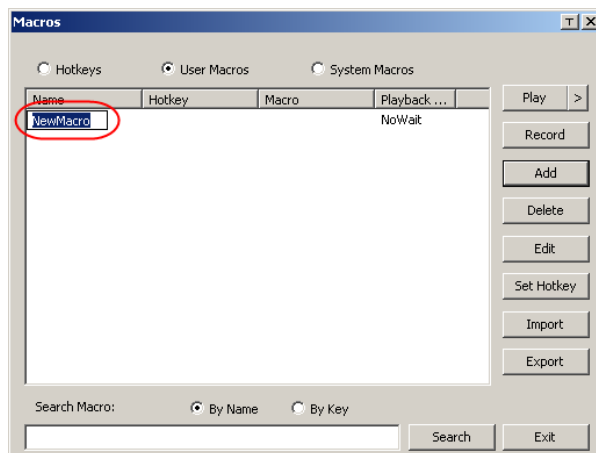
## ユーザーマクロ

ユーザーマクロは、特定のアクションをリモートサーバー側で実行する場合に使用します。マクロを作成するには以下の手順に従ってください。

1. 「User Macros」(ユーザーマクロ)ラジオボタンを選択し、「Add」(追加)ボタンをクリックしてください。

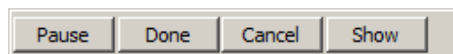


2. 新しいマクロはデフォルトで「New Macro」という名前で作成されますので、必要であれば、ダイアログでこの名前を変更してください。



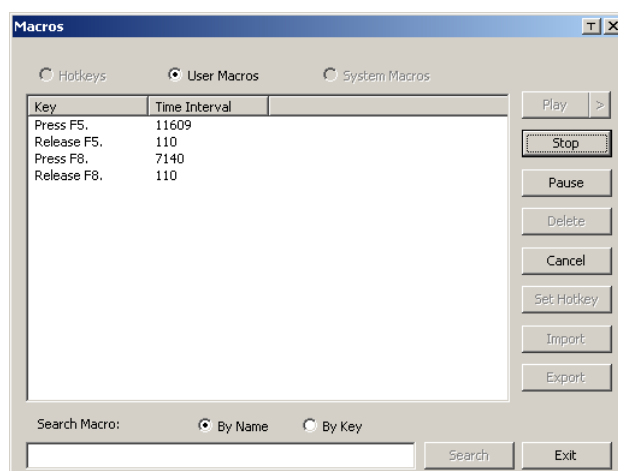
3. 「Record」(記録)ボタンをクリックしてください。

ダイアログボックスが終了し、画面左上に下図のような小さいパネルが表示されます。



4. マクロキーを押してください。

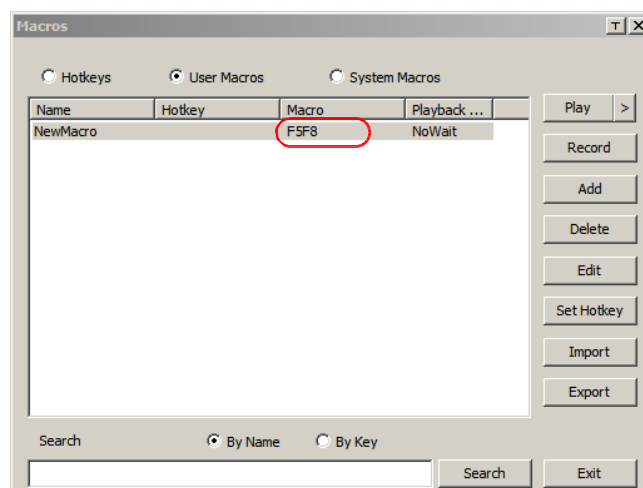
- ◆ マクロの記録を中断する場合は、「Pause」(一時停止)ボタンをクリックしてください。中断していた記録を再開するには、もう一度「Pause」(一時停止)ボタンをクリックしてください。
- ◆ 「Show」(表示する)ボタンをクリックするとダイアログが立ち上がり、作成したキー入力全々とそれぞれに要した時間が一覧表示されます。



- ◆ 「Cancel」(キャンセル)ボタンをクリックすると、キー入力を取り消します。
- ◆ 入力が完了したら「Stop」(停止)ボタンをクリックしてください。これは手順 5 の「Done」(完了)ボタンをクリックする操作に相当します。

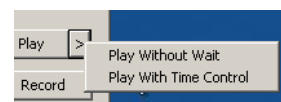
- 
- 注意:**
1. 大文字/小文字は区別しません。[A]または[a]を入力しても同じ結果となります。
  2. マクロを記録する場合は、リモート画面を選択しておいてください。マクロダイアログを選択した状態では記録できません。
  3. マクロとして記録できるのは直接入力時のキーのみです。日本語入力が有効になっている場合の文字は使用することができません。例えば、キーボードが日本語で[A]キーを押した場合、日本語入力が ON になっている場合の[あ]の文字は記録されません。
-

5. 「**Show**」(表示する)ダイアログを立ち上げていない場合は、マクロの記録を終了する際に、「**Done**」(完了)ボタンをクリックしてください。この時、手順 1 に表した「**マクロ**」ダイアログに戻ります。



6. p.87「ホットキー」で示したように、各マクロに対して、ホットキーを設定することができます
7. また、再生モードを割り当てたり、「**Play Without Wait**(Nowait)」(すぐに再生)または「**Play with Time Control**」(タイムコントロール再生)のいずれかを選択したりすることもできます。

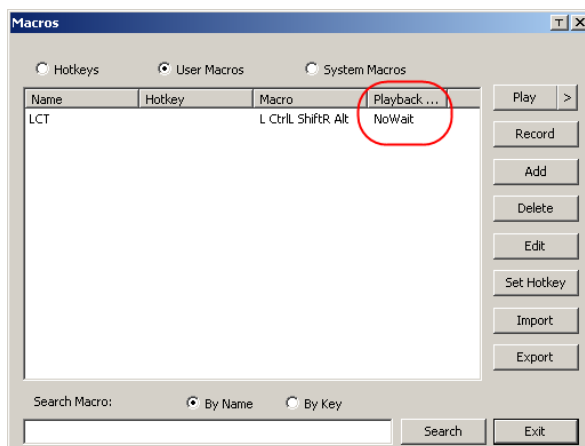
このダイアログボックスからマクロを実行する場合、マクロの実行方法を指定することができます。



- ◆ 「Play Without Wait」(すぐに再生)を選択した場合、マクロは入力キー遅延時間なしで実行します。
  - ◆ 「Play with Time Control」(タイムコントロール再生)を選択した場合、マクロを記録した際のキー入力とその時のキー入力時間の間隔を再現しながら実行します。オプションを選択する場合は「Play」(再生)ボタンの隣にある矢印ボタンをクリックしてください。
  - ◆ 一覧を開かずに「Play」(再生)ボタンをクリックすると、マクロはデフォルトの方法で実行されます。デフォルトの値(すぐに実行またはタイムコントロール)が「Playback」(再生)列に表示されます。
8. 入力キーを変更する場合は、対象となるマクロを選択し、「Edit」(編集)ボタンをクリックしてください。このボタンをクリックすると「Show」(表示する)ボタンを押した時と同様のダイアログボックスが表示されるので、入力キーの種類や順番を変更することができます。

9. 他のマクロを作成する場合は、上記の手順を繰り返してください。

作成したマクロは、下記のいずれかの方法で実行することができます。



1. アクションに割り当てられたホットキーを使用する(ホットキーを割り当てている場合)。
2. コントロールパネルのマクロリストを開き、対象となるマクロをクリックする(p.86 参照)。

3. このダイアログを開いて、「Play」(再生)ボタンをクリックする。

---

**注意:** ユーザーマクロは各ユーザーのローカルクライアントコンピューターに保存されるため、マクロの数、マクロ名の長さや実行ホットキーの構成についての制限はありません。

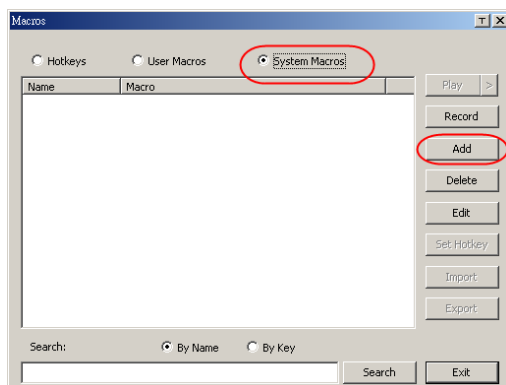
---

ダイアログボックスの下部にある「Search」(検索)ボタンを使うと、上部の大きいパネルに表示されるマクロ一覧から実行したり編集したりするマクロを絞り込むことができます。絞り込む条件を名前にするかキーにするかをラジオボタンで選択し、検索に使用する文字列をテキストボックスに入力してから「Search」(検索)ボタンをクリックしてください。この文字列に合致するものが上部パネルに表示されます。

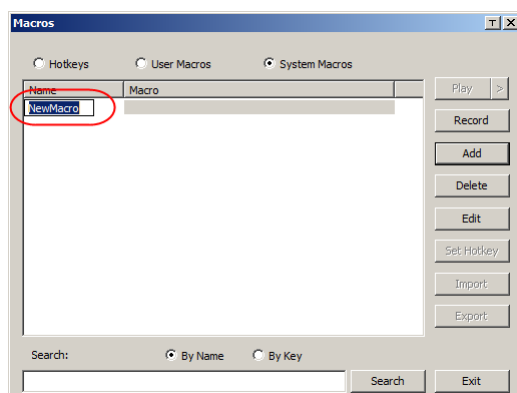
## システムマクロ

システムマクロはセッション終了時に実行される終了マクロを作成する際に使用します。例えば、[Windows] + [L]キーをログアウト時に実行するマクロを作成しておく、ユーザーがその後にデバイスにアクセスした際には必ずリモートデバイスのログイン画面を表示することができるので、セキュリティを強化することもできます。マクロを作成する場合は、下記の手順に従ってください。

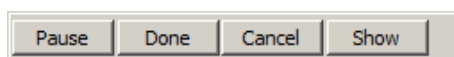
1. 「System Macros」(システムマクロ)ラジオボタンを選択し、「Add」(追加)ボタンをクリックしてください。



2. 新しいマクロはデフォルトで「NewMacro」という名前で作成されるので、必要であればダイアログでこの名前を変更してください。



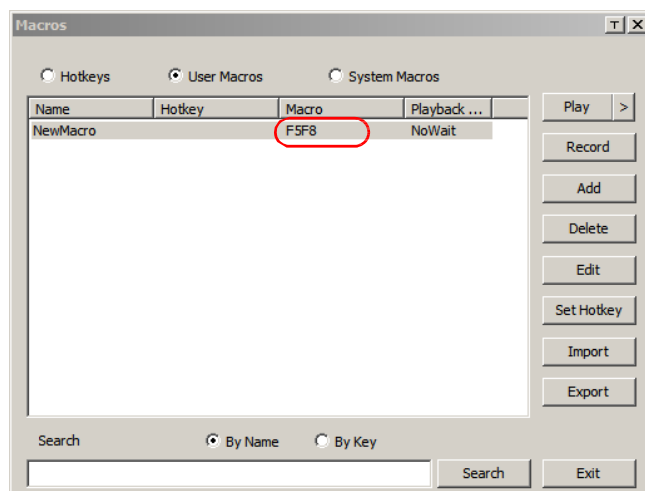
3. 「**Record**」(記録)ボタンをクリックしてください。  
このボタンをクリックするとダイアログボックスが終了し、画面左上に下図のような小さいパネルが表示されます。



4. マクロキーを押してください。
- ◆ マクロの記録を中断する場合は、「**Pause**」(一時停止)ボタンをクリックしてください。中断していた記録を再開するには、もう一度「**Pause**」(一時停止)ボタンをクリックしてください。
  - ◆ 「**Show**」(表示する)ボタンをクリックするとダイアログが立ち上がり、作成したキー入力全てとそれぞれに要した時間が一覧表示されます。

- 
- 注意:**
1. 大文字/小文字は区別しません。[A]または[a]を入力しても同じ結果となります。
  2. マクロを記録する場合は、リモート画面を選択しておいてください。マクロダイアログを選択した状態では記録できません。
  3. マクロとして記録できるのは直接入力時のキーのみです。日本語入力が有効になっている場合の文字は使用することができません。例えば、キーボードが日本語で[A]キーを押した場合、日本語入力が ON になっている場合の[あ]の文字は記録されません。
-

5. 「**Show**」(表示する)ダイアログを立ち上げていない場合は、マクロの記録を終了する際に、「**Done**」(完了)ボタンをクリックしてください。この時、「マクロ」ダイアログに戻ると、リストには先程入力したユーザーマクロキーが表示されます。



6. 入力キーを変更する場合は、対象となるマクロを選択し、「**Edit**」(編集)ボタンをクリックしてください。このボタンをクリックすると「Show」(表示する)ボタンを押した時と同様のダイアログボックスが表示されるので、入力キーの種類や順番を変更することができます。
7. 他のマクロを作成する場合は、上記の手順を繰り返してください。

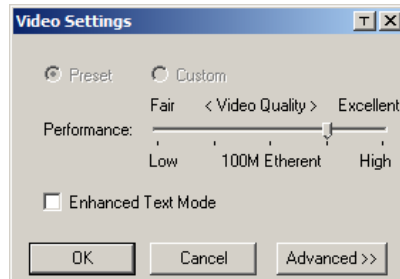
システムマクロを作成すると、CN8600 のログアウト時にそのマクロを実行することもできます (p.94 「システムマクロ」参照)。

- 
- 注意:**
1. 検索機能については p.94 を参照してください。
  2. システムマクロは CN8600 内部に保存されるので、マクロ名は半角英数字 64 文字以内で、ホットキーの組み合わせは 256 バイト以内 (キー1つの入力で通常 3~5 バイト使用) でそれぞれ設定してください。
-



## ビデオ設定

「Video Settings」(ビデオ設定)ダイアログでは、モニター上のリモート画面の表示位置および画質の調整を行います。



ビデオ調整の各項目の詳細は下表のとおりです。

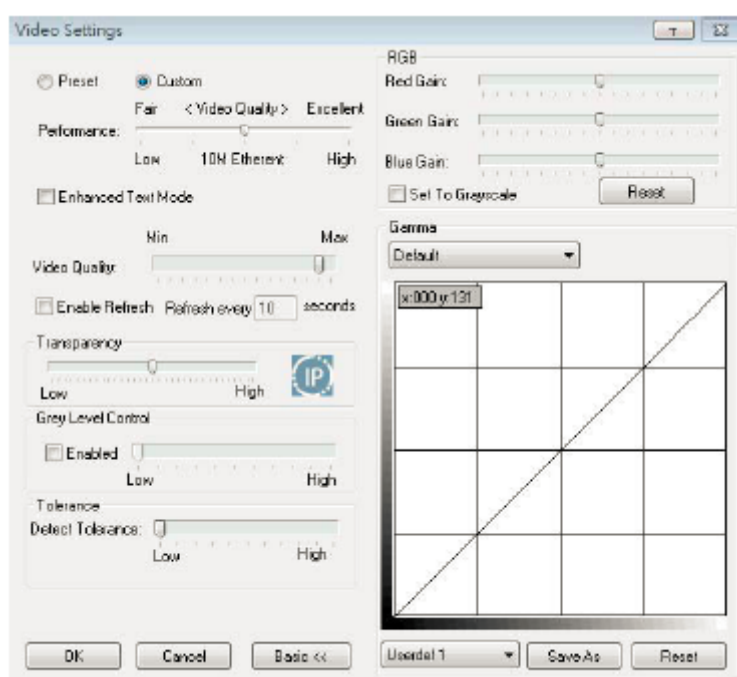
| 項目                                                                                | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | このボタンをクリックすると、ビデオ設定ダイアログボックスの透明度を調節します。                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Performance<br>(パフォーマンス)                                                          | ローカルクライアントコンピューターと CN8600 の間で使用されているインターネット接続のタイプを選択します。CN8600 はここで選択した項目によって、「ビデオ画質」、「検出許容値」の各項目を自動的に調整し、ビデオの表示画質を最適化します。<br>ネットワークの条件は変化しますので、プリセットの選択項目では不都合が生じる場合があるかもしれません。その際は、「Customize」(カスタマイズ)を選択し、「Video Quality」(ビデオ画質)と「Detect Tolerance」(検出許容値)のスライダーを使って、お使いの環境に適した値に調節してください。 |
| Enhanced Text Mode<br>(テキストモードの強化)                                                | 一部のインターフェースシステム(例:Sun Blade 1000 サーバー)に影響を及ぼすビデオ解像度に関して、ビデオ表示問題を解決するには、これにチェックを入れてください。                                                                                                                                                                                                       |
| Advanced (詳細設定)                                                                   | 詳細は、p.98 を参照してください。                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## ガンマ調整

リモート表示画面のガンマレベルを調整する必要がある場合は、「Video Settings」(ビデオ設定)ダイアログの「Gamma」(ガンマ)機能を使用してください。

「基本」設定では、10 種類の規定値、4 種類のユーザー定義値を選択することができます。リストボックスをドロップダウンして、最適な値を選択してください。

さらに細かい設定を行うには「Advanced」(詳細)ボタンをクリックしてください。クリックすると、下図のようなダイアログが表示されます。



「Advanced」(詳細)画面の追加オプションは下表のとおりです。

| オプション | 機能                                                                                                                                 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| RGB   | スライダーをドラッグして RGB(赤、緑、青)の値を調整します。RGBの値の増加に伴って、イメージの RGB 要素も増加します。<br>「Set to Grayscale」(グレースケールに設定)の項目を有効にすると、リモート画面をグレースケールで表示します。 |

(表は次のページに続きます)

| オプション                         | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Gamma<br>(ガンマ)                | <p>ビデオ表示のガンマレベルを調節します。</p> <p>画面出力の値を調節する場合は、斜線の部分をクリックしドラッグしてください。</p> <p>上記の方法で変更した値をユーザー定義の設定として保存する場合は「Save As」(名前をつけて保存)をクリックしてください。ユーザー定義の値は最大 4 種類まで保存することができます。設定された値はリストボックスから選択することができます。</p> <p>変更内容を破棄し、ガンマラインを元の状態に戻す場合は「Reset」(リセット)ボタンをクリックしてください。</p>                                                                                                                                                                                                                                             |
| Video Quality<br>(ビデオ品質)      | <p>スライドバーをドラッグしてビデオ画質を調整します。値が大きくなるにつれて、画像はより鮮明に、また、ネットワークに転送されるビデオデータの量はより大きくなります。ネットワークのバンド幅によっては、高い値を設定すると逆にレスポンス時間に影響を与える可能性があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Enable Refresh<br>(再読込を有効にする) | <p>CN8600 は、1～99 秒毎に画面を再描画し、ブロックノイズ等歪みを除去します。「<b>Enable Refresh</b>」(再読込を有効にする)の項目にチェックを入れて、再描画の時間間隔を 1～99 の整数で入力してください。製品はここで設定された時間間隔で、画面を再描画します。この機能はデフォルトでは無効になっていますので、有効にしたい場合は「Enable Refresh」(再読込を有効にする)の隣にあるチェックボックスをクリックしてチェックを入れてください。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マウスの動作が止まった時に製品はインターバル時間の計測を開始します。</li> <li>2. この機能を有効にするとネットワーク上に送信されるビデオデータの量が増加します。また、設定するインターバル時間の値が小さくなるに従って、ビデオデータの転送頻度が高くなります。この値を小さくしすぎると処理全体のレスポンスに影響を与える可能性がありますので、ご注意ください。</li> </ol> |
| Transparency<br>(透明度)         | <p>スライドバーをドラッグして、リモート画面の OSD(画面左上に表示されるテキスト)の透明度を調節してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

(表は次のページに続きます)

| オプション                            | 機能                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Gray Level Control<br>(グレーレベル制御) | リモートディスプレイのグレーレベルを調節するには、このボックスにチェックを入れて、バーをスライドさせてください。                                                                                                                                   |
| Detect Tolerance<br>(検出許容値)      | ビデオ画質に関連する設定項目です。この項目の値を変更することでピクセル変化の検出を行ったり、変化を無視したりすることができます。設定値を高くすると、データ転送量が少なくなり、表示画質が低くなります。また、設定値を低くすると高い表示画質を提供することができますが、設定値が低すぎるとデータの転送量が増えすぎて、逆にネットワークのパフォーマンスに悪影響を及ぼす場合があります。 |

変更内容を保存し、ダイアログを終了する場合は「OK」ボタンをクリックしてください。

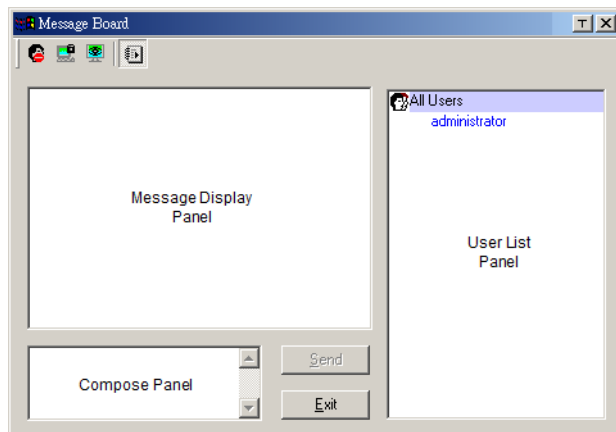
変更内容を破棄し、ダイアログを終了する場合は「Cancel」(キャンセル)ボタンをクリックしてください。

**注意:** 最適な値で設定するために、リモート画面を見ながら設定値の変更を行ってください。



## メッセージボード

CN8600 はマルチユーザーログインに対応しておりますが、複数ユーザーによる操作の競合を避けるために、ユーザー同士でコミュニケーションを取ることができるメッセージボード機能を提供しております。



## ボタンバー

ボタンバーにあるボタンはトグルボタンです。各ボタンの機能は下表のとおりです。

| ボタン                                                                                 | 機能                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | チャット機能を <b>有効/無効</b> にします。チャット機能が無効になっている場合、このボタンは網がけされた状態になり、メッセージボードにメッセージが送信されても表示されません。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表示されている場合、そのユーザーがチャット機能を無効にしていることを表しています。                                                                                            |
|    | キーボード・ビデオ・マウスを <b>占有/開放</b> します。あるポートが「Occupy」(占有)モードに設定されている(p.63「モード」参照)場合、このボタンを使用して KVM を占有することができます。あるユーザーが KVM を占有している場合、このボタンは網がけされた状態になり、他のユーザーは画面の参照およびキーボード・マウスの操作ができなくなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表示されている場合、そのユーザーが KVM を占有していることを表しています。   |
|  | キーボード・マウスを <b>占有/開放</b> します。あるポートが「Occupy」(占有)モードに設定されている(p.63「モード」参照)場合、このボタンを使用して KM を占有することができます。あるユーザーが KM を占有している場合、このボタンは網がけされた状態になり、他のユーザーは画面の参照は可能ですが、キーボード・マウスの操作ができなくなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表示されている場合、そのユーザーがキーボード・マウスを占有していることを表しています。 |
|  | ユーザーリストの <b>表示/非表示</b> を切り替えられます。ユーザーリストを非表示にすると、ユーザーリストパネルが閉じられます。ユーザーリストが表示されている時、このボタンは網がけされた状態になります。                                                                                                                                                    |

## メッセージ表示パネル

ユーザーがメッセージボードに書き込んだメッセージはシステムメッセージと同様、メッセージ表示パネルに出力されますが、チャット機能を無効にしている場合は、ボードにメッセージが書き込まれても表示されません。

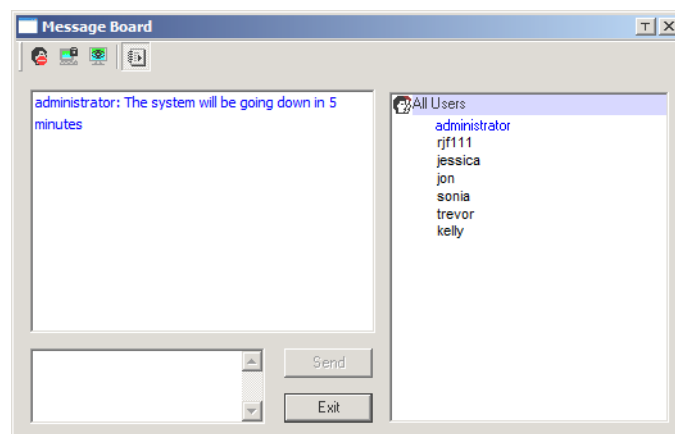
## メッセージ編集パネル

メッセージを送信したい場合は、このメッセージ編集パネルに内容を入力して、「**Send**」(送信)ボタンをクリックするか、「**Enter**」キーを押してください。

## ユーザーリストパネル

現在ログイン中のユーザーのユーザー名がこのパネルに表示されます。

- ◆ 自身の名前は青色で、その他のユーザーの名前は黒色でそれぞれ表示されます。
- ◆ デフォルトの設定では、メッセージは全てのユーザー宛に送信されます。特定のユーザー宛にメッセージを送信したい場合は、宛先となるユーザーを選択してからメッセージを送信してください。
- ◆ 一旦、ユーザーの名前が選択された状態で再び全員宛にメッセージを送信したい場合は、「All Users」(すべてのユーザー)を選択してからメッセージを送信してください。
- ◆ ユーザーがチャット機能を無効にしている場合、機能を無効にしていることを示すアイコンがそのユーザーの名前の前に表示されます。
- ◆ ユーザーがキーボード・ビデオ・マウス、またはキーボード・マウスを占有している場合、デバイスを占有していることを示すアイコンがそのユーザーの名前の前に表示されます。





## バーチャルメディア

バーチャルメディア機能を使うと、ローカルクライアントコンピューター側のドライブ、フォルダー、イメージファイル、リムーバブルディスクをリモートサーバーでマウントして使用することができます。また、ローカルクライアントコンピューターに接続されたスマートカードリーダーをリモートサーバー側で認識させることも可能です。

### バーチャルメディア機能関連アイコン

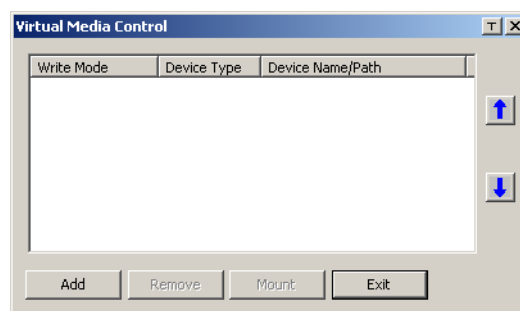
Windows クライアントコントロールパネルのバーチャルメディアアイコンは、バーチャルメディア機能が利用可能かどうか、バーチャルメディアデバイスがリモートサーバーにマウントされたかどうかを表します。各アイコンが示す機能の詳細は下表のとおりです。

| アイコン | 機能                                                                                             |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | バーチャルメディア機能が利用可能である場合、このアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、バーチャルメディアのダイアログを表示します。                      |
|      | バーチャルメディアデバイスがリモートサーバー側にマウントされていると、このアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、リダイレクトされているデバイスは全てマウントが解除されます。 |

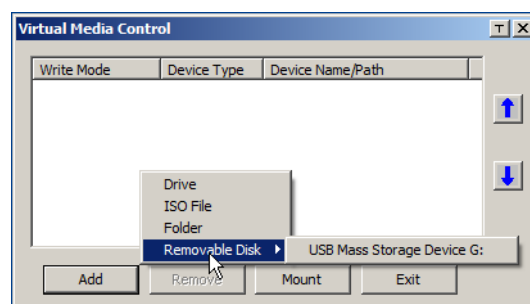
### バーチャルメディアのリダイレクト

バーチャルメディアのリダイレクト機能を実行する場合は、下記の手順に従ってください。

1. バーチャルメディアアイコンをクリックして「Virtual Media Control」(バーチャルメディア操作)ダイアログを起動してください。



2. 「Add」(追加)ボタンをクリックし、ソースメディアを選択してください。

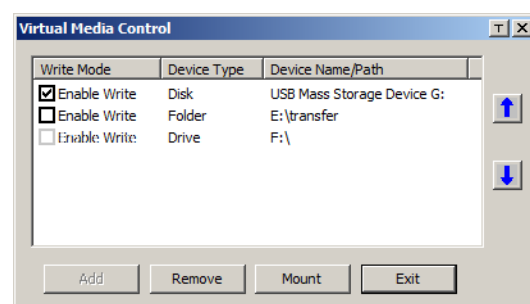


選択した項目に応じて、ドライブ、ファイル、フォルダー、リムーバブルディスクのパスを選択するダイアログが表示されます。各メディアのマウント方法については、p.173「対応バーチャルメディア」を参照してください。

3. その他のソースメディアも追加する場合は、「Add」(追加)ボタンをクリックして必要となるメディアを追加してください。

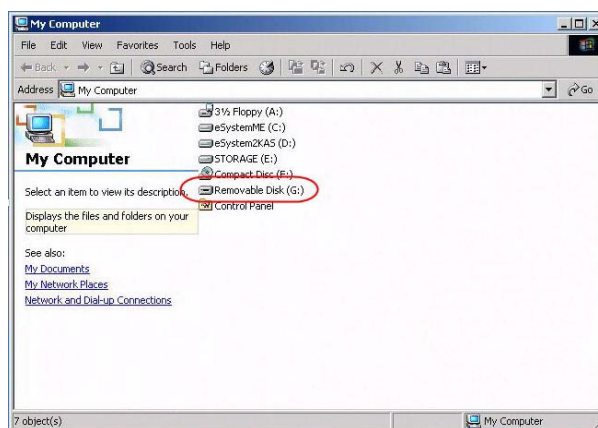
バーチャルメディアは最大3つまでマウントすることができ、リストで上から3つまでの項目が選択されます。選択された項目の順番を入れ替える場合は、移動させたいデバイスを選択し、上下の矢印ボタンをクリックして順序を決定してください。

4. 「Read」(読込)はリモートサーバーにデータを送信することのできるリダイレクトされたデバイスを、また「Write」(書込)はリモートサーバーからのデータが書き込み可能な状態になっているリダイレクトされたデバイスをそれぞれ指しています。デフォルトの設定では、読み取り専用になっていますので**書き込み**の機能は無効になっています。リダイレクトされたデバイスの読み取りと書き込みを同時に許可した場合は、「Enable Write」(書込を有効にする)の項目にチェックを入れてください。



- 
- 注意:**
1. リダイレクトされたデバイスに書き込みができない場合、またはユーザーに書き込みの操作権限がない場合、リスト中ではグレーで表示され、選択できないようになります。
  2. 本製品が対応しているバーチャルメディアの種類については、p.173「対応バーチャルメディア」を参照してください。
- 

5. リストから項目を削除する場合は、対象となる項目を選択してから、「**Remove**」(削除)ボタンをクリックしてください。
6. ソースメディアの選択後に「**Mount**」(マウント)ボタンをクリックすると、ダイアログは終了します。この時、選択されたバーチャルメディアのデバイスがリモートシステムにリダイレクトされ、リモートシステムのファイルシステムで認識されます。



デバイスがマウントされると、そのデバイスをリモートサーバーのメディアと同じように扱うことができるので、ファイルのドラッグやドロップを行ったり、リモートシステムのファイルを開いて編集後にリダイレクトされたデバイスに保存したりすることもできます。

リダイレクトされたメディアに保存されたファイルは、実際にはローカル側のファイルシステムに保存されます。また、リダイレクトされたメディアからドラッグしたファイルは、実際にローカルシステム側から移動することになります。

7. リダイレクトを終了する場合は、コントロールパネルを起動してバーチャルメディアのアイコンをクリックしてください。マウントされたデバイスは全て自動的にマウントが解除されます。

## スマートカードリーダー

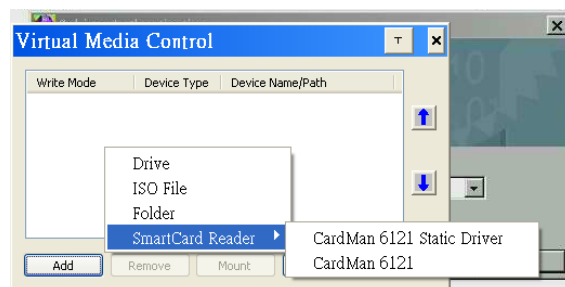
---

**注意：** この機能は Win クライアントビューアまたは Windows クライアント AP の使用時にのみ利用可能です。

---

スマートカードリーダー機能を使うと、ローカルクライアントコンピューターの USB ポートに接続されたリーダーをリダイレクトし、リモートサーバー側に認識させることができます。スマートカード(例: コモンアクセスカード)を使うと、リモートサーバーへの認証がローカルクライアントから可能になります。

スマートカードリーダーがローカルクライアントコンピューターに接続されている場合、このエントリは「**Virtual Media Control**」(バーチャルメディア操作)ダイアログを起動し「**Add**」(追加)ボタンをクリックした時に表示されます。



メニューから適切なものを選択し、「**Mount**」(マウント)ボタンをクリックしてリダイレクトを完了させてください。

---

**注意：** スマートカードリーダーをマウントする場合、他のバーチャルメディアデバイスをマウントすることはできません。すでにマウントされているバーチャルメディアデバイスがある場合は、スマートカードリーダーをマウントする前に、これらのデバイスのマウントを解除してください。

---



## ズーム

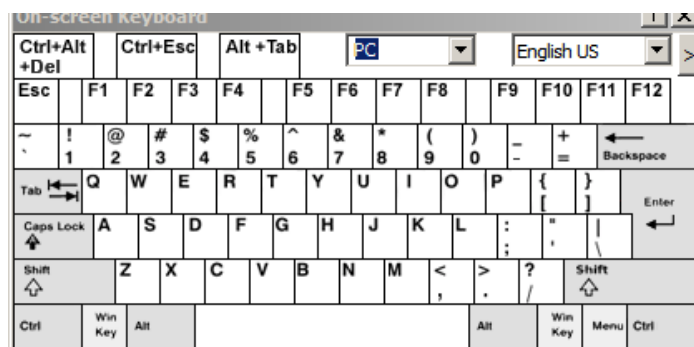
リモートビューのウィンドウをズーム表示します。製品が提供している設定倍率は下表のとおりです。

| 設定   | 説明                                                                                                                                           |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 100% | リモートビューのウィンドウを 100%の倍率で表示します。                                                                                                                |
| 75%  | リモートビューのウィンドウを 75%の倍率で表示します。                                                                                                                 |
| 50%  | リモートビューのウィンドウを 50%の倍率で表示します。                                                                                                                 |
| 25%  | リモートビューのウィンドウを 25%の倍率で表示します。                                                                                                                 |
| 1:1  | リモートビューのウィンドウを 100%の倍率で表示します。これは 100%の倍率で表示した場合と異なり、リモートビューウィンドウがリサイズされても、表示サイズは変更されません。表示されていない部分を操作したい場合は、マウスをウィンドウの端に移動させ、スクロールを使用してください。 |



## オンスクリーンキーボード

CN8600 では、各言語の標準的なキーボードレイアウトが利用できるオンスクリーンキーボード機能を提供しています。このアイコンをクリックすると、下図のようなオンスクリーンキーボードが表示されます。

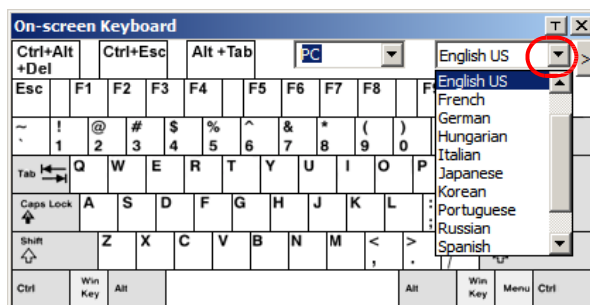


オンスクリーンキーボードを利用するメリットの一つとして、リモート側とローカル側のキーボード言語が異なる場合でも、片方のキーボードの設定を変更することなく操作ができるという点が挙げられます。ユーザーはオンスクリーンキーボードを起動し、アクセス中のポートに接続されているコンピュータで使用されている言語を選択するだけで、オンスクリーンキーボードの利用が可能です。

**注意：** オンスクリーンキーボードの操作はマウスで行ってください。実際のキーボードで操作することはできません。

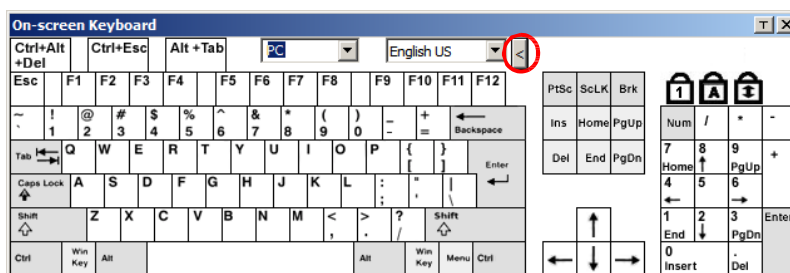
言語を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. 現在選択されている言語の隣にある三角ボタンをクリックし、リストを展開してください。



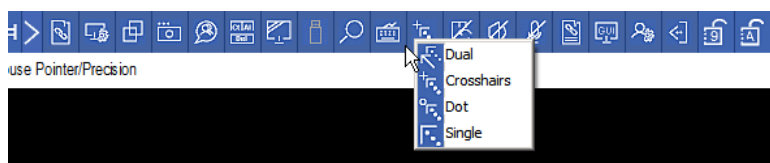
2. 新しい言語をリストから選択してください。

拡張したオンスクリーンキーボードを表示または非表示にする場合は、言語選択リストの右隣にある矢印ボタンをクリックしてください。



## マウスポインターの種類

CN8600 は、リモート画面で使用するマウスカーソルのポインターを数種類提供しています。ポインターを変更する場合は、アイコンをクリックして、リストからポインターを選択してください。



---

**注意:**      コントロールパネルのアイコンは、現在使用しているポインターの種類に応じて変わります。

---



## マウス同期モード

このアイコンをクリックすると、ローカルとリモートのマウスポインターの同期を自動と手動のどちらで行うかを選択することができます。

## マウスの自動同期(ダイナシンク)

この機能を使用すると、リモート/ローカルマウスのポインターを自動的に同期するので、定期的にマウスの再同期を行う手間が軽減されます。

マウスの同期モードを表すツールバーのアイコンは下表のとおりです。

| アイコン                                                                              | 機能                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
|  | マウスダイナシンク機能が利用可能、かつ、 <b>有効</b> になっていることを表します。マウスダイナシンク機能が利用可能である場合は、これがデフォルト設定になっています。 |
|  | マウスダイナシンク機能が利用可能であるものの、 <b>無効</b> であることを表しています。                                        |

マウスダイナシンクが利用可能である場合、このアイコンをクリックするとマウスダイナシンクを有効または無効に切り替えます。マウスダイナシンクを無効に選択した場合は、次のセクションの手動同期を行う必要があります。

## 手動設定によるマウス同期

自動同期のマウスダイナシンクではなく、手動のマウス同期を行い、かつローカルとリモートのマウスポインターが同期を失った場合、いくつかの方法で再同期することができます。

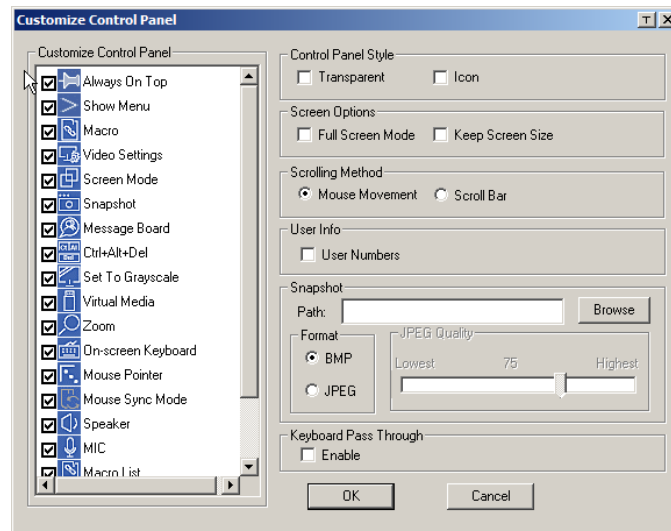
1. コントロールパネルの「ビデオ設定」アイコンをクリックして、ビデオとマウスのマウス同期を実行してください(p.97 参照)。
2. 「Video Settings」(ビデオ設定)ダイアログの「**Auto Sync**」(自動同期)ボタンを使って自動同期を実行してください(詳細は p.97「ビデオ設定」を参照)。
3. 「**Adjust Mouse**」(マウス調整)ホットキーを使用して「マウス調整」機能を起動してください(詳細は p.89「マウスの調整」を参照)。
4. 画面の四隅にマウスポインターを動かしてください(動かす順序は問いません)。
5. 画面上のコントロールパネルをドラッグして別の位置に移動させてください。
6. 製品に接続されているコンピューターのうち、マウスの同期に問題あるものを対象に、マウスポインターのオプション(速度、精度)の設定を行ってください。手順の詳細は p.170「その他のマウス同期方法」を参照してください。

- 
- 注意:**
1. マウスダイナシンクが使用できない時は、一度セッションを終了してから再度ビューアを立ち上げて使用できるか、お試しください。
  2. まれにビューア起動時に USB デバイスの認識が失敗することがあります。
-



## コントロールパネルのカスタマイズ

コントロールパネルのアイコンをクリックすると、コントロールパネルに表示するアイコンやコントロールパネルの外観の設定を行うことができます。



ダイアログは主に 5 箇所に分かれています。各部分の詳細は下表のとおりです。

| 項目                                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Customize Control Panel<br>(コントロールパネルのカスタマイズ) | コントロールパネルで表示するアイコンを選択することができます。                                                                                                                                                                                                                 |
| Control Panel Style<br>(コントロールパネルのスタイル)       | <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 「Transparent」(透明)の項目にチェックを入れると、コントロールパネルを透過させることができます。これによって、コントロールパネルを表示していても、その下にあるオブジェクトを確認することができます。</li><li>◆ 「Icon」(アイコン)の項目にチェックを入れると、通常はアイコンとして表示されます。マウスをアイコンの上に移動させると、パネル全体が表示されます。</li></ul> |

(表は次ページへと続きます。)

| 項目                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Screen Options<br>(画面オプション) | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「Full Screen Mode」(フルスクリーンモード)の項目にチェックが入っている場合、リモート画面はお使いのモニターにフルサイズで表示されます。</li> <li>◆ 「Full Screen Mode」(フルスクリーンモード)の項目にチェックが入っていない場合、リモート側の画面はローカルデスクトップのプログラムのようにウィンドウ形式で表示されます。リモート画面の解像度が大きくてウィンドウに表示されない部分がある場合には、スクロールバーが表示されます。</li> <li>◆ 「Keep Screen Size」(画面サイズを保持する)の項目にチェックが入っている場合、リモート側の画面はリサイズされません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ リモート側の画面の解像度がローカルモニターの画面の解像度より小さい場合、リモート側のデスクトップ画面をウィンドウの状態で画面の中央に表示されます。</li> <li>➤ リモート側の画面の解像度がローカルモニターの画面の解像度よりも大きい場合、リモート側のデスクトップ画面がローカルモニターの大きさにリサイズされます。</li> </ul> </li> <li>◆ 「Keep Screen Size」(画面サイズを保持する)の項目にチェックが入っていない場合、リモート側のデスクトップ画面はローカルモニターの解像度に合わせてリサイズされます。</li> </ul> |
| User Info<br>(ユーザー情報)       | この項目にチェックが入っている場合は、コントロールパネルの上部テキスト行の中央に、現在 CN8600 にログインしているユーザーの合計が表示されます(表示例は p.82 のコントロールパネルの図を参照)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Snapshot<br>(スナップショット)      | <p>この部分は、CN8600 の画面キャプチャに関連する設定項目です。(詳細は p.82「Win クライアントコントロールパネル」のスナップショットを参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「Path」(パス)は、キャプチャされた画面が自動的に保存されるフォルダーのパスを設定します。パスを指定する場合は、テキストボックスの隣にある「Browse」(参照)ボタンをクリックし、フォルダーの選択ダイアログから該当フォルダーを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ここでパスを指定しない場合は、スナップショットがリモート側のデスクトップ上に保存されます。</li> <li>◆ キャプチャした画面のイメージの保存形式(BMP、JPEG)をラジオボタンで選択してください。</li> <li>◆ JPEG を選択した場合は、キャプチャした画像の画質をスライドバーで調整することができます。画質を上げるとより鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが大きくなります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |

# 第6章

## アプリケーションの操作

### はじめに

---

CN8600 では、ブラウザベースのクライアントビューアに加え、ブラウザを使用しない環境でもご利用いただけるスタンドアロンの Windows 版・Java 版のアプリケーションをご用意しております。これらのアプリケーションは CN8600 のダウンロードメニューからダウンロードできます。詳細は p.80「ダウンロード」を参照してください。

### アプリケーション版 Windows クライアント

---

#### セットアップ

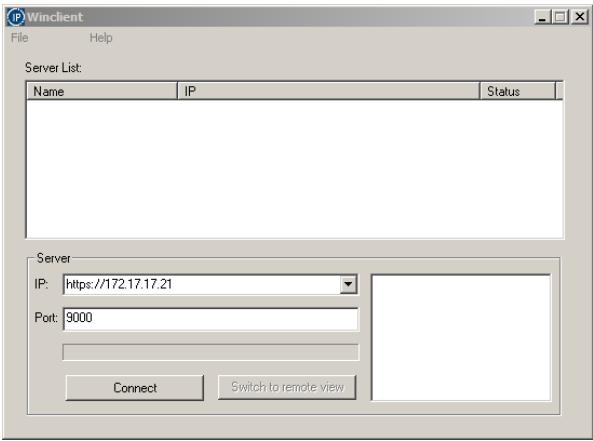
スタンドアロン版の Windows クライアントのインストールは下記の手順に従ってください。

1. Web GUI にてダウンロード画面に遷移してください。詳細は p.80「ダウンロード」を参照してください。
2. 「**Windows Client AP**」ボタンをクリックしてください。
3. インストーラーの画面内の指示に従ってインストールを進め、Windows クライアントプログラムアイコンをデスクトップに表示させてください。

#### Windows クライアントの起動

CN8600 に接続するには、デスクトップ上のアイコンをクリックするか、スタートメニューでエントリをクリックしてください。

Windows クライアント接続画面



この接続画面における各項目の内容は下表のとおりです。

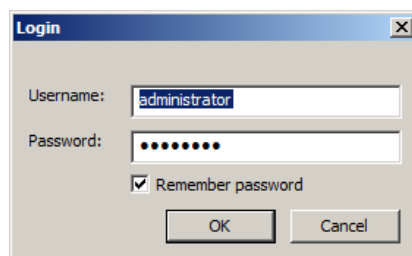
| 項目                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Server List<br>(サーバーリスト) | CN8600 の Windows クライアントは、起動時にローカル LAN セグメントにある CN8600 を検出し、このリストに一覧表示します。特定のユニットに接続する場合は、その項目をリストから選択し、「Login」(ログイン)ボタンをクリックしてください。また、CN8600 との接続を終了する場合は、「Logout」(ログアウト)ボタンをクリックしてください。                                                                                                         |
| Server(サーバー)             | この欄は、CN8600 へのリモート接続時に使用します。表示された IP アドレスが違う場合や何も表示されない場合は、接続対象となる CN8600 の IP アドレスを「IP」の欄に入力してください。<br>IP アドレスを入力したら、「Port」(ポート)の欄に接続に使用するポート番号を入力してください。ポート番号がご不明な場合は CN8600 の管理者までお問い合わせください。<br>IPアドレスとポート番号が確定したら、「Connect」(接続)ボタンを押して接続を開始します。作業を終了する場合は「Logout」(ログアウト)を押してセッションを終了してください。 |
| Connect (接続)             | CN8600 との接続を開始します。                                                                                                                                                                                                                                                                               |

(表は次のページに続きます)

| 項目                         | 説明                                                       |
|----------------------------|----------------------------------------------------------|
| Disconnect (切断)            | これらのボタンは、CN8600 にログインしている時に有効になります。詳細は下記「ログイン」を参照してください。 |
| Remote View<br>(リモートビュー)   |                                                          |
| Message List<br>(メッセージリスト) | サーバー接続の現在の状態を表示します。                                      |

## ログイン

CN8600 に接続すると、下図のようなログインダイアログが表示されます。



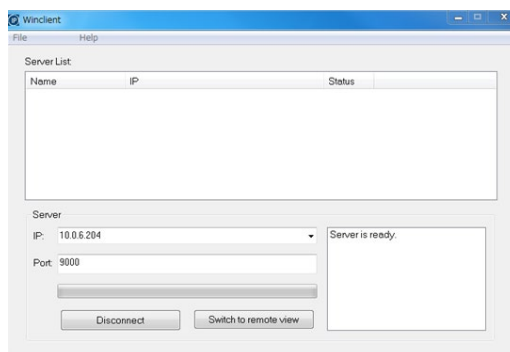
正しいユーザーネームとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

---

**注意:** デフォルトユーザーネームは「administrator」、デフォルトパスワードは「password」です。セキュリティの観点から、このアカウントを変更することを強く推奨します(詳細は p.36「ユーザー管理」参照)。

---

ログインに成功すると、下図のような接続画面が表示されます。



この時、以下のボタンが有効になります。各ボタンの機能は下表のとおりです。

| ボタン                      | 説明                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Disconnect (切断)          | CN8600 との接続を終了します。                                                                                                                                                                        |
| Remote View<br>(リモートビュー) | 管理者がユーザーにブラウザ経由による CN8600 へのログインを許可したくない場合は、この機能をご利用いただくことで解決することができます。このボタンをクリックすると、ブラウザベースの Windows クライアントと同様に、リモートサーバーのデスクトップ内容をお使いのモニターに表示します。リモートデスクトップの操作方法の詳細については、第 5 章を参照してください。 |

## アドミニストレーターユーティリティ

アドミニストレーターユーティリティは、機能別に分かれたタブメニューのついたダイアログボックスのインターフェースで提供されています。各タブの機能に関する説明および設定方法については後のセクションで説明します。

設定画面を開くと、下図のような画面が表示されます。



このタブはブラウザでアクセスした時の同メニューと基本的に同じで、画面上部にあるアイコンの機能もブラウザベースのものと同じです。詳細は p.35「設定方法」を参照してください。

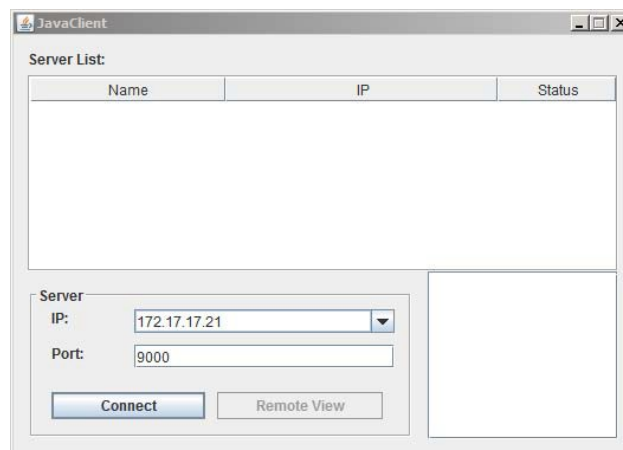
## アプリケーション版 Java クライアント

Java クライアントを使用することで、プラットフォームを問わず CN8600 へのアクセスが可能となります。CN8600 の Java クライアントは JRE 6 Update 3 以降のバージョンがインストールされているコンピュータでご利用いただけます。このバージョンの Java がインストールされていない場合は、Oracle の Web サイトから無料で提供されておりますので、このサイトからダウンロードして、お使いのコンピュータにセットアップしてください(<http://java.com>)。

### Java クライアントの起動

スタンドアロン版の Java クライアントで CN8600 に接続するには、まず、Java クライアント (JavaClient.jar) をお使いのコンピュータのハードディスクの適当なところにコピーしてください。それから、このファイルのアイコンをダブルクリックする、または、コマンドラインからファイルのフルパスを入力して実行すると、Java クライアントの接続画面が表示されます。

### Java クライアント接続画面

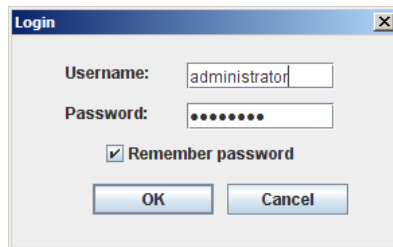


CN8600 に接続する場合は、下記の手順に従ってください。

1. 「Server」(サーバー)の「IP」欄に CN8600 の IP アドレスを入力してください。
2. CN8600 との通信に使用するポート番号が、ダイアログに表示されているものと異なる場合は、「Port」(ポート)欄に正しいポート番号を入力してください。
3. 「Connect」(接続)ボタンをクリックしてください。

## ログイン

CN8600 が指定したユニットに接続すると、以下のログインウィンドウが表示されます。

A standard Windows-style login dialog box titled "Login". It contains two text input fields: "Username:" with the text "administrator" entered, and "Password:" with a masked password of seven dots. Below the password field is a checked checkbox labeled "Remember password". At the bottom are two buttons: "OK" and "Cancel".

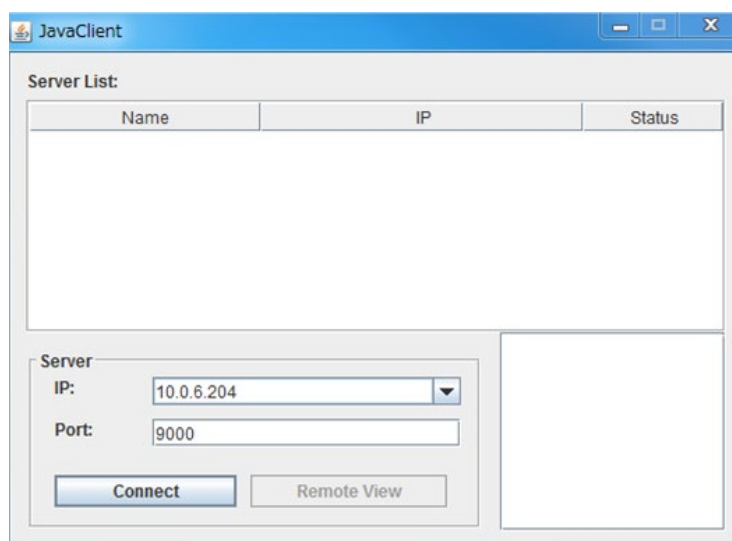
正しいユーザーネームとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

---

**注意：** デフォルトユーザーネームは「administrator」、デフォルトパスワードは「password」です。セキュリティの観点から、このアカウントを変更することを強く推奨します(詳細は p.36「ユーザー管理」参照)。

---

ログインに成功すると、接続画面が表示されます。

A window titled "JavaClient" with a blue header bar. It contains a "Server List:" section with a table that has three columns: "Name", "IP", and "Status". The table is currently empty. Below the table is a "Server:" section with two input fields: "IP:" with the value "10.0.6.204" and a dropdown arrow, and "Port:" with the value "9000". At the bottom of this section are two buttons: "Connect" and "Remote View". To the right of the "Server:" section is a large empty rectangular area.

この機能は Windows クライアント AP のセクションで説明したものと同じです。詳細は p.116 を参照してください。

Java クライアント AP の操作方法は Windows クライアント AP と同じです。詳細は Windows クライアント AP に関する説明を参照してください。

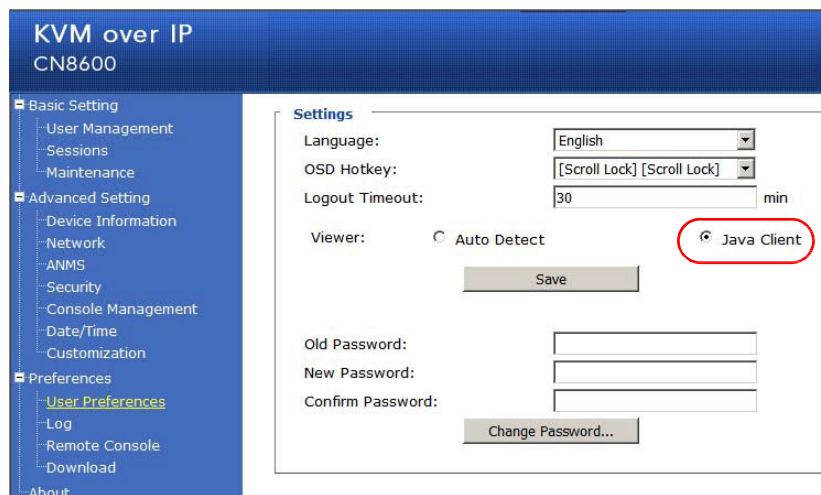
# 第7章

## Java クライアントビューア

### はじめに

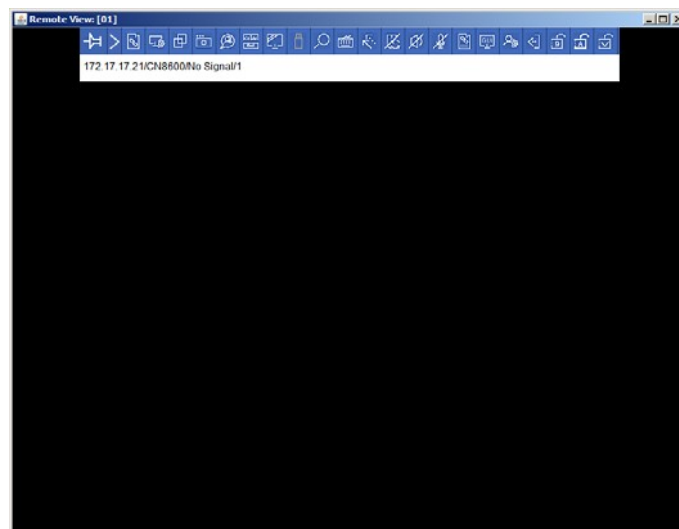
Java クライアントビューアをご利用いただくと、Java Runtime Environment (JRE)に対応したプラットフォームであれば、どんなコンピューターからでも CN8600 にアクセスすることができます (Java クライアントビューアが動作可能な JRE のバージョンについては p.20「システム要件」参照)。JRE は Java の Web サイト(<http://java.com>)から無料でダウンロードしてお使いいただけます。

Java クライアントビューアを起動する場合は、ログイン (p.32「ログイン」参照)した後で、リモートコンソールプレビュー画面で「Open Java Applet」(Java アプレットを開く)リンクをクリックしてください。



**注意:** 「Refresh」(再読込)ボタンの下にあるリンクは、使用ブラウザと「User Preferences」(ユーザー設定)の「Viewer」(ビューア)の設定によって表示が異なります。詳細は p.76 「ユーザー設定」を参照してください。

「Open Java Applet」(Java アプレットを開く)リンクまたは「Open Viewer」(ビューアを開く)リンクをクリックして数秒すると、デスクトップ上にリモートサーバーの画面を表示するウィンドウが立ち上がります。



## ローカルデスクトップの操作方法

---

このソフトウェアを使うことで、現場で作業している時と同様の感覚でローカルシステムのデスクトップをリモートから操作することができます。

- ◆ この画面はウィンドウの最小化やウィンドウ枠のドラッグ操作によるリサイズ、また、スクロールバーによるウィンドウ内の表示位置の変更が可能です。
- ◆ ローカルとリモートプログラムを切り替える場合は、[Alt] + [Tab]キーで画面を切り替えてください。

- 
- 注意:**
1. お使いの環境によっては、ネットワークの遅延が原因で、入力したキーやマウス操作の表示に若干時間がかかる場合がございますので、そのような場合は操作してから表示されるまでしばらくお待ちください。
  2. ネットワークの遅延またはローカルコンピューターの電源不足によって、表示画質(特に動画の表示画質)が劣化する場合がございます。
-

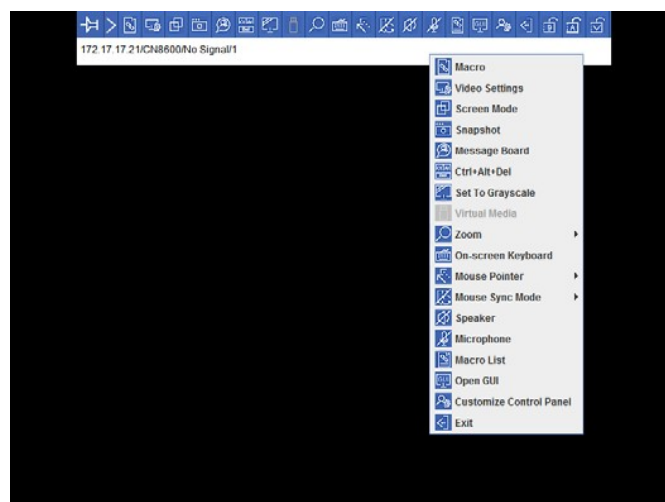
## Java クライアントコントロールパネル

Java クライアントのコントロールパネルは通常は画面上部の中央に隠されていますが、この部分にマウスカーソルを移動させると下図のようなメニューが表示されます。



- 注意:**
1. 上図は全メニューが表示された場合のコントロールパネルの外観です。表示するアイコンはカスタマイズが可能です。詳細は p.112「コントロールパネルのカスタマイズ」を参照してください。
  2. コントロールパネルは、マウスをテキストバーの位置に移動させてからドラッグすることでウィンドウ内の任意の位置に移動させることができます。

- ◆ デフォルトでは、上部テキスト行の左側にはリモートディスプレイの解像度が表示されますが、マウスをアイコンバーのアイコンの上に移動させると、そのアイコンの機能がこの部分に表示されます。
- ◆ コントロールパネルの設定で「ユーザー情報」機能 (p.113 参照) が有効になっていると、現在 CN8600 にログインしているユーザーの数が上部テキスト行の右側に表示されます。
- ◆ テキスト行でマウスを右クリックすると、「Zoom」(ズーム)、「Mouse Pointer」(マウスポインター)、「Mouse Sync Mode」(マウス同期モード)の各機能に対してオプションメニューを選択することができます。これらの機能については、後のセクションで説明します。



## コントロールパネルの機能

コントロールパネルの機能は p.84「コントロールパネルの機能」で説明しています。

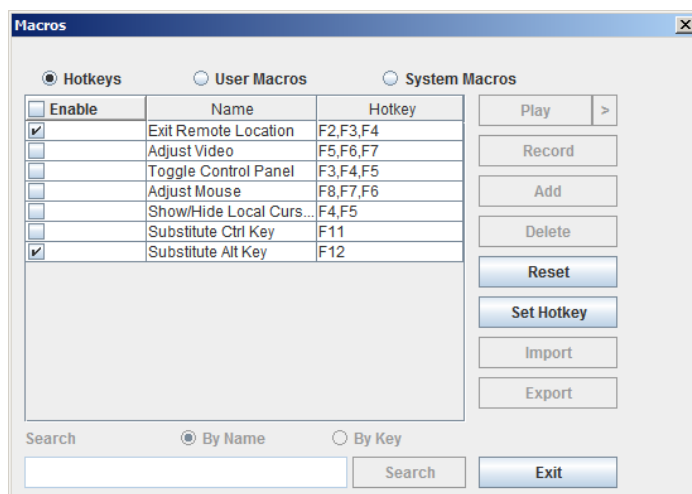


### マクロ

マクロアイコンでは、マクロダイアログボックスの 3 つの機能(ホットキー、ユーザーマクロ、システムマクロ)にアクセスすることができます。これらの機能については後のセクションで説明します。

### ホットキー

コントロールパネルのアイコンをクリックして実行されるアクションは、キーボードから入力されたホットキーで直接実行することができます。「Hotkey」(ホットキー)のラジオボタンを選択すると、アクションを実効するホットキーを設定することができます。



Java クライアントでのホットキーは Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.87「ホットキー」を参照してください。

---

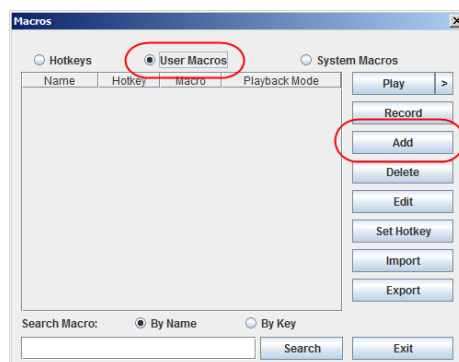
**注意:** マウス表示切替機能は Java ビューアではご利用いただけません。

---

## ユーザーマクロ

ユーザーマクロは、特定のアクションをリモートサーバー側で実行する場合に使用します。マクロを作成するには以下の手順に従ってください。

1. 「User Macros」(ユーザーマクロ)ラジオボタンを選択し、「Add」(追加)ボタンをクリックしてください。

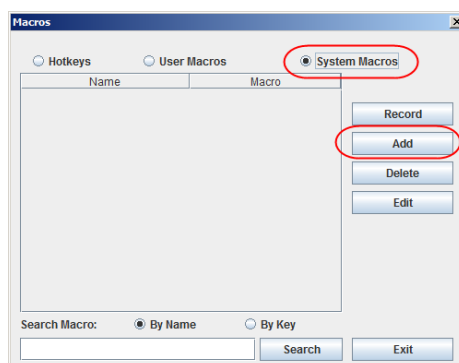


Java クライアントでのユーザーマクロ機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.90「ユーザーマクロ」を参照してください。

## システムマクロ

システムマクロはセッション終了時に実行される終了マクロを作成する際に使用します。例えば、[Windows] + [L]キーをログアウト時に実行するマクロを作成しておく、ユーザーがその後にデバイスにアクセスした際には必ずリモートデバイスのログイン画面を表示することができるので、セキュリティを強化することもできます。マクロを作成する場合は、下記の手順に従ってください。

1. 「System Macros」(システムマクロ)を選択してから、「Add」(追加)をクリックしてください。



Java クライアントでのユーザーマクロ機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.94「システムマクロ」を参照してください。

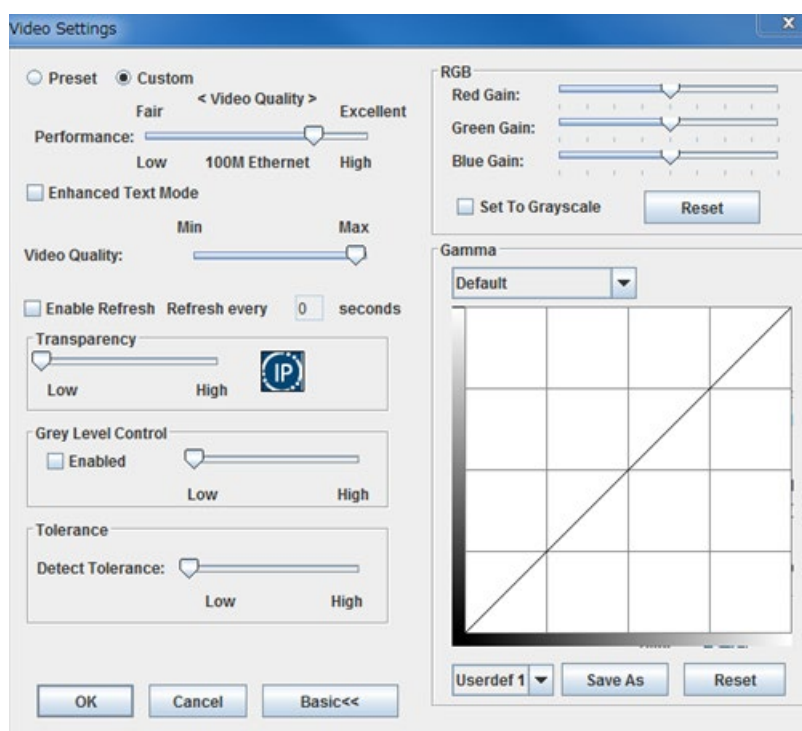
「Search」(検索)ボタンを使うと、上部の大きいパネルに表示されるマクロ一覧から実行したり編集したりするマクロを絞り込むことができます。

Java クライアントでの検索機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.94 を参照してください。



## ビデオ設定

「Video Settings」(ビデオ設定)ダイアログでは、リモート画面の表示位置及び画質の調整を行います。

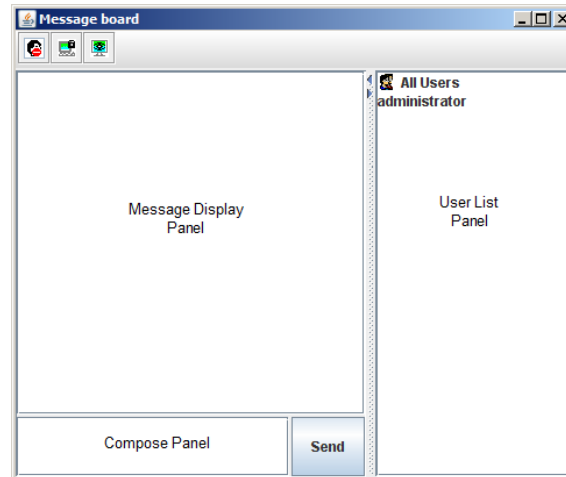


Java クライアントでのビデオ設定機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.97「ビデオ設定」を参照してください。



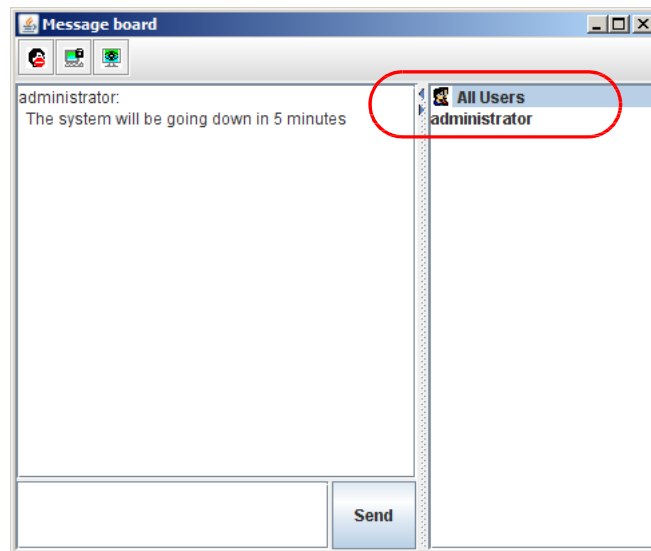
## メッセージボード

CN8600 はマルチユーザーログインに対応しておりますが、複数ユーザーによる操作の競合を避けるために、インターネットチャットプログラムのようなメッセージボード機能を提供しております。この機能を使うことによって、ユーザー同士でコミュニケーションを取ることができます。



ボタンバーにあるボタンはトグルボタンです。各ボタンの機能は下表のとおりです。

| ボタン                                                                                 | 機能                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>チャット機能を<b>有効/無効</b>にします。チャット機能が無効になっている場合、このボタンは網がけされた状態になり、メッセージボードにメッセージが送信されても表示されません。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表示されている場合、そのユーザーがチャット機能を無効にしていることを表しています。</p>                                 |
|    | <p>キーボード・ビデオ・マウスを<b>占有/開放</b>します。KVM があるユーザーによって占有されている場合、このボタンは網がけされた状態になり、他のユーザーは画面の参照およびキーボード・マウスの操作ができなくなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表示されている場合、そのユーザーが KVM を占有していることを表しています。</p>              |
|   | <p>キーボード・マウスを<b>占有/開放</b>します。キーボード・マウスがあるユーザーによって占有されている場合、このボタンは網がけされた状態になり、他のユーザーは画面のモニタリングは可能ですが、キーボード・マウスの操作ができなくなります。ユーザーリストパネルのユーザーネームの横にこのアイコンが表示されている場合、そのユーザーがキーボード・マウスを占有していることを表しています。</p> |
|  | <p>ユーザーリストを<b>表示/非表示</b>にします。ユーザーリストを表示する場合はこのアイコンを左クリックし、非表示にする場合は右クリックしてください。</p>                                                                                                                   |



- ◆ 現在 CN8600 にログインしている全てのユーザーが**ユーザーリスト**パネルに表示されます。
  - メッセージを送信する前に、メッセージの宛先となるユーザーをユーザーリストパネルから選択してください。選択されていないユーザーはメッセージを読むことができません。
  - **ユーザーリスト**パネルを表示または非表示にする場合は、ユーザーリストパネルとメッセージ表示パネルの間の枠にある三角形のボタンをクリックしてください。
  - ユーザーがチャット機能を無効にしている場合、ユーザーリストパネルのユーザーネームの前に該当アイコンが表示されます。
  - ユーザーがKVM やキーボード・マウスを占有している場合、ユーザーリストパネルのユーザーネームの前に該当アイコンが表示されます。
- ◆ メッセージ編集パネルにメッセージの内容を入力し、「**Send**」(送信)ボタンをクリックしてメッセージを送信してください。
  - ユーザーがメッセージボードに書き込んだメッセージは、システムメッセージと同様に、**メッセージ表示**パネルに表示されますが、チャット機能を無効にしていると送信されたメッセージは表示されません。
  - メッセージボードを起動していない時に、別のユーザーからメッセージボードにメッセージが送信されると、メッセージを表示するウィンドウが画面上にポップアップ表示されます。

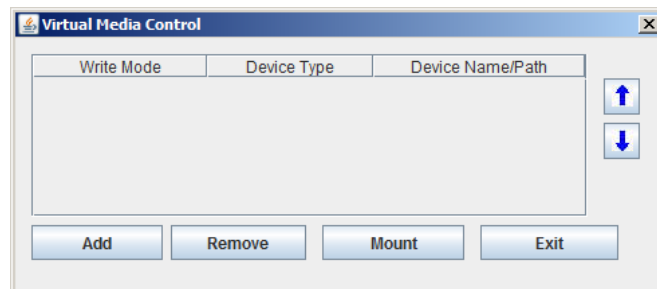


## バーチャルメディア

バーチャルメディア機能を使うと、ローカルクライアントコンピューター側のフォルダーやイメージファイルをリモートサーバーでマウントして使用することができます。また、ローカルクライアントコンピューターに接続されたスマートカードリーダーをリモートサーバー側で認識させることも可能です。

バーチャルメディアのリダイレクト機能を実行する場合は、下記の手順に従ってください。

1. バーチャルメディアアイコンをクリックして「Virtual Media Control」(バーチャルメディア)ダイアログを起動してください。



Java クライアントでのバーチャルメディア機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.104「バーチャルメディア」を参照してください。

---

**注意:** Java ビューアのバーチャルメディア機能では、ISO ファイルとフォルダーのみサポートされています。

---



## ズーム

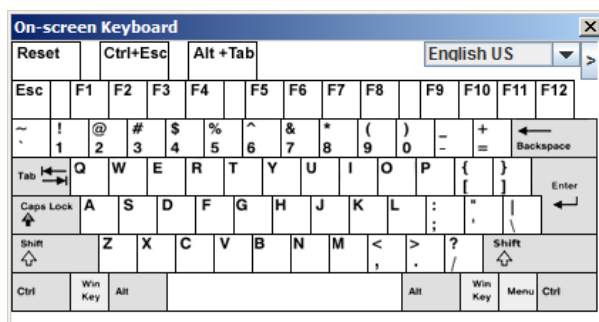
リモートビューのウィンドウをズーム表示します。製品が提供している設定倍率は下表のとおりです。

| 設定   | 説明                                                                                                                                           |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 100% | リモートビューのウィンドウを 100%の倍率で表示します。                                                                                                                |
| 75%  | リモートビューのウィンドウを 75%の倍率で表示します。                                                                                                                 |
| 50%  | リモートビューのウィンドウを 50%の倍率で表示します。                                                                                                                 |
| 25%  | リモートビューのウィンドウを 25%の倍率で表示します。                                                                                                                 |
| 1:1  | リモートビューのウィンドウを 100%の倍率で表示します。これは 100%の倍率で表示した場合と異なり、リモートビューウィンドウがリサイズされても、表示サイズは変更されません。表示されていない部分を操作したい場合は、マウスをウィンドウの端に移動させ、スクロールを使用してください。 |



## オンスクリーンキーボード

CN8600 では、各言語の標準的なキーボードレイアウトが利用できるオンスクリーンキーボード機能を提供しています。このアイコンをクリックすると、下図のようなオンスクリーンキーボードが表示されます。



Java クライアントでのオンスクリーンキーボード機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.109「オンスクリーンキーボード」を参照してください。



## マウスポインターの種類

本製品は、リモート画面で使用するマウスカーソルのポインターを数種類提供しています。ポインターを変更する場合は、アイコンをクリックして、リストからポインターを選択してください。



---

**注意:** コントロールパネルのアイコンは、現在使用しているポインターの種類に応じて変わります。

---



## マウス同期モード

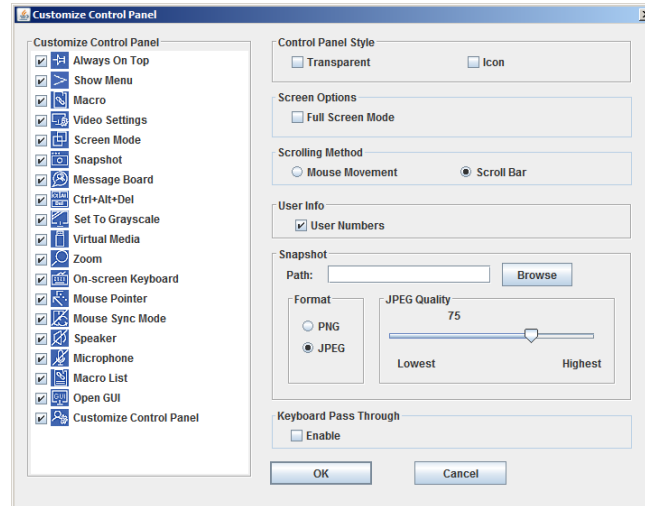
このアイコンをクリックすると、ローカルとリモートのマウスポインターを自動または手動で同期させることができます。

Java クライアントでのマウス同期機能は Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.110「マウス同期モード」を参照してください。



## コントロールパネルのカスタマイズ

コントロールパネルのアイコンをクリックすると、コントロールパネルに表示するアイコンやコントロールパネルの外観の設定を行うことができます。



Java クライアントでのコントロールパネルのカスタマイズは Windows クライアントと同様の方法で操作できます。詳細は p.112「コントロールパネルのカスタマイズ」を参照してください。

---

**注意:** コントロールパネルの設定のうち、以下の機能は Java クライアントではご利用になれませんので、ご注意ください。

- ◆ コントロールパネルの透過機能
- ◆ 「画面オプション」機能

また、スナップショットのフォーマットは BMP の代わりに PNG を提供しています。

---

## 第8章

# ローカルコンソール

CN8600 には、ローカル側にあるローカルコンソールのキーボード・マウス・モニターと、ラップトップアプリケーション (AP) プログラムのどちらからでも、直接アクセスすることができます。

### コンソールロックスイッチ

---

CN8600 のリアパネルにあるスイッチを使用して、ミニ USB ポートの操作方法を選択することができます。

ミニ USB ポートをラップトップ USB コンソールポートとして使用するには、スイッチを LUC に設定してください。この設定を行うことで、ノートパソコン等を CN8600 の USB ポートに接続するだけで、ローカル側から便利に CN8600 を直接設定することができます。ノートパソコンを使用して CN8600 にアクセスし、アプリケーションを修正することができます。ラップトップ USB コンソール機能の使い方の詳細は p.135 を参照してください。

---

**注意:** ミニ USB ポートをバーチャルメディアポートに設定することもできます。詳細は p.104 を参照してください。

---

### ローカルコンソール

---

ローカルコンソールポートに直接アクセスして操作するには、キーボード・マウス・モニターを使用してください。CN8600 は信号をローカルおよびリモートコンソールの両方へ分配することができます。

- ◆ デフォルトではローカルコンソールに操作の優先権があります。p.27「コンソールロックスイッチ」を参照してください。
- ◆ ローカルコンソールユーザーとリモートコンソールユーザーとの同時使用を設定する方法については、p.75「マルチユーザーモード」を参照してください。

## メッセージタグ

リモートユーザーが CN8600 にログインしている場合、ローカルコンソールにはメッセージタグが表示されます。これは、ローカルユーザーに対して操作が影響を受ける可能性があることを知らせるためのものです。メッセージタグを閉じるには、[Esc]キーを押してください。

ローカルユーザーが操作を中断されたくない場合、ローカルコンソールに対して**コンソールロックスイッチ**がロックされていることを確認してください。この場合、メッセージタグは表示されません。

## ラップトップ USB コンソール

ミニ USB ポートをラップトップ USB コンソールとして使用するには、CN8600 のリアパネルにあるスイッチを **LUC** に設定してください。

---

**注意:** LUC 機能は Windows システムのみ動作可能です。

---

LUC を操作するためのラップトップアプリケーション(AP)プログラムは CN8600 のファームウェアに搭載されているため、ダウンロードする必要はありません。スイッチにアクセスするには、下記の手順に従ってください。

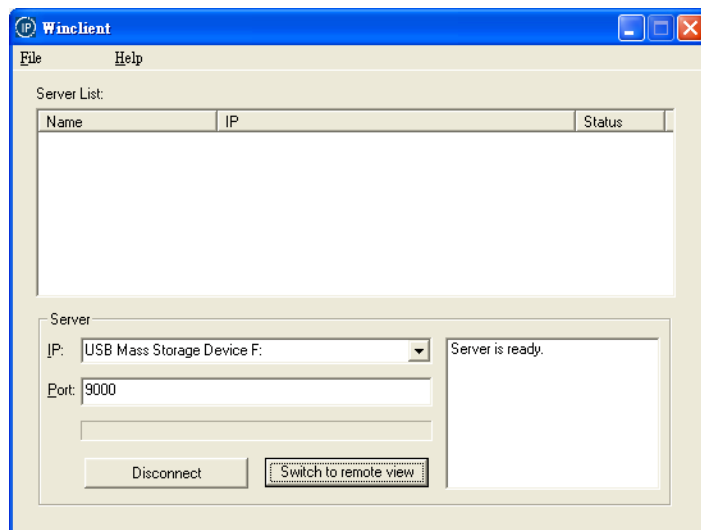
1. 製品に同梱の USB 2.0 ケーブル(Type-A → ミニ USB)を使用して、ノートパソコンと CN8600 のリアパネルにあるミニ USB ポートを接続してください(p.30「セットアップ」参照)。
2. CN8600 がノートパソコン等にあるファイルシステムにバーチャルドライブとして表示されます。バーチャル CD ROM のラップトップ AP に移動してアイコンをダブルクリックしてください。ログイン画面が表示されます。



3. ログイン画面に有効なユーザー名とパスワードを入力してから「**Login**」(ログイン)をクリックしてください。ログインに成功すると、「**Remote View**」(リモートビュー)ボタンがアクティブになります。
4. 「**Remote View**」(リモートビュー)ボタンをクリックして、ラップトップコンソールメイン画面を表示してください。

## ラップトップ USB コンソールメイン画面

ノートパソコン等を CN8600 のラップトップポートに接続した後、ログインし、アプリケーションを開くと、ラップトップコンソールメイン画面が表示されます。



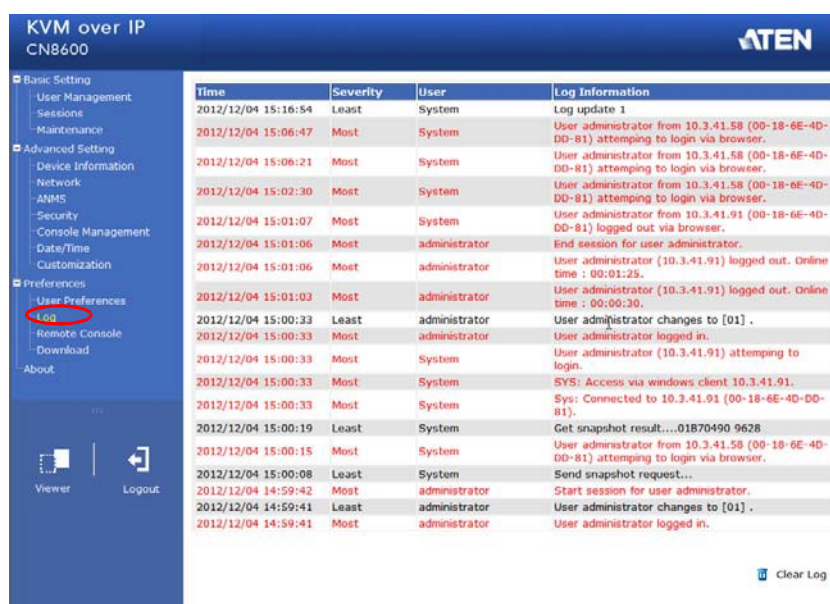
ラップトップコンソールメイン画面は、Web ブラウザ、Win クライアントおよび Java クライアントのメイン画面と似ています。詳細は、p.114「アプリケーションの操作」、操作については本マニュアルの残りのアプリケーション GUI のセクションを参照してください。

# 第9章

## ログファイル

### ログファイル画面

CN8600 で起こる全てのイベントはログファイルに記録されます。それらのログは同時に時間情報も記録され、検索可能なデータベースとして利用されます。ログファイルを表示するには、画面左側にある「Log」(ログ)リンクをクリックしてください。下図のような画面が表示されます。



| Time                | Severity | User          | Log Information                                                                         |
|---------------------|----------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 2012/12/04 15:16:54 | Least    | System        | Log update 1                                                                            |
| 2012/12/04 15:06:47 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:06:21 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:02:30 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:01:07 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.91 (00-18-6E-4D-DD-81) logged out via browser.          |
| 2012/12/04 15:01:06 | Most     | administrator | End session for user administrator.                                                     |
| 2012/12/04 15:01:06 | Most     | administrator | User administrator (10.3.41.91) logged out. Online time : 00:01:25.                     |
| 2012/12/04 15:01:03 | Most     | administrator | User administrator (10.3.41.91) logged out. Online time : 00:00:30.                     |
| 2012/12/04 15:00:33 | Least    | administrator | User administrator changes to [01] .                                                    |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | administrator | User administrator logged in.                                                           |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | System        | User administrator (10.3.41.91) attempting to login.                                    |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | System        | SYS: Access via windows client 10.3.41.91.                                              |
| 2012/12/04 15:00:33 | Most     | System        | Sys: Connected to 10.3.41.91 (00-18-6E-4D-DD-81).                                       |
| 2012/12/04 15:00:19 | Least    | System        | Get snapshot result....01870490 9628                                                    |
| 2012/12/04 15:00:15 | Most     | System        | User administrator from 10.3.41.58 (00-18-6E-4D-DD-81) attempting to login via browser. |
| 2012/12/04 15:00:08 | Least    | System        | Send snapshot request...                                                                |
| 2012/12/04 14:59:42 | Most     | administrator | Start session for user administrator.                                                   |
| 2012/12/04 14:59:41 | Least    | administrator | User administrator changes to [01] .                                                    |
| 2012/12/04 14:59:41 | Most     | administrator | User administrator logged in.                                                           |

ログファイルでは最大 512 項目のイベントを管理することができます。新規イベントが発生すると、ファイルの一番下の行に随時追加されていきます。ファイルに追加されたイベント数が最大に達した後で新規イベントが発生すると、一番古いイベントが切り捨てられます。

**注意:** このログファイルで保存可能な最大イベント数を超えるログを管理したい場合は、ログサーバーアプリケーションプログラムをセットアップしてください。詳細は p.139「ログサーバー」を参照してください。

ログファイルをクリアするには、画面右側下部に表示されている「Clear Log」(ログのクリア)アイコンをクリックしてください。

# 第 10 章

## ログサーバー

Windows ベースの CN8600 のログサーバーは、指定された CN8600 で発生する全イベントを記録し、検索可能なデータベースに格納する、管理者向けのユーティリティです。本章では、ログサーバーのインストールおよび設定の各方法について説明します。

### セットアップ

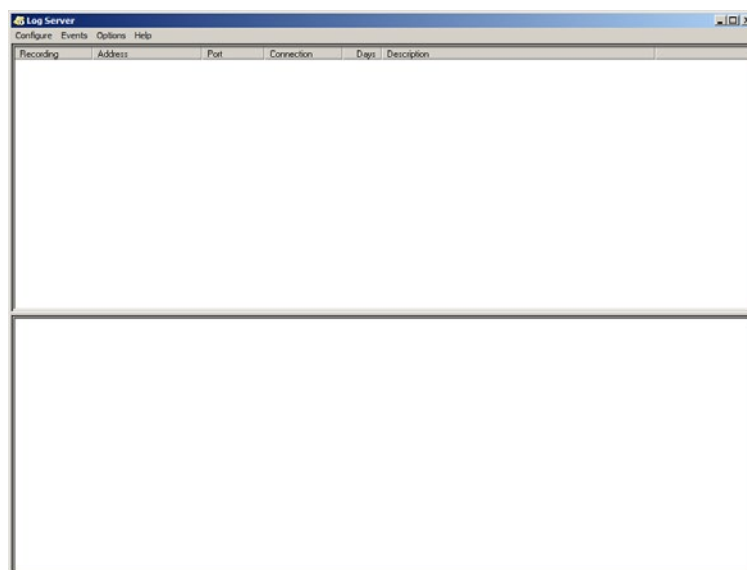
---

1. Web GUI にて、ダウンロードページに移動してください。詳細は p.80「ダウンロード」を参照してください。
2. 「Download Log Server AP」(ログサーバーAP のダウンロード)アイコンをクリックしてください。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了し、ログサーバープログラムアイコンをデスクトップに表示してください。

### ログサーバーの起動

---

ログサーバーのメイン画面を表示するには、プログラムアイコンをダブルクリックするか、コマンドラインからこのプログラムのフルパスを入力して実行してください。プログラムが起動すると、以下のよう画面が表示されます。



- 
- 注意:**
1. ログサーバーの MAC アドレスは「AMNS」メニューで設定しておく必要があります (p.52「ログサーバー」参照)。
  2. ログサーバーには Microsoft Jet OLEDB 4.0 ドライバーが必要です。プログラムが開始しない場合は、p.169「ログサーバープログラムが起動しない場合」を参照してください。
- 

画面は以下の 3 つのコンポーネントに分かれています。

- ◆ 上部メニューバー
- ◆ メニューバー下部の CN8600 リストパネル (詳細は p.146「ログサーバーメイン画面」参照)
- ◆ 最下部のイベントリストパネル

各コンポーネントの詳細は後述しますので、そちらを参照してください。

## メニューバー

---

ログサーバーのメニューバーは以下の項目から構成されています。

- ◆ Configure (設定)
- ◆ Events (イベント)
- ◆ Options (オプション)
- ◆ Help (ヘルプ)

各項目の詳細は後述しますので、そちらを参照してください。

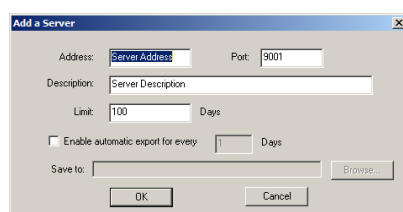
- 
- 注意:** メニューバーが有効になっていないように見える場合がありますが、このような場合は CN8600 一覧表示ウィンドウをクリックし、ウィンドウをアクティブにしてメニューバーをご利用ください。
-

## 設定

「Configure」(設定)メニューでは、「Add」(追加)、「Edit」(編集)、「Delete」(削除)の3つのサブメニューが存在します。「Add」(追加)メニューでは CN8600 ユニットの一覧への新規追加を、「Edit」(編集)メニューではリストに登録されたユニット情報の編集を、また「Delete」(削除)メニューでは一覧からのユニットの削除をそれぞれ行います。

- ◆ CN8600 ユニットを一覧に新たに追加する場合は「**Add**」(追加)メニューをクリックしてください。
- ◆ リストから CN8600 ユニットを編集したり削除したりする場合は、リストから対象となる項目を選択し、このメニューから「**Edit**」(編集)または「**Delete**」(削除)メニューをクリックしてください。

「Add」(追加)または「Edit」(編集)メニューをクリックすると、下図のようなダイアログが表示されます。



ダイアログ内の各項目に関する詳細は下表のとおりです。

| 項目                                                                  | 説明                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Address<br>(アドレス)                                                   | CN8600 の IP アドレスまたは DNS 名 (アドミニストレータが DNS 名を割り当てた場合) を入力してください。ここで設定される内容は CN8600 の「ANMS」で設定されているものと同じである必要があります (p.50「ANMS」参照)。 |
| Port<br>(ポート)                                                       | ANMS 設定でログサーバーのサービスポート番号として割り当てられたポート番号を入力してください (p.52「ログサーバー」参照)。                                                               |
| Description<br>(説明)                                                 | CN8600 に関する追加情報があれば、このフィールドに入力することができます。                                                                                         |
| Limit (期限)                                                          | ログサーバーデータベースにおけるイベント保存日数を表します。                                                                                                   |
| Enable automatic export for every (*) Days<br>(* 日おきに自動エクスポートを実行する) | これにチェックを入れると、サーバーは一定間隔 (の日数) でログファイルを作成し、指定した場所に保存します。<br>「Browse…」(参照…) ボタンをクリックして、ログファイルを保存したいファイルフォルダを指定してください。               |

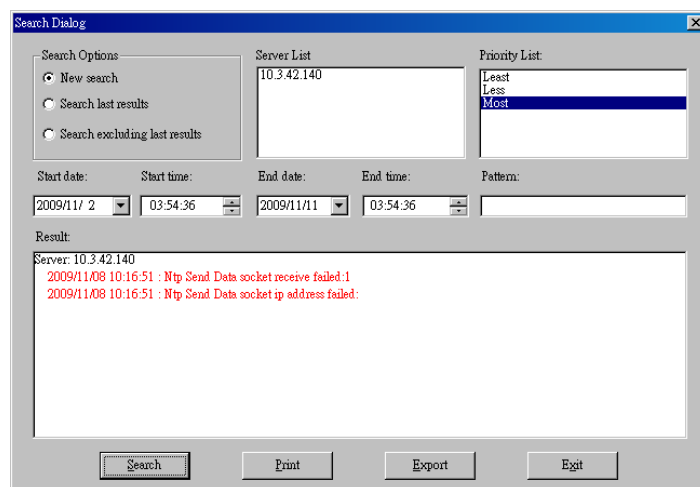
フィールドへの記入・編集が完了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

## イベント

「Events」(イベント)メニューは「Search」(検索)と「Maintenance」(メンテナンス)の 2 つのサブメニューから構成されています。

### 検索

「Search」(検索)メニューでは、特定のキーワードを含むイベントを検索することができます。このメニューを起動すると、以下のようなダイアログが表示されます。



ダイアログ内の各項目の詳細は下表のとおりです。

| 項目                                             | 説明                                                                                                                             |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| New search<br>(新規検索)                           | 検索範囲を決定する3つのラジオボタンの1つで、このラジオボタンが選択されると、選択された CN8600 で発生した全てのイベントを対象にして検索を行います。                                                 |
| Search last results<br>(前回の結果から検索)             | このラジオボタンが選択されると、前回の検索結果を対象に検索を行います。                                                                                            |
| Search Excluding last results<br>(前回の結果以外から検索) | このラジオボタンが選択されると、前回の検索結果以外を対象に検索を行います。                                                                                          |
| Server List<br>(サーバーリスト)                       | CN8600 が IP アドレス順に一覧表示されます。ログの検索を行いたい CN8600 をリストから選択してください(複数選択可)。このリストから何も選択されていない場合は、全ての CN8600 のログを対象に検索を行います。             |
| Priority List<br>(優先度リスト)                      | 表示する検索結果のレベルを設定します。「Least」を選択すると簡易版表示を、「Most」を選択すると詳細表示をそれぞれ行います。またレベルが「Least」の検索結果は黒色で、「Less」の結果は青色で、「Most」の結果は赤色でそれぞれ表示されます。 |
| Start Date<br>(開始日)                            | 検索対象となるログの開始日を「YYYY/MM/DD」の形式でリストボックスに入力してください。<br>例:2009 年 11 月 4 日→2009/11/04                                                |
| Start Time(開始時刻)                               | 検索対象となるログの開始時刻を選択してください。                                                                                                       |
| End Date<br>(終了日)                              | 検索対象となるログの終了日を「Start Date」に記載されたものと同じフォーマットで入力してください。                                                                          |
| End Time(終了時刻)                                 | 検索対象となるログの終了時刻を選択してください。                                                                                                       |
| Pattern<br>(パターン)                              | パターン検索を行う場合の文字列を入力してください。任意の文字列を表すワイルドカード(*)を使用することも可能です。<br>例:h*ds という検索条件で、「hands」と「hoods」という文字列にヒットします。                     |
| Results(結果)                                    | 検索条件に一致したイベントが一覧表示されます。                                                                                                        |
| Search(検索)                                     | このボタンをクリックすると入力された条件で検索を行います。                                                                                                  |
| Print(印刷)                                      | このボタンをクリックすると検索結果を印刷します。                                                                                                       |

(表は次のページに続きます)

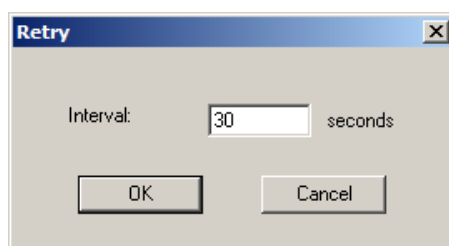
| 項目                 | 説明                                   |
|--------------------|--------------------------------------|
| Export<br>(エクスポート) | このボタンをクリックすると検索結果を「.txt」ファイルに書き込みます。 |
| Exit(終了)           | このボタンをクリックすると検索ダイアログボックスを閉じます。       |

## メンテナンス

「Maintenance」(メンテナンス)機能を使うことで、CN8600 の管理者は「Edit」(編集)機能の「Limit」(期限)の項目で設定した保管期限を過ぎていないログの内容を手動で削除することができます (p.141 参照)。

## オプション

「Options」(オプション)メニューには「Network Retry」(ネットワーク再試行)というサブメニューがあり、接続失敗によってログサーバーが再試行するまでの待機時間(秒)を設定します。メニューをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。



待機秒数を入力したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

## Help

ログサーバーのオンラインヘルプ(英語)を表示する場合は、このメニューのサブメニューである「Contents」(コンテンツ)をクリックしてください。このヘルプには、ログサーバーのセットアップ、操作方法、トラブルシューティング等が記載されています。

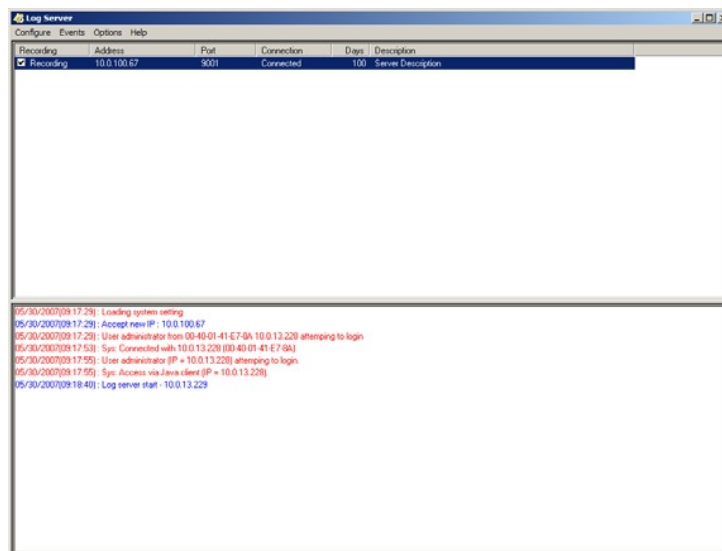
## ログサーバーメイン画面

---

### 概要

ログサーバーのメイン画面は以下の 2 つパネルから構成されています。

- ◆ 上部パネル(リストパネル)には、ログサーバーによるイベント監視対象として設定されている CN8600 の一覧が表示されます (p.1「設定」参照)。
- ◆ 下部パネル(イベントパネル)には、現在リストパネルで選択されている CN8600 (複数台ある場合はハイライトされているもの) のイベントログが表示されます。リストから CN8600 を選択する場合は、対象となる項目をクリックしてください。



## リストパネル

リストパネルの各項目は下表のとおりです。

| 項目                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Recording<br>(記録中)  | ログサーバーがこのリストに表示されている CN8600 のログを記録するかどうかを設定します。項目にチェックを入れると、この欄に「Recording」(記録中)と表示され、ログの記録を行います。項目からチェックを外すと、この欄に「Paused」(一時停止)と表示され、ログの記録は行われません。<br><b>注意:</b> このリストに表示されている CN8600 は選択状態にかかわらず、チェックがついていればログサーバーはそのユニットのログを記録します。 |
| Address<br>(アドレス)   | CN8600 がログサーバーに登録された際に設定された IP アドレスまたは DNS 名です (p.1「設定」参照)。                                                                                                                                                                           |
| Port (ポート)          | CN8600 が通信に使用するポート番号です (p.1「設定」参照)。                                                                                                                                                                                                   |
| Connection<br>(接続)  | ログサーバーが CN8600 に接続している場合、このフィールドには「Connected」(接続済み)と表示されます。<br>また CN8600 に接続していない場合には、このフィールドに「Waiting」(待機中)と表示されます。これはログサーバーの MAC アドレスまたはポート番号が正しく設定されていないことを表していますので、「AMNS」メニュー (p.50 参照) および「設定」ダイアログ (p.1 参照) で正しい内容に設定してください。    |
| Days<br>(日数)        | CN8600 のイベントをログサーバーに保管する日数を表します (p.1「設定」参照)。                                                                                                                                                                                          |
| Description<br>(説明) | ログサーバー登録時に設定された CN8600 に関する追加情報です (p.1「設定」参照)。                                                                                                                                                                                        |

## イベントリストパネル

このパネルには現在選択されている CN8600 のログの内容が表示されます。複数台のスイッチを使用している場合、そのスイッチが現在選択されていなくても、「Recording」(記録中)のチェックボックスにチェックが入っていれば、そのスイッチのログはログサーバーのデータベースに登録されます。

## IP アドレスの設定

アドミニストレーターとして CN8600 に最初にログインする場合は、他のユーザーが外部からアクセスできるように CN8600 に IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスの設定方法はいくつかありますが、どの方法で設定する場合も、お使いのコンピューターが CN8600 と同一セグメントにあることをご確認ください。CN8600 に接続し、ログインが完了すると、CN8600 に固定の IP アドレスを設定することができます (p.46「ネットワーク」参照)。

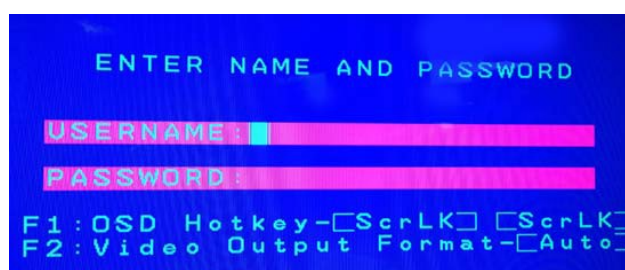
### ローカルコンソールからの IP 設定

ローカルコンソールを使用して IP アドレスを設定することができます。操作全ては、OSD メイン画面から始めます。

1. [Scroll Lock]を2度押しして、OSD メイン画面を表示してください。

**注意：** [Scroll Lock]はデフォルトの OSD ホットキーです。ホットキーを[Ctrl]に変更することもできます。

ログイン画面が表示されます。



この画面から、下記のオプションが選択できます。

- ◆ 「F1」を押すと、OSD 画面を起動するホットキーを変更することができます。[Scroll Lock]キーの代わりに[Ctrl]キーにホットキーを変更することができます (画面では「ScrLK」と表示)。
- ◆ 「F2」を押すと、リモートディスプレイのビデオ出力フォーマットを、「AUTO」、「DVI」、「HDMI」から選択できます。

- 有効なユーザー名とパスワードを入力して続けてください。  
デフォルトのユーザー名は「administrator」、パスワードは「password」です。初回ログイン時にはこのデフォルト値を使用してください。セキュリティの面から、これらのデフォルト値を変更されることを強く推奨いたします。
- 表示された画面で、「F1」を押して IP アドレスを設定してください。手順 4 に進んでください。



```
F1: SET IP ADDRESS
F2: ENABLE LOCAL DEVICE
    AUTHENTICATION

ESC: EXIT
```

CN8600 によるユーザー認証を有効にするには、「F2」を押してください。CN8600 は外部プログラムを通じて認証を行うことができます。外部認証プログラムが認証に失敗し、ログインできなくなった場合、ローカルコンソールを使用して CN8600 に認証を移行させてください。操作に成功すると、下記のメッセージが表示されます。



```
LOCAL AUTHENTICATION ENABLED
```

詳細は、p.53「認証」を参照してください。

ローカルコンソールを終了するには、[Esc]キーを押してください。

- OSD を起動させると、下図のような画面が表示されます。

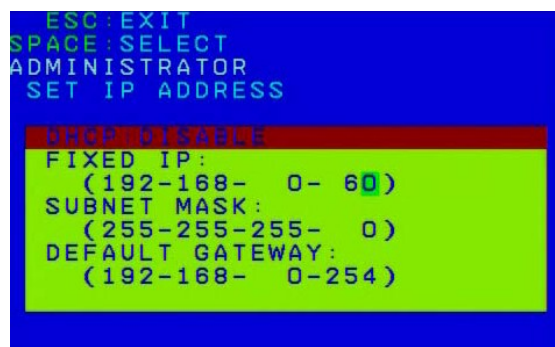


```
ESC: EXIT
F1: Disable Redundant NIC
SPACE: Set IP manually
User : administrator
Set IP Address

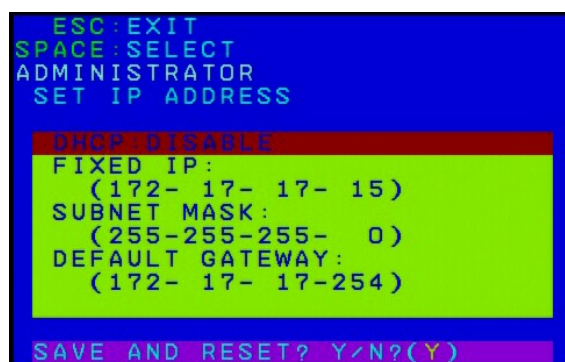
DHCP: ENABLE
IP: ( 10- 3- 50-120)
```

- ◆ 画面のリストを上下に移動させるには、上下矢印(↑ ↓)をクリックするか、[Pg UP]および[Pg Dn]キーを使用してください。
- ◆ 値を選択または確定するには、[スペースキー]を押してください。
- ◆ メニューを終了し OSD を終了するには、[Esc]キーを押してください。

5. リストから「DHCP:Enable」を選択し、スペースキーを押して DHCP サーバーの有効/無効を切り替えてください。「DCHP:Disable」にすると、下図のように追加項目が表示されます。



6. 「Fixed IP」(固定 IP)、「Subnet Mask」(サブネットマスク)、「Default Gateway」(デフォルトゲートウェイ)の欄には、それぞれ数字でアドレス(ドット区切りの 4 つ組アドレス)を入力してください

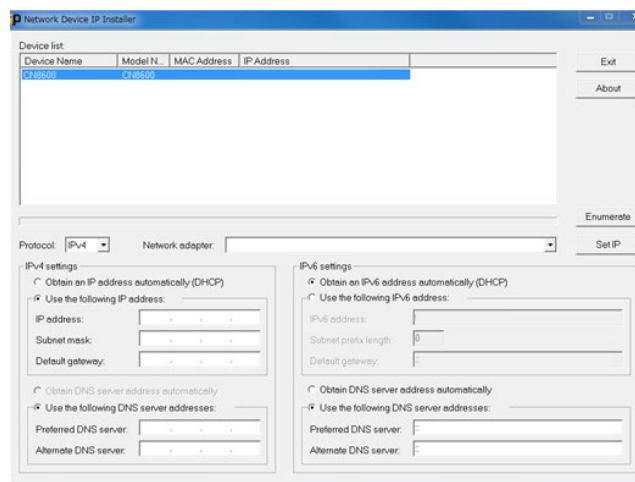


7. 「Save and Reset」(保存してリセットする)に移動し、[Y]を入力して新しい IP アドレスを確定してください。

## IP インストーラーを使用して設定する場合

Windows がインストールされているコンピューターであれば、IP インストーラーというツールを使用して CN8600 に IP アドレスを割り当てることができます。下記の手順に従って操作してください。

1. IP インストーラーは弊社製品 Web ページから無償公開されています。ダウンロード後、zip ファイルを解凍してから、「IPInstaller.exe」を起動してください。このソフトウェアを起動すると下図のようなダイアログが表示されます。



2. IP アドレスを設定する CN8600 をダイアログ内の「Device List」(デバイスリスト)から選択してください。

- 
- 注意:**
1. 対象となる CN8600 が「Device List」(デバイスリスト)に表示されない場合は、「Enumerate」(一覧表示)ボタンをクリックして、このリストを再表示してください。
  2. リストに複数台の CN8600 が表示された場合は、製品の MAC アドレスでデバイスを判別してください。CN8600 の MAC アドレスは製品底面に貼られているラベルに記載されています。
- 

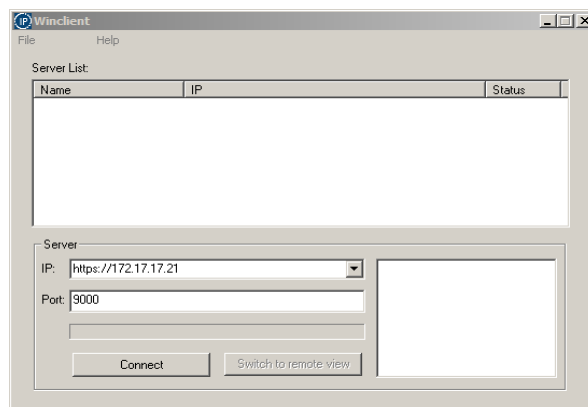
3. DHCP を使用する場合は、「Obtain an IP address automatically(DHCP)」(IP アドレスを自動的に取得する[DHCP])を、固定 IP アドレスを設定する場合は、「Specify an IP address」(IP アドレスを指定する)を選択してください。固定 IP アドレスを設定する場合は、お使いのネットワーク環境で有効な IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを該当欄に入力してください。
4. 「Set IP」(IP の設定)ボタンをクリックしてください。
5. 手順 4 で設定した CN8600 の IP アドレスが「Device List」(デバイスリスト)に表示されたことを確認してから、「Exit」(終了)ボタンをクリックしてください。

## ブラウザを使用した設定方法

1. お使いのコンピュータの IP アドレスを「192.168.0.XXX」に設定してください。XXX の部分には 60 以外で 0～255 の間の任意の値を使用してください(192.168.0.60 は CN8600 のデフォルトの IP アドレスであるため)。
2. 手順 1 で設定を変更したコンピュータから、ブラウザで CN8600 のデフォルト IP アドレス (192.168.0.60) にアクセスしてください。
3. 現在 CN8600 がセットアップされているネットワーク環境で有効な IP アドレスを Web 画面で設定してください。
4. CN8600 からログアウトし、必要であれば、手順 1 で IP アドレスを変更したコンピュータの IP アドレスを元に戻しておいてください。

## アプリケーション版 Windows クライアントを使用した設定方法

Windows がインストールされているコンピュータであれば、アプリケーション版の Windows クライアントを使用して、CN8600 に IP アドレスを割り当てることができます (p.114 参照)。このアプリケーションを起動すると、同一ネットワークセグメント内に存在する CN8600 を検索し、下図のように検出したデバイスをリストに表示します。



ここで表示された IP アドレスで問題なければそのままお使いいただくこともできますし、「**Login**」(ログイン)ボタンをクリックしてログインした後で、「**Remote View**」(リモートビュー)ボタンをクリックし、そこで表示されるダイアログの「**Device Management**」(デバイス管理)タブメニューを使用して IP アドレスを設定することも可能です。詳細は p.47 を参照してください。

## IPv6

---

現在、CN8600 では IPv6 の「リンクローカルアドレス」と「ステートレスオートコンフィグレーション」の 2 種類に対応しています。

### リンクローカルアドレス

CN8600 に電源を入れると、自動的に IPv6 のリンクローカルアドレスが設定されます (例: fe80::210:74ff:fe61:1ef)。このリンクローカルアドレスの内容を確認する場合は、CN8600 に IPv4 のアドレスでログインし、「Basic Setting」(基本設定)アイコンをクリックしてください。アドレスが「基本設定メニュー」(p.36 参照)の下部に表示されます。

CN8600 の IPv6 アドレスの内容が確定すると、ブラウザや Windows、Java の各クライアントソフトウェアからログインする際にこのアドレスを使うことができます。

例えば、ブラウザからログインする場合には、URL バーにアドレスを次のように入力してください。

`http://[fe80::2001:74ff:fe6e:59%5]`

また、クライアントソフトウェアからログインする場合には、「サーバー」パネルの「IP」欄 (p.115 「Windows クライアント接続画面」参照) にアドレスを次のように入力してください。

`fe80::2001:74ff:fe6e:59%5`

- 
- 注意:**
1. IPv6 リンクローカルアドレスを使ってログインする場合には、クライアントコンピューターが CN8600 と同一ローカルネットワークセグメントにセットアップされている必要があります。
  2. 「%5」の部分は、クライアントコンピューターによって使用される「%インターフェース」です。クライアントコンピューターの IPv6 アドレスを確認する場合は、コマンドラインから下記のコマンドを実行してください。

`ipconfig/all`

「%」値は IPv6 アドレスの最後に現れます。

---

## ステートレスオートコンフィグレーション

CN8600 のネットワーク環境で、IPv6 ステートレスオートコンフィグレーション機能に対応したデバイス(例:ルーター)を使用している場合、CN8600 は IPv6 アドレスを生成するために、このデバイスからプレフィックス情報を取得することができます。例えば、「2001::74ff:fe6e:59」です。

先に述べたように、アドレスは「Basic Setting」(基本設定)メニューの下部に表示されます。

CN8600 の IPv6 アドレスの内容が確定すると、ブラウザや Windows、Java の各クライアントソフトウェアからログインする際にこのアドレスを使うことができます。

例えば、ブラウザからログインする場合には、URL バーにアドレスを次のように入力してください。

`http://[2001::74ff:fe6e:59]`

また、クライアントソフトウェアからログインする場合には、「サーバー」パネルの「IP」欄 (p.115 「Windows クライアント接続画面」参照) にアドレスを次のように入力してください。

`2001::74ff:fe6e:59`

## ポートの転送

---

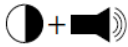
ルーターの内側に CN8600 がセットアップされている環境では、ポート転送によって、ルーターが特定のポートから特定のデバイスに対して送信されたデータを通信することができます。ポート転送に必要なパラメーターを設定することで、ルーターが特定のポートに送信されたデータをどのデバイスに転送するかを定義することが可能です。

例えば、ルーターに接続された CN8600 に「192.168.1.180」という IP アドレスが割り当てられている場合、ルーターのセットアッププログラムにログインし、ポートフォワーディング(またはバーチャルサーバー)の設定画面にアクセスし、そのプログラムで IP アドレスである「192.168.1.180」と開放するポートを定義します(例:インターネットアクセスの場合は 9000 番のポートを開放)。

ルーターのセットアップ方法はルーターの種類によって異なりますので、ポート転送の設定方法に関する詳細は、お使いのルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

## キーボードエミュレーション

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換キーボードから Sun および Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。詳細は下表を参照してください。

| PC 互換キーボード                                                                          | Sun キーボード                                                                                                                                                               | PC 互換キーボード                                                                                  | Mac キーボード                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| [Ctrl] [T]                                                                          | Stop                                                                                                                                                                    | [Shift]                                                                                     | Shift                                                                                 |
| [Ctrl] [F2]                                                                         | Again                                                                                                                                                                   | [Ctrl]                                                                                      | Ctrl                                                                                  |
| [Ctrl] [F3]                                                                         | Props                                                                                                                                                                   |            |    |
| [Ctrl] [F4]                                                                         | Undo                                                                                                                                                                    | [Ctrl] [1]                                                                                  |    |
| [Ctrl] [F5]                                                                         | Front                                                                                                                                                                   | [Ctrl] [2]                                                                                  |    |
| [Ctrl] [F6]                                                                         | Copy                                                                                                                                                                    | [Ctrl] [3]                                                                                  |   |
| [Ctrl] [F7]                                                                         | Open                                                                                                                                                                    | [Ctrl] [4]                                                                                  |  |
| [Ctrl] [F8]                                                                         | Paste                                                                                                                                                                   | [Alt]                                                                                       | Alt                                                                                   |
| [Ctrl] [F9]                                                                         | Find                                                                                                                                                                    | [Print Screen]                                                                              | F13                                                                                   |
| [Ctrl] [F10]                                                                        | Cut                                                                                                                                                                     | [Scroll Lock]                                                                               | F14                                                                                   |
| [Ctrl] [1]                                                                          |   |          | =                                                                                     |
| [Ctrl] [2]                                                                          |                                                                                      | [Enter]                                                                                     | Return                                                                                |
| [Ctrl] [3]                                                                          |                                                                                      | [Backspace]                                                                                 | Delete                                                                                |
| [Ctrl] [4]                                                                          |                                                                                      | [Insert]                                                                                    | Help                                                                                  |
| [Ctrl] [H]                                                                          | Help                                                                                                                                                                    | [Ctrl]  | F15                                                                                   |
|  | Compose                                                                                                                                                                 |                                                                                             |                                                                                       |
|  |                                                                                      |                                                                                             |                                                                                       |

---

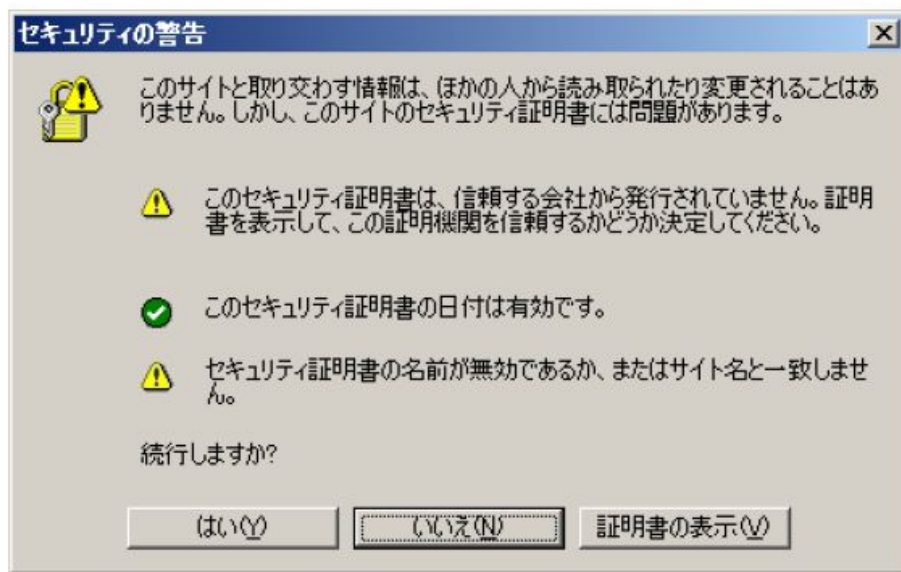
**注意:** 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー([Ctrl]キー)を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

---

## 信頼された証明書

### 概要

ブラウザ経由で CN8600 にログインすると、以下のようなセキュリティ警告ダイアログが表示され、デバイスの証明書が信頼できるものではないため、操作を続行するかどうかを問うメッセージが表示されます。



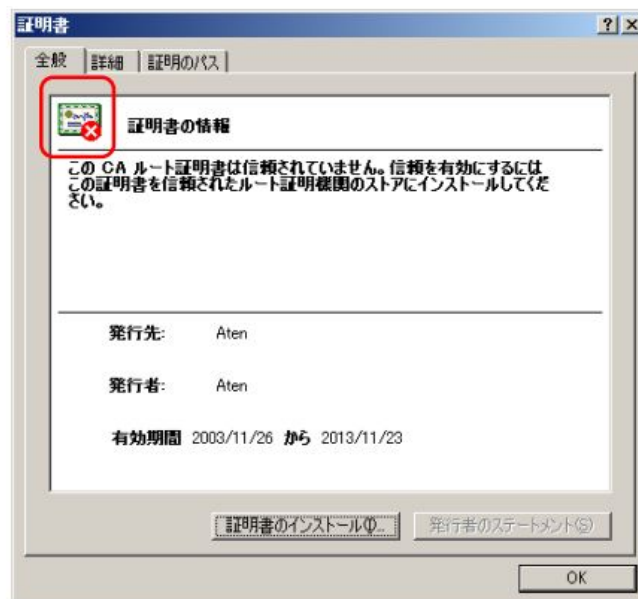
この証明書は信頼できるものですが、証明者の名前が Microsoft の信頼された認証局のリストに存在しないため、このようなダイアログが表示されます。このダイアログには以下のいずれかの方法で対応してください。

- 1) ダイアログの警告を受け入れず、「はい」ボタンを押して、処理を続行する。
  - 2) 証明書をインストールし、信頼できるものと認識させる。
- ◆ 別のユーザーのコンピューターから作業している場合は「はい」ボタンを押して、この証明書を現在のセッションのみ受け入れてください。
  - ◆ ご自身のコンピューターから作業している場合は、証明書をお使いのコンピューターにインストールしてください。証明書がインストールされると、信頼できる証明書として認識されます。方法の詳細は後述しますので、そちらを参照してください。

## 証明書のインストール

証明書のインストールは下記の手順に従ってください。

1. 「セキュリティの警告」ダイアログボックスで、「**証明書の表示**」ボタンをクリックします。これをクリックすると下図のような「証明書」ダイアログボックスが表示されます。



**注意：** 上図の赤い枠で囲まれている「×」の印は、この証明書は信頼できないと認識されていることを表しています。

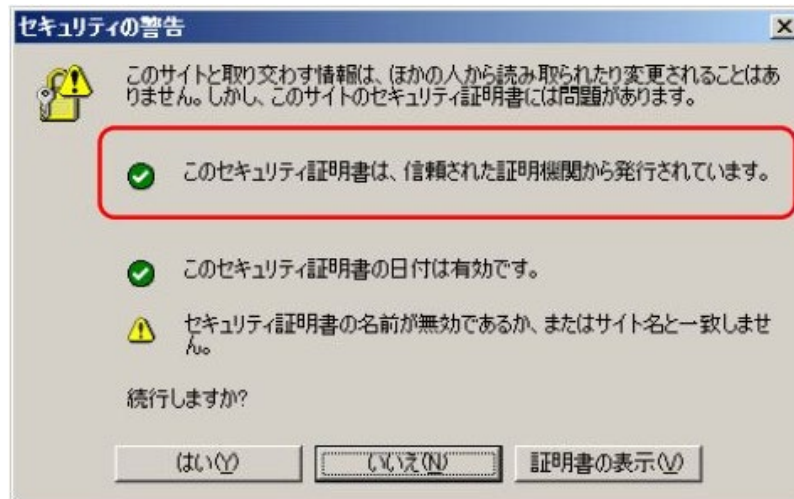
2. 「**証明書のインストール**」ボタンをクリックします。
3. インストールウィザードの指示に従って、インストールを進めていきます。特に不都合がない場合は、デフォルト値でインストールしてください。
4. 下図のような警告ダイアログが表示されたら、「はい」ボタンを押してください。



5. ダイアログから「完了」ボタンを押してインストール作業を完了させてください。「OK」ボタンを押すとダイアログが終了します。

## 証明書のインストール完了

この作業により、証明書は信頼できるものに変更されました。



「証明書の表示」ボタンをクリックすると、インストール前に見られた「×」の印が消え、証明書が信頼できるものであるというメッセージが表示されます。



## アドレス不整合に関する注意事項

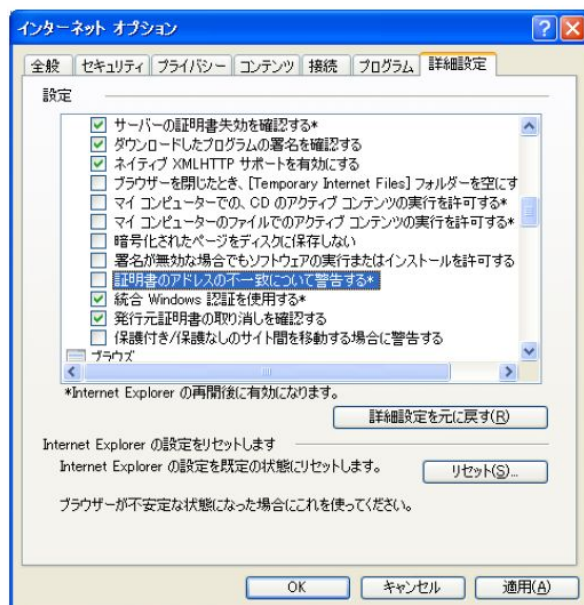
証明書の作成に使用されたサイト名や IP アドレスが現在の CN8600 のアドレスに一致しない場合、下図のような警告ダイアログが表示されます。



「Yes」ボタンをクリックして継続することもできますし、不整合のチェックを無効にすることもできます。

不整合のチェックを無効にする場合は、下記の手順に従ってください。

1. ログイン画面が表示されたら、Web ブラウザメニューで、[ツール]→[インターネットオプション]→[詳細設定]タブを選択してください。
2. リストの下部にスクロールして、「証明書のアドレスの不一致について警告する」の項目についているチェックを外してください。



3. 「OK」ボタンをクリックしてください。ここで変更された設定は、ブラウザの再起動後に有効になります。

## 自己署名(プライベート)証明書

オリジナルの自己署名暗号鍵や証明書を作成したい場合は、フリーツール「openssl.exe」を Web サイト([www.openssl.org](http://www.openssl.org))からダウンロードすることができます。オリジナルのプライベートキーや証明書を作成する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ダウンロードした openssl.exe を解凍したディレクトリに移動してください。
2. 以下のパラメーターを指定して openssl.exe を実行してください。

```
openssl req -new -newkey rsa:1024 -days 3653 -nodes -x509 -keyout CA.key -out CA.cer  
-config openssl.cnf
```

- 
- 注意:**
1. 上記のコマンドは1行で入力してください。パラメーターの入力途中で[Enter]キーを押さないでください。
  2. 入力値にスペースが含まれている場合は、その値をダブルクォートで囲んでください(例: "ATEN International")。
  3. 最新版のバイナリ等はパラメーターの仕様変更がされていることもあるため、必ずリリースノートや技術資料をご確認ください。
- 

以下のパラメーターを使用して、作成時に入力するキーを少なくすることも可能です。

**/C /ST /L /O /OU /CN /emailAddress.**

### 例

```
openssl req -new -newkey rsa:1024 -days 3653 -nodes -x509  
-keyout CA.key -out CA.cer -config openssl.cnf -subj  
/C=yourcountry/ST=yourstateorprovince/L=yourlocationor  
city/O=yourorganization/OU=yourorganizationalunit/  
CN=yourcommonname/emailAddress=name@yourcompany.com  
  
openssl req -new -newkey rsa:1024 -days 3653 -nodes -x509  
-keyout CA.key -out CA.cer -config openssl.cnf -subj  
/C=CA/ST=BC/L=Richmond/O="ATEN International"/OU=ATEN  
/CN=ATEN/emailAddress=eservice@aten.com.tw
```

### ファイルのインポート

openssl.exe のプログラムが終了すると、このプログラムを実行したディレクトリに「CA.key」(プライベートキー)と「CA.cer」(自己署名済 SSL 証明書)という2つのファイルが作成されます。これらのファイルは、「セキュリティ」タブの「プライベート認証」メニュー(p.64 参照)でアップロードします。

## トラブルシューティング

### 操作全般

| 問題                                               | 解決方法                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動作が不安定である。                                       | CN8600 に接続されている KVM スイッチやコンピューターに電源を入れる前に、CN8600 自体に電源を入れる必要があります。<br><br>1. CN8600 に KVM スイッチが接続されている場合は、まず CN8600 に電源を入れてください。<br><br>2. CN8600 に電源を入れる前に KVM スイッチに電源を入れてしまった場合は、その KVM スイッチをリセットまたは再起動してください。<br><br>CN8600 をリセットする必要があります (p.39「メインファームウェアのアップグレード」参照)。 |
| IP アドレスおよびポート番号を正しく設定したにもかかわらず、CN8600 にアクセスできない。 | お使いの CN8600 がルーターの内側にセットアップされている場合、ルーターのポート転送(またはバーチャルサーバー)の設定を行う必要があります。詳細は p.155「ポートの転送」を参照してください。                                                                                                                                                                        |
| マウスポインターの表示で混乱する。                                | ローカルとリモートの 2 つのマウスポインターが表示されて操作の上でわかりにくい場合は、マウス表示切替機能を使用して非アクティブなマウスポインターを最小化することができます。詳細は p.88 を参照してください。                                                                                                                                                                  |
| マウスの動作が極端に遅い。                                    | 転送されるデータ量が多いため、マウスの表示が動作に追いつかないことが考えられます。ビデオの設定を調節し、ビデオ転送に使用されるデータを減らしてください (p.97「ビデオ設定」参照)。                                                                                                                                                                                |
| マウスの同期モードを「手動」に変更すると、CN8600 がクラッシュする。            | CN8600 はクラッシュしていません。5 分程待機すると、通常の操作に戻ります。すぐに再開させたい場合は、CN8600 をリセットしてください (p.39「メインファームウェアのアップグレード」参照)。                                                                                                                                                                      |

(表は次のページに続きます)

| 問題                                                                                                               | 解決方法                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Webブラウザのセッションで設定を変更している時にタイムアウトになると、その時に設定していた内容が破棄されている。                                                        | CN8600側ではユーザーが作業していることを把握していないため、「適用」ボタンをクリックしないとタイムアウトになります。「適用」ボタンをクリックしない限り、変更内容は反映されません。設定内容を CN8600 に保存する場合は「適用」ボタンをクリックし、タイムアウトカウンターをリセットしてください。 |
| Firefox を使ってログインすると、リモートコンソールディスプレイに Windows クライアントと起動用のリンクが表示されない。                                              | Windows クライアントをご利用いただくには Internet Explorerと専用の Active X コントロールをインストールすることが必須条件です。Firefox は Active X に対応していませんので、Java クライアントビューアをお使いください。               |
| Fedora がインストールされているリモートサーバーにアクセスすると、アクセスしているのがリモートコンソールからであっても、また、ローカルクライアントコンピューターからであっても、リモートサーバー側のマウスが動かなくなる。 | リモートサーバーが PS/2 ケーブルで接続されている場合、ブラウザから CN8600 にログインした後でビューアを起動して、コントロールパネルでマウス同期機能を「手動」に設定してください。詳細は p.110 を参照してください。                                    |

## Windows

| 問題                                                                  | 解決方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ログインすると、ブラウザからCAルート証明書が信頼できないという内容のメッセージが表示されたり、証明書エラーの応答が返ってきたりする。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. これは証明書の名前が Microsoft の信頼された認証局のリストに存在しないことに起因します。この証明書は信頼できるものですので、受け入れても問題ありません。詳細は p.158「信頼された証明書」を参照してください。</li> <li>2. 認証局 (CA) として知られる、信頼されたサードパーティーによって発行された証明書をインポートすることで、このメッセージは表示されなくなります (p.65「CA 署名済 SSL サーバー証明書の取得」参照)。</li> </ol>                                               |
| 証明書をインポートしても、ログインサイトに関する警告メッセージが依然として表示される。                         | 証明書セキュリティチェック機能によって、証明書のアドレスの不一致が検出されたことに起因しますが、この証明書は信頼できるものです。Web サイトで「続行する」をクリックして操作を進める (推奨しません) か、不整合のチェック機能を無効にすることができます。この操作に関する詳細は p.161「アドレス不整合に関する注意事項」を参照してください。                                                                                                                                                             |
| リモートとローカルのマウスポインターが同期していない。                                         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「マウス同期モード」の設定内容を確認してください (p.110 参照)。もし、自動設定するようになっている場合は、手動設定にしてください。</li> <li>2. 手動設定になっている場合は、「自動同期」機能 (p.97「ビデオ設定」参照) を使ってローカルとリモートのモニターの同期を取ってください。</li> <li>3. 上記の方法で解決しない場合、「マウス調整」機能 (p.89 参照) を使用してください。</li> <li>4. 上記いずれの方法でも解決できない場合は p.170「その他のマウス同期方法」を参考に設定を行ってください。</li> </ol> |
| リモートモニターでローカルディスプレイの一部分しか表示されない。                                    | 「自動同期」機能 (p.97「ビデオ設定」参照) を使ってローカルとリモートのモニターの同期を取ってください。                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

(表は次のページに続きます)

| 問題                                                                          | 解決方法                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バーチャルメディア機能が使用できない。                                                         | CN8600 に古いコンピューターを接続してお使いの際にこの現象が見られる場合があります。この場合は最新のファームウェアをダウンロードし、お使いの CN8600 に適用してください。                                                                                                                                                                                                  |
| バーチャルメディアのメニューで ISO ファイルのマウントはできるが、この ISO ファイルにアクセスできない。                    | Windows クライアントのバーチャルメディアに対応している ISO ファイルは、4GB 未満となります。ISO ファイルが 4GB を超える場合にはアクセスができませんので、ご注意ください。                                                                                                                                                                                            |
| ブラウザで CN8600 にアクセスし、Windows クライアントビューアを開いた後、アンチウィルスソフトがトロイの木馬に感染していると報告される。 | Windows クライアントビューアは Active X プラグイン (windows.ocx) を使用しており、アンチウィルスソフトの中にはこれをウィルスまたはトロイの木馬に感染していると誤認するものがあります。弊社はファームウェアを広範囲にわたって検査し、ウィルスやトロイの木馬に感染していないことがわかっています。プラグインをご使用のアンチウィルスプログラムの安全リストに追加してビューアを安全に使用してください。しかしそれでも Windows クライアントビューアを使用するのをためらってしまう場合は、代わりに Java クライアントビューアをご使用ください。 |

## Java

マウス同期に関する問題については p.87「マクロ」、p.110「マウス同期モード」、p.172「Sun/Linux」の内容を参照してください。その他の問題については下表を参照してください。

| 問題                                                           | 解決方法                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Java クライアントビューアが CN8600 に接続できない。                             | <ol style="list-style-type: none"><li>1. Java 6 Update 3 以上がお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。</li><li>2. CN8600 の IP アドレスを指定する際、ページ名 (ログイン文字列) が含まれているか確認してください。</li><li>3. Java クライアントビューアを一度終了させて、もう一度実行してみてください。</li></ol> |
| 最新の JRE をインストールしたにもかかわらず、パフォーマンスが悪い。                         | 本製品の Java クライアントビューアの開発以降にリリースされたバージョン (特に最新版など) の Java をお使いの場合、Java 側の新しい機能に対応していない等の理由でパフォーマンスが悪いことが考えられます。最新版よりも 1～2 つほど古いバージョンの JRE をインストールして Java クライアントビューアを実行してみてください。                                              |
| Java クライアントビューアのパフォーマンスが悪い。                                  | プログラムを一度終了させて、もう一度実行してみてください。                                                                                                                                                                                              |
| 英語以外の言語の文字が表示されない。                                           | CN8600 のオンスクリーンキーボードをリモートキーボードと同じキーボード言語に設定してください (p.109「オンスクリーンキーボード」参照)。                                                                                                                                                 |
| ログインすると、ブラウザで「ルート認証局が発行した電子証明書は信頼できません」というメッセージや認証エラーが返ってくる。 | Microsoft の信頼された認証局のリストに認証名が登録されていない可能性があります。この証明書は信頼できるものです。詳細は p.158「信頼された証明書」をご覧ください。                                                                                                                                   |
| バーチャルメディアのアイコンがコントロールパネルに表示されない。                             | バーチャルメディア機能は Windows クライアントのみに対応しております。ご了承ください。                                                                                                                                                                            |

## Sun

| 問題                                                             | 解決方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| D-sub15 ピンのコネクタを使用すると、ビデオ表示の問題が発生する（例：Sun Blade 1000 Server）。* | <p>ディスプレイの解像度は 1,024×768@60Hz に設定する必要があります。</p> <p>テキストモードの場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>OK プロンプト</b>を起動し、以下のコマンドを実行します。 <pre>setenv output-device screen:r1024x768x60 reset-all</pre> </li> </ol> <p>XWindow の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンソールを開き、以下のコマンドを実行します。 <pre>m64config -res 1024x768x60</pre> </li> <li>2. ログアウトします。</li> </ol> <p>もう一度ログインします。</p> |
| 13W3 のコネクタを使用すると、ビデオ表示の問題が発生する（例：Sun Ultra Server）。*           | <p>ディスプレイの解像度は 1,024×768@60Hz に設定する必要があります。</p> <p>テキストモードの場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>OK プロンプト</b>を起動し、以下のコマンドを実行します。 <pre>setenv output-device screen:r1024x768x60 reset-all</pre> </li> </ol> <p>XWindow の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンソールを開き、以下のコマンドを実行します。 <pre>m64config -res 1024x768x60</pre> </li> <li>2. ログアウトします。</li> </ol> <p>もう一度ログインします。</p> |
| ローカルとリモートのマウスポインターが同期しない。                                      | <p>リモートサーバーに接続すると、ローカルとリモートのマウスポインターは自動的に同期しますが、これは Windows または Mac(G4 以降)で USB マウスを使用した時にのみ限ります。この場合は、「マウス同期モード」で「手動」を選択し、ポインターを手動で同期させてください。詳細については、p.110「マウス同期モード」をご参照ください。</p>                                                                                                                                                                                                                          |

\* Sun VGA カードに関するトラブルの多くは、上記の方法で解決することが可能です。上記の手順で対応しても解決しない場合は、Sun VGA カードのマニュアルをご確認ください。

## Mac

| 問題                                                | 解決方法                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ローカルとリモートのマウスのポインターが同期しない。                        | Mac の場合、「カスタマイズ」メニューの「USB I/O 設定」で「Mac 1」または「Mac 2」を設定してください(p.74 参照)。一般的に「Mac 1」は古い OS バージョン用であるのに対し、「Mac 2」は新しい OS バージョン用ですが、逆の場合が当てはまることもあります。この内容に設定しても同期しない場合は、設定内容を変更してみてください。 |
| Safari から CN8600 にログインしてスナップショット機能を利用すると、応答なしになる。 | Safari を強制終了した後で、再起動し、スナップショット機能を使用しないようにしてください。<br>Safari でアクセスしてスナップショット機能を使用したい場合は、Mac OS は 10.4.11 に、Safari は 3.0.4 にそれぞれアップグレードしてください。                                          |

## ログサーバー

| 問題                 | 解決方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ログサーバープログラムが起動しない。 | ログサーバーはデータベースにアクセスするのに Microsoft Jet OLEDB 4.0 ドライバーが必要です。<br>このドライバは Windows ME、2000、XP には自動的にインストールされています。<br>Windows 98 または NT の場合、Microsoft のダウンロードサイト（ <a href="http://www.microsoft.com/data/download.htm">http://www.microsoft.com/data/download.htm</a> ）から「MDAC 2.7 RTM Refresh (2.70.9001.0)」ドライバファイルをダウンロードしてください。<br>このドライバは Windows Office Suite に使用されるので、Windows Office Suite をインストールしてもこのドライバを手に入れることができます。ドライバファイルまたは Windows Office Suite がインストールされると、ログサーバーが動作するようになります。 |

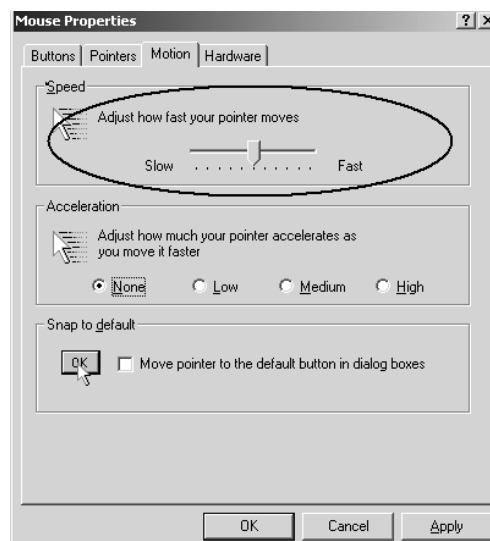
## その他のマウス同期方法

本マニュアルに記載されているマウスの同期の設定を適用したにもかかわらず、お使いのコンピュータでマウスポインターの問題が解決しない場合は、下記の設定を行ってください。

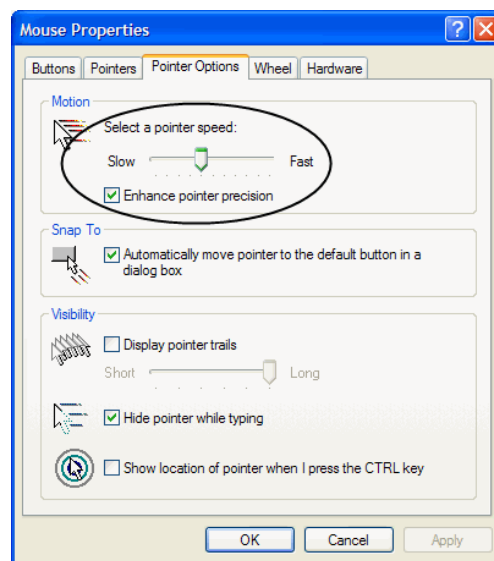
### Windows

**注意:** ローカルとリモートのマウスを同期させる場合は、Microsoft の OS に付属されているマウスドライバーを使用する必要がありますので、マウスに付属されているドライバー等サードパーティーのドライバーを使用している場合は、これを削除しなければなりません。

1. Windows 2000 がインストールされているコンピュータをお使いの場合は、下記の手順で設定を行ってください。
  - a) 「マウスのプロパティ」ダイアログを表示してください ([コントロールパネル]→[マウス]→[マウスのプロパティ])。
  - b) 「マウスのプロパティ」ダイアログから、「動作」タブを開いてください。
  - c) マウスの速度のスライダーを中間に移動させてください。
  - d) 「ポインターの加速」で、「いいえ」のラジオボタンを選択してください。



2. Windows XP または Windows Server 2003 がインストールされているコンピューターをお使いの場合は、以下の手順で設定を行ってください。
  - a) 「マウスのプロパティ」ダイアログを表示してください([コントロールパネル]→[マウス]→[マウスのプロパティ])。
  - b) 「マウスのプロパティ」ダイアログから、「ポインターオプション」タブを開いてください。
  - c) マウスの速度のスライダーを中間に移動させてください(左から 6 目盛り目)。
  - d) 「ポインターの精度を高める」の項目からチェックを外して、この機能を無効にしてください。



3. Windows ME がインストールされているコンピューターをお使いの場合は、マウスの速度を中間に設定し、マウスの加速機能を無効にしてください(この設定を行う場合は、ダイアログから「詳細...」ボタンをクリックする必要があります)。
4. Windows NT、Windows 98 または Windows 95 がインストールされているコンピューターをお使いの場合は、マウスの速度を中間に設定してください。

## Sun/Linux

ターミナルセッションを開き、以下のコマンドを実行してください。

Sun の場合: `xset m 1`

Linux の場合: `xset m 0`

または、`xset m 1`

(片方が動作しない場合、別のを試してください。)

## 対応バーチャルメディア

---

### Windows クライアント (Web ブラウザ版、アプリケーション版共通)

- ◆ IDE CD-ROM/DVD-ROM ドライブ - 読取専用
- ◆ IDE ハードディスクドライブ - 読取専用
- ◆ USB CD-ROM/DVD-ROM ドライブ - 読取専用
- ◆ USB ハードディスクドライブ - 読取/書込対応\*
- ◆ USB フラッシュメモリー - 読取/書込対応\*
- ◆ USB フロッピードライブ - 読取/書込対応\*

---

\* これらのドライブは、ドライブとリムーバブルディスクのどちらの方法でもマウントすることができます (p.104「バーチャルメディア」参照)。リムーバブルディスクとしてマウントした場合、そのディスクにブート可能な OS が含まれていれば、そこからリモートサーバーをブートすることができます。更に、そのディスクが複数のパーティションに分かれている場合は、リモートサーバーは全てのパーティションにアクセスすることもできます。

---

- ◆ ISO ファイル - 読取専用
- ◆ フォルダー - 読取/書込対応
- ◆ スマートカードリーダー

### Java クライアント (Web ブラウザ版、アプリケーション版共通)

- ◆ ISO ファイル - 読取専用
- ◆ フォルダー - 読込/書込対応

---

**注意:**

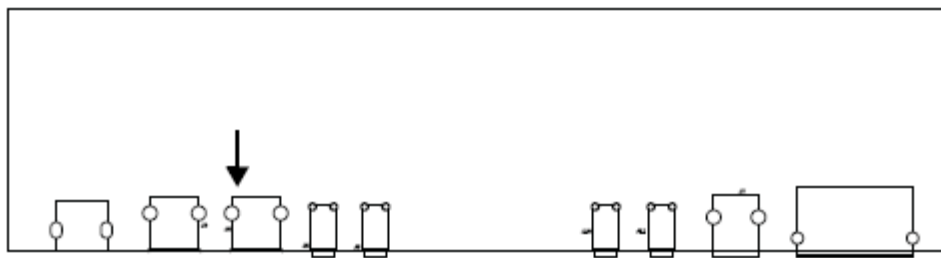
1. Java クライアントは Windows クライアントと同じようにバーチャルメディアに対応していますが、アカウントはアドミニストレーターレベルの操作権限を持っていないとなりません。
2. フォルダーのマッピングには FAT16 ファイルシステムを使用しているため、2GB の制限があります。バーチャルメディアは 4GB 未満の ISO ファイルのみをサポートします。

---

## アドミニストレーターでログインできない場合

ユーザーネームやパスワードを忘れた等の理由でアドミニストレーターとしてログインできない場合、以下の手順でログイン情報を消去してください。

1. CN8600 の電源を切り、電源コードをコンセントから外してからケースを外してください。
2. ジャンパーキャップを使って、メインボード上にある「J15」と書かれているジャンパーをショートさせてください。



3. CN8600 に電源を入れてください。
4. LAN1(黄)、リモートログイン(緑)および LAN2(黄)の 3 つの LED が点滅していることを確認してから、CN8600 の電源を切ってください。
5. 「J15」からジャンパーキャップを外してください。
6. 手順 1 で外したケースを元通りに取り付け、CN8600 に電源を入れてください。

電源を入れなおすと、デフォルトのユーザーネームとパスワード(p.33 および p.116 参照)でログインできるようになります。

## 製品仕様

|                        |                                                                                                                   |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>コンピューター接続数</b>      |                                                                                                                   |
| ダイレクト                  | 1                                                                                                                 |
| 最大                     | 接続する KVM スイッチに依存                                                                                                  |
| コンピューター側<br>対応インターフェース | USB                                                                                                               |
| コンソール側<br>対応インターフェース   | USB                                                                                                               |
| <b>コネクタ</b>            |                                                                                                                   |
| KVM ポート                | キーボード/マウス:USB タイプ B メス×1<br>モニター:DVI-D メス×1、<br>スピーカー:ステレオミニジャック メス×1<br>マイクロフォン:ステレオミニジャック メス×1                  |
| コンソールポート               | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:DVI-D メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック メス×1<br>マイクロフォン:ステレオミニジャック メス×1 |
| PON                    | RJ-45×1                                                                                                           |
| LAN ポート                | RJ-45×2                                                                                                           |
| 電源                     | DC 電源ジャック×2                                                                                                       |
| バーチャルメディア              | USB ミニ B タイプ メス×1                                                                                                 |
| シリアル                   | RJ-45 メス×1                                                                                                        |
| 制御                     | ミニ DIN6 ピン メス×1<br>※海外向け仕様のため、日本ではお使いいただけません。                                                                     |
| <b>スイッチ</b>            |                                                                                                                   |
| リセット                   | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                      |
| USB 機能選択               | スライドスイッチ×1                                                                                                        |
| コンソールロック               | スライドスイッチ×1                                                                                                        |

(表は次のページに続きます)

|                  |                                                                                                                                                              |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>LED</b>       |                                                                                                                                                              |
| 電源               | グリーン×1                                                                                                                                                       |
| コンソールステータス       | グリーン×1                                                                                                                                                       |
| 10/100/1000 Mbps | オレンジ: 10Mbps、<br>オレンジ+グリーン: 100Mbps、グリーン: 1000Mbps                                                                                                           |
| リモートログイン         | グリーン×1                                                                                                                                                       |
| <b>エミュレーション</b>  |                                                                                                                                                              |
| キーボード/マウス        | USB                                                                                                                                                          |
| ビデオ              | ローカルコンソール: 最大 1,920×1,200@60Hz RB<br>リモート: 最大 1,920×1,200@60Hz RB                                                                                            |
| <b>電源入力</b>      |                                                                                                                                                              |
| 電源アダプター          | 型番:0AD8-0605-24EG または 0AD8-0605-24MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5.3V 2.4A                                                                             |
| 消費電力             | DC5.3V:5.56W                                                                                                                                                 |
| <b>動作環境</b>      |                                                                                                                                                              |
| 動作温度             | 0～50° C                                                                                                                                                      |
| 保管温度             | -20～60° C                                                                                                                                                    |
| 湿度               | 0～80% RH、結露なきこと                                                                                                                                              |
| <b>ケース</b>       |                                                                                                                                                              |
| ケース材料            | メタル                                                                                                                                                          |
| 重量               | 0.88 kg ( 1.94 lb )                                                                                                                                          |
| サイズ(W×D×H)       | 260×77×42 mm                                                                                                                                                 |
| 同梱品              | 2L-7D01U(1.2m)×1<br>USB2.0 バーチャルメディアケーブル(1.8m)×1<br>電源アダプター×1<br>ラックマウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1<br>※デュアル電源を有効にする場合は、電源アダプターが 2 つ必要になりますので、電源アダプターのみ別途お求めください。 |

(表は次のページに続きます)

|             |                                                                                              |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対応 KVM ケーブル | 2L-7D02U(1.8m)<br>※コンピューターと本体を接続する同梱 KVM ケーブル<br>(2L-7D01U)が紛失・故障した場合は、こちらのケーブルを<br>お求めください。 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|